

北本市第四期障害福祉計画アンケート調査報告書

平成 27 年 3 月

北 本 市

目次

I 調査概要

1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査時期	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査項目	1

II 調査結果

[身体障害者]

1 基本的な属性	3
2 介助・援助の状況	8
3 外出や社会参加の状況	11
4 相談や情報入手について	18
5 福祉サービスについて	20
6 将来の希望等について	28
7 意見・要望等	30

[知的障害者]

1 基本的な属性	32
2 介助・援助の状況	36
3 外出や社会参加の状況	39
4 相談や情報入手について	45
5 福祉サービスについて	47
6 将来の希望等について	54
7 意見・要望等	56

[精神障害者]

1 基本的な属性	58
2 介助・援助の状況	62
3 外出や社会参加の状況	65
4 相談や情報入手について	71
5 福祉サービスについて	73
6 将来の希望等について	80
7 意見・要望等	83

資料：調査票

1 調査目的

第四期障害福祉計画策定の基礎資料とするため、市内の障がい者に対し、障害と福祉に関する意識と行動の現状や福祉サービスに対するニーズを把握するためにアンケート調査を実施した。

2 調査対象

対象者	抽出方法
身体障がい者調査	身体障害者手帳所持者から 727 人を無作為抽出
知的障がい者調査	みどりの手帳（療育手帳）所持者から 142 人を無作為抽出
精神障がい者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者から 131 人を無作為抽出

3 調査時期

平成 26 年 10 月 20 日～11 月 17 日

4 調査方法

全対象者に対し、郵送配布・郵送回収により調査を実施した。

5 回収状況

調査区分	対象者数	有効回収数	有効回収率
身体障がい者調査	727	431	59.3%
知的障がい者調査	142	75	52.8%
精神障がい者調査	131	64	48.9%

6 調査項目

中項目	小項目	身体障がい	知的障がい	精神障がい
基本的な属性	調査票記入者	問 1	問 1	問 1
	性別	問 2	問 2	問 2
	年齢	問 3	問 3	問 3
	居住場所	問 4	問 4	問 4
	同居者	問 5	問 5	問 5

【 I 調査概要】

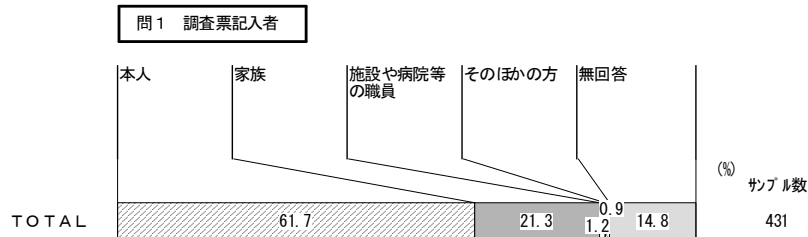
障がいの状況	身体障害者手帳に記載された障がいの程度	問 6	—	—
	身体障害者手帳に記載された障がいの種類	問 7	—	—
	療育手帳（みどりの手帳）に記載された障がいの程度	—	問 6	—
	精神障害者保健福祉手帳に記載された障がいの程度	—	—	問 6
	他の障がいの状況	問 8	問 7	問 7
	障害程度（支援）区分の認定状況	問 9	問 8	問 8
	障害程度（支援）認定区分	問 9 - 1	問 8 - 1	問 8 - 1
介助・援助の状況	日常生活における介助の必要性	問 1 0	問 9	問 9
	主な介助・援助者	問 1 1	問 1 0	問 1 0
	医療ケアの状況	問 1 2	問 1 1	問 1 1
外出や社会参加の状況	外出の頻度	問 1 3	問 1 2	問 1 2
	外出するときの支援の必要性	問 1 4	問 1 3	問 1 3
	一人で外出できない場合の対応	問 1 5	問 1 4	問 1 4
	平日の日中の過ごし方	問 1 6	問 1 5	問 1 5
	現在の就労状況	問 1 7	問 1 6	問 1 6
	今後の就労意向	問 1 8	問 1 7	問 1 7
	職業訓練の利用意向	問 1 9	問 1 8	問 1 8
	就労支援に望むこと	問 2 0	問 1 9	問 1 9
相談や情報入手について	障がい福祉サービスなどの情報の入手先	問 2 1	問 2 0	問 2 0
	障がい福祉サービス利用時の相談先	問 2 2	問 2 1	問 2 1
福祉サービスについて	福祉サービスの利用・認知状況	問 2 3	問 2 2	問 2 2
	福祉サービスの利用（継続）意向	問 2 4	問 2 3	問 2 3
	サービス等利用計画の作成状況	問 2 5	問 2 4	問 2 4
	サービス等利用計画を作成するにあたって困ったこと	問 2 6	問 2 5	問 2 5
	今後のサービス等利用計画作成についての考え	問 2 7	問 2 6	問 2 6
	サービス等利用計画作成にあたって大切なこと	問 2 8	問 2 7	問 2 7
	介護保険サービスの利用状況	問 2 9	問 2 8	問 2 8
	介護保険における要介護度	問 3 0	問 2 9	問 2 9
	必要なサービスの利用満足度	問 3 1	問 3 0	問 3 0
	必要なサービスを十分利用できていない理由	問 3 2	問 3 1	問 3 1
	必要だと思うサービスの内容（自由回答）	問 3 3	問 3 2	問 3 2
	将来の希望等について	今後、希望する日中の過ごし方	問 3 4	問 3 3
近い将来、希望する暮らし方		問 3 5	問 3 4	問 3 4
行政への要望等	意見・要望等（自由回答）	問 3 6	問 3 5	問 3 5

1 基本的な属性

(1) 調査票記入者

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

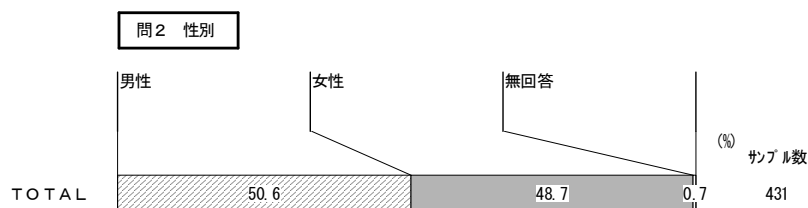
「本人が記入」が61.7%、「家族」が21.3%、「施設や病院等の職員」が1.2%である。



(2) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

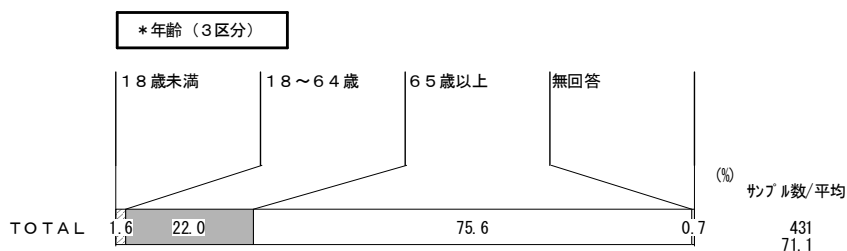
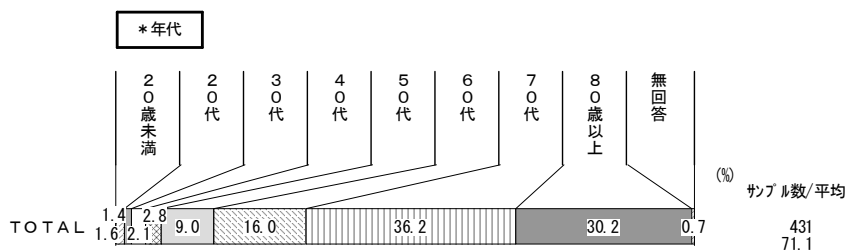
男性が50.6%、女性が48.7%である。



(3) 年齢

問3 年齢（10月1日現在）を記入してください。

65歳以上が75.6%を占め、平均年齢は71.1歳である。

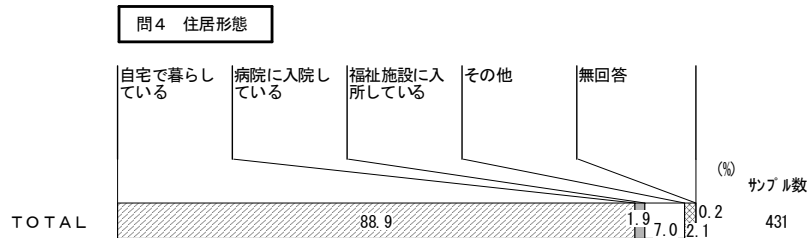


【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(4) 居住場所

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

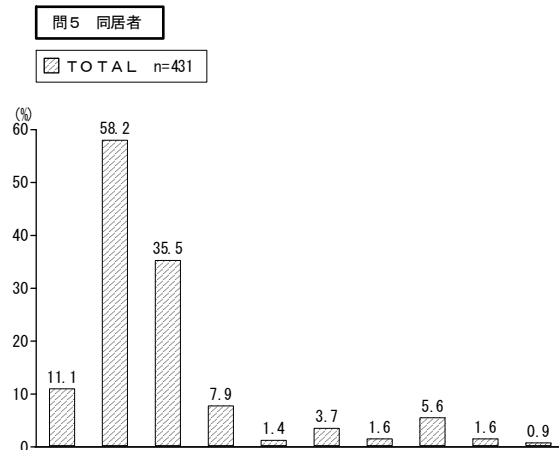
約9割(88.9%)が、「自宅」で暮らしている。



(5) 同居者

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

「配偶者」と暮らしている人は58.2%、「子ども」と暮らしている人は35.5%である。「自分ひとりだけで暮らしている」人は11.1%である。

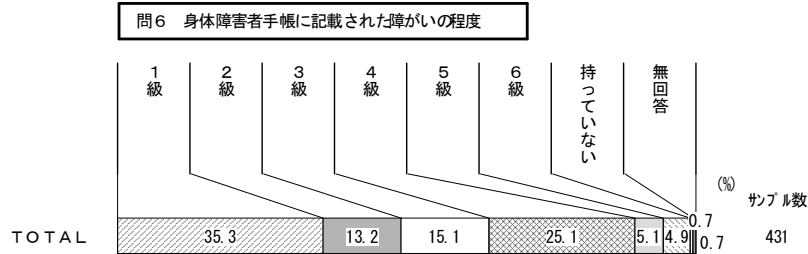


*年代	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		自分ひとりだけで暮らしている	配偶者	子ども	父、母	祖父、祖母	兄弟、姉妹	その他の親せき	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
0 TOTAL	431	11.1	58.2	35.5	7.9	1.4	3.7	1.6	5.6	1.6	0.9
1 20歳未満	7	0.0	0.0	0.0	85.7	28.6	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0
2 20代	6	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
3 30代	9	22.2	33.3	11.1	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1
4 40代	12	16.7	41.7	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
5 50代	39	15.4	64.1	33.3	17.9	0.0	2.6	0.0	5.1	2.6	0.0
6 60代	69	5.8	79.7	30.4	5.8	0.0	1.4	0.0	2.9	1.4	0.0
7 70代	156	14.1	70.5	31.4	0.6	0.0	0.6	2.6	3.2	0.6	0.0
8 80歳以上	130	8.5	40.8	50.0	0.0	0.0	0.0	2.3	10.8	3.1	1.5
9 無回答	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

(6) 障がいの程度

問6 身体障害者手帳に記載された障がいの程度をお答えください。(○は1つ)

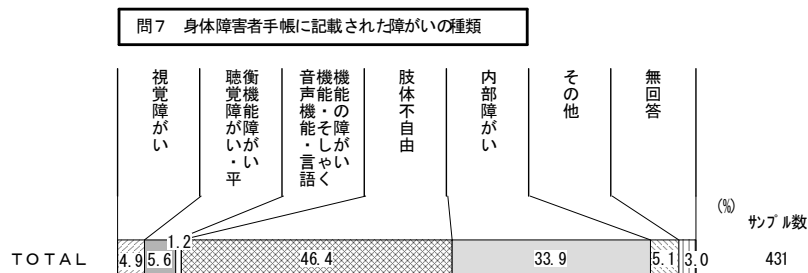
身体障害者手帳に記載されている障がいの程度は、「1級」が35.3%と最も多い。



(7) 障がいの種別

問7 手帳に記載されている障がいは次のどれですか。主な障がい1つをお答えください。(○は1つ)

身体障害者手帳に記載されている主な障がいは、「肢体不自由」が46.4%と最も多く、「内部障がい」が33.9%で続いている。

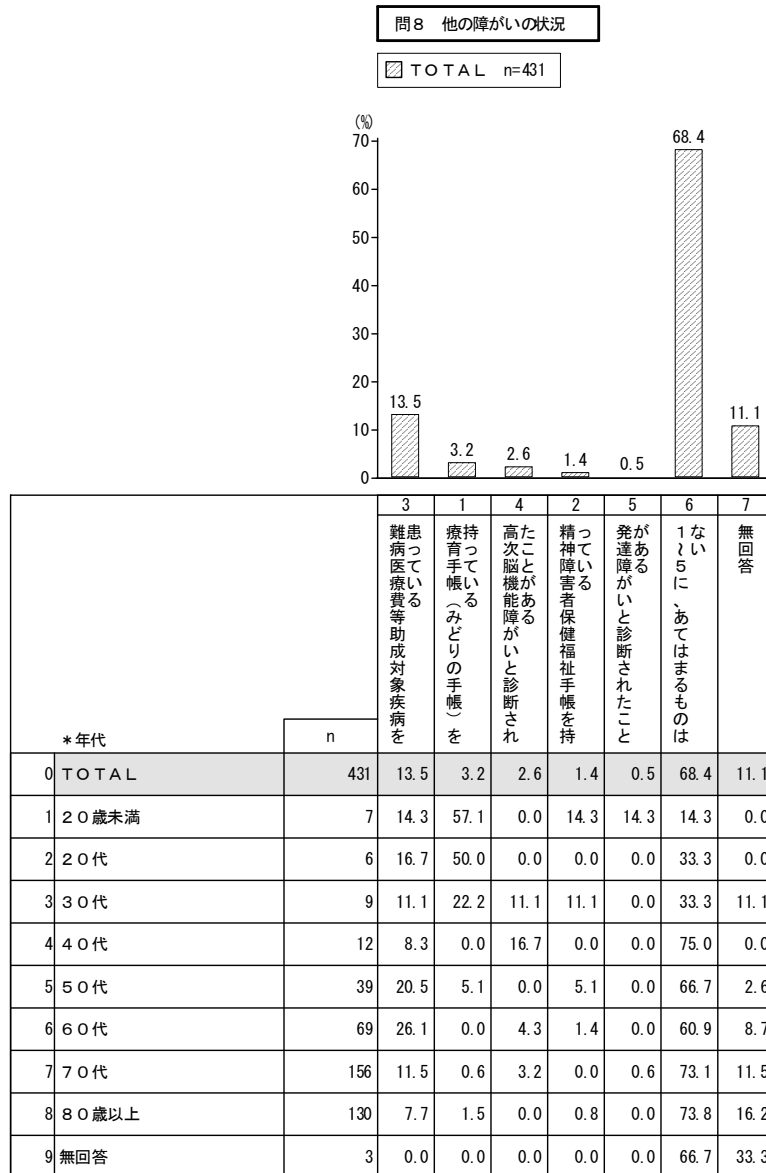


【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(8) 他の障がいの状況

問8 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

身体障がい以外の障がいとの重複状況を見ると、13.5%の人は「国・埼玉県が指定する特定疾患（難病）を患っている」、3.2%の人は「療育手帳（みどりの手帳）を持っている」と回答している。

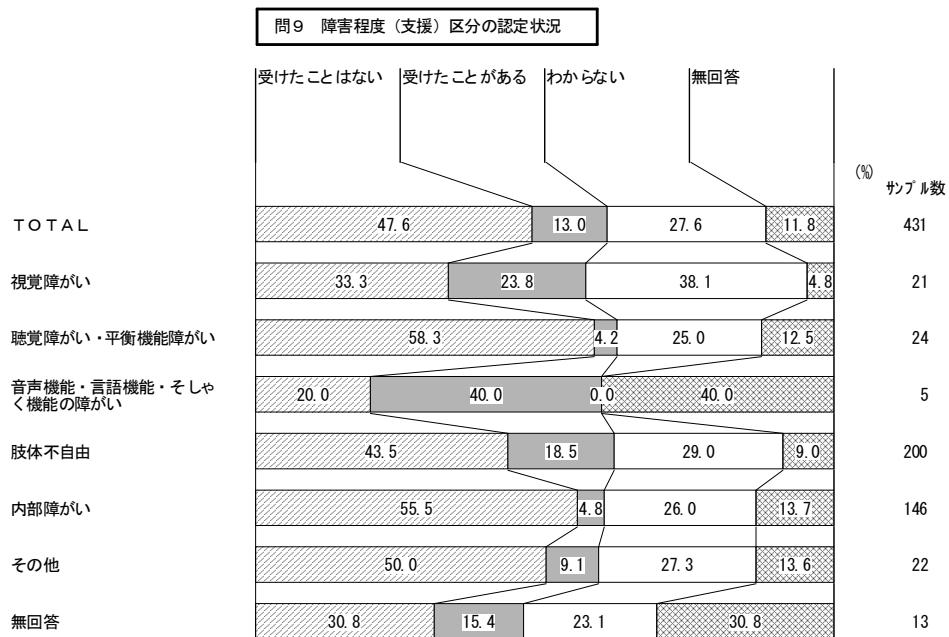


(9) 障害程度（支援）区分

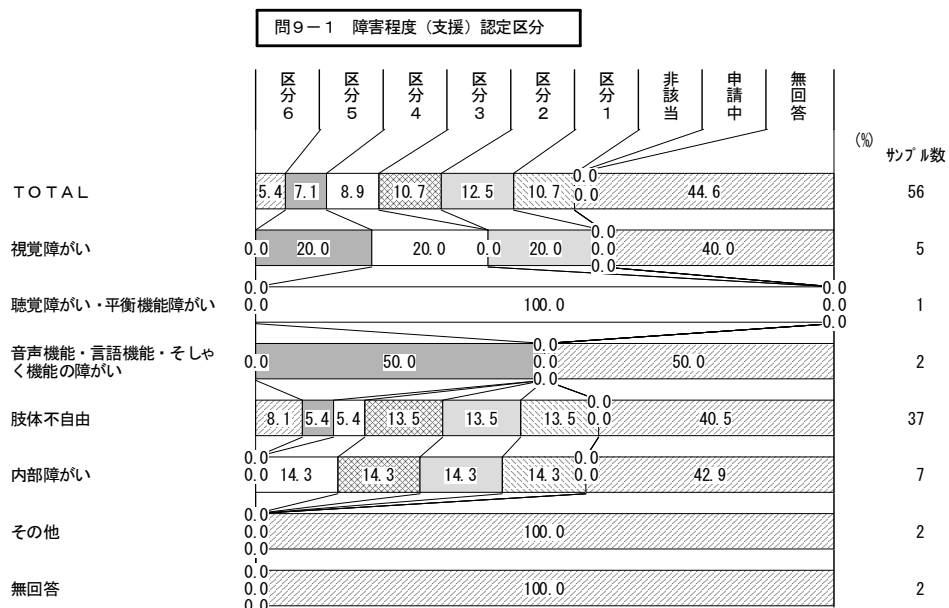
問9 あなたは、「障害程度(支援)区分」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。
(○は1つ)

障害程度（支援）区分の認定を「受けたことがある」人は13.0%で、区分としては「区分2」が12.5%と最も多い。

主な障がいの種類別にみると、「肢体不自由」の人で、18.5%が認定を「受けたことがある」と回答している。「聴覚障がい・平衡機能障がい」「内部障がい」では認定を受けている人が5%以下にとどまっている。



《認定区分内訳》

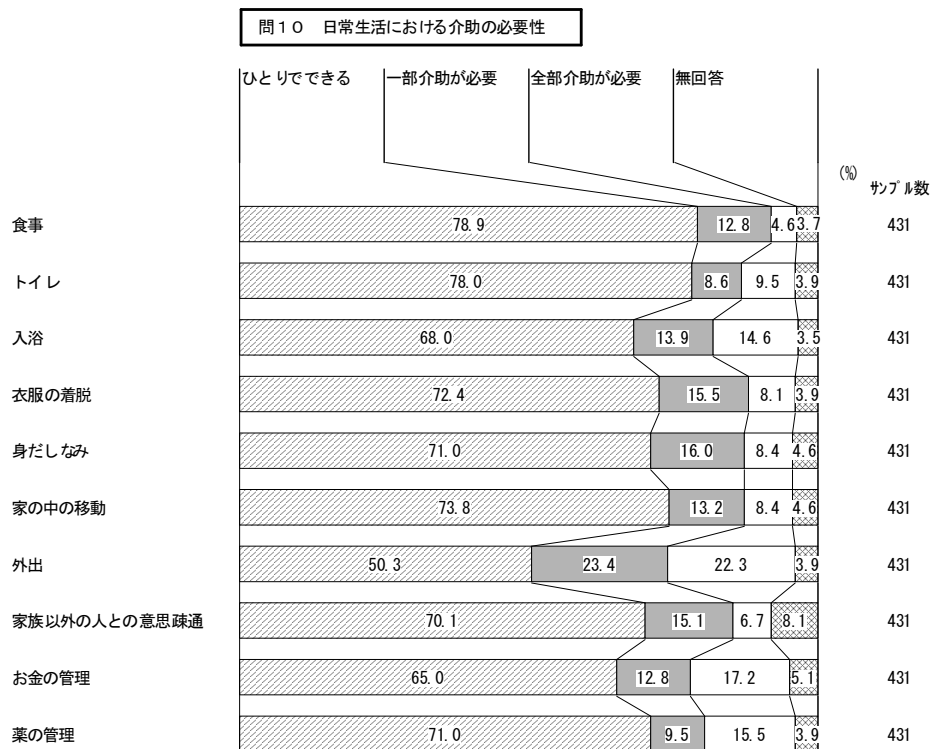


2 介助・援助の状況

(1) 日常生活における介助の必要性

問 10 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から④のそれぞれにお答えください。
 (○は①から④それぞれに1つ)

「全部介助が必要」あるいは「一部介助が必要」な人の割合は、「外出」が合わせて 45.7%と最も高く、次いで「お金の管理」(30.0%)、「入浴」(28.5%)と続いている。

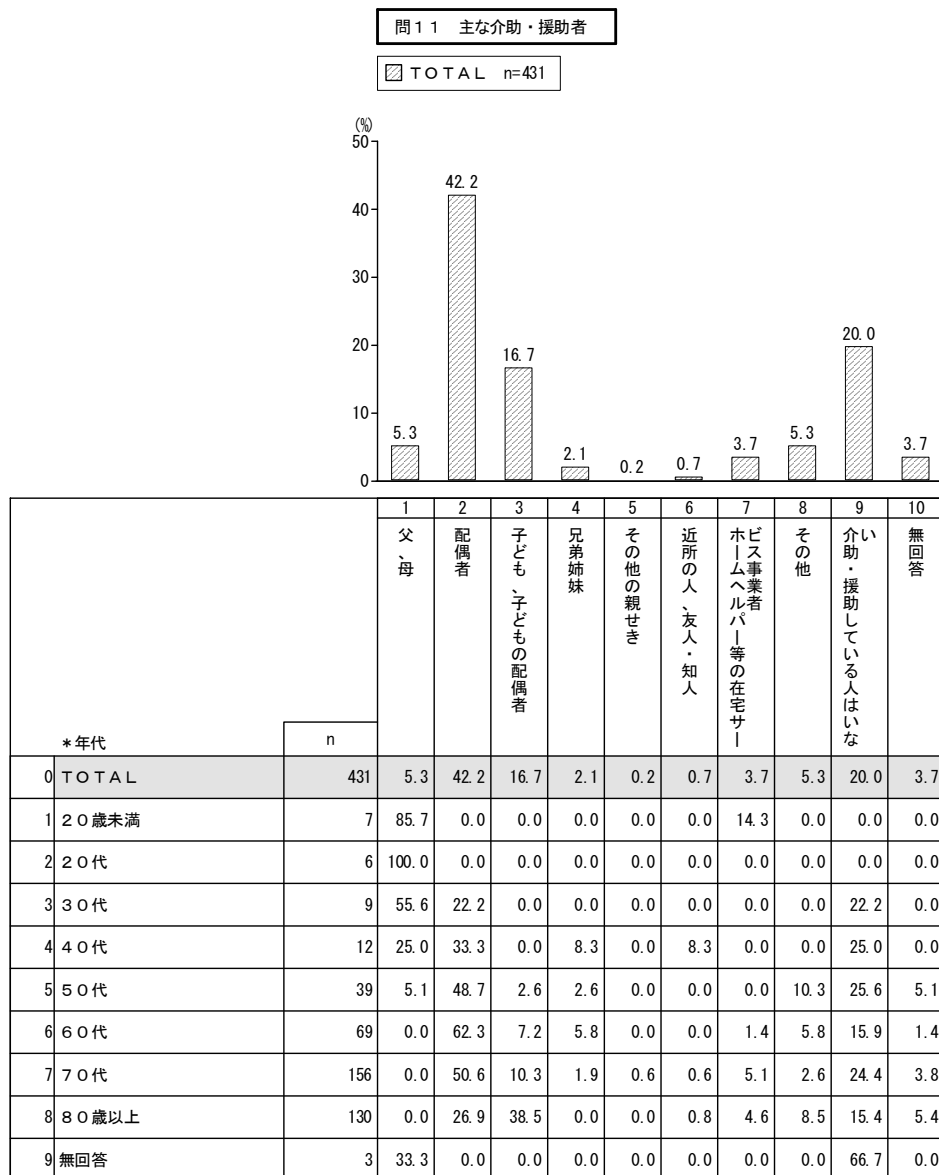


(2) 主な介助・援助者

問 11 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介助・援助者としては、「配偶者」が 42.2%と最も多く、次いで「子ども、子どもの配偶者」(16.7%)、「父、母」(5.3%)と続いている。「介助・援助している人はいない(必要ない)」は 20.0%である。

年代別にみると、30代以下では、「父、母」の割合が最も高く、40代から70代では「配偶者」、80歳以上では「子ども、子どもの配偶者」がそれぞれ最も高くなっている。

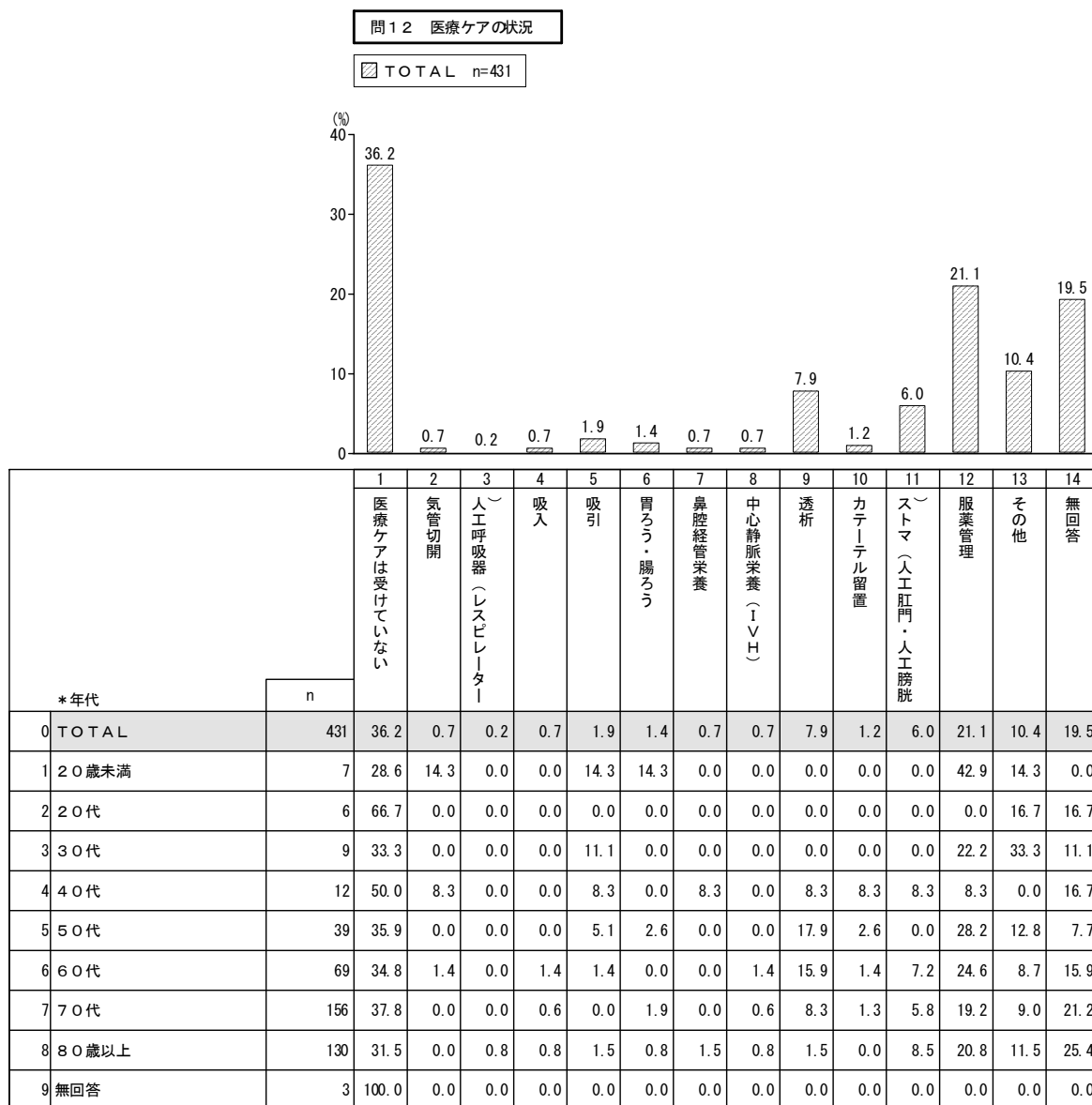


【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(3) 医療ケアの状況

問 12 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(○はい/×でも)

「医療ケアは受けていない」という人が最も多く、36.2%である。受けている医療ケアの種類は「服薬管理」が21.1%と最も高く、次いで「透析」(7.9%)、「ストマ」(6.0%)となっている。また、「その他」の医療ケアを受けている人が10.4%である。「その他」の内容は、「ペースメーカー」「リハビリテーション」などである。



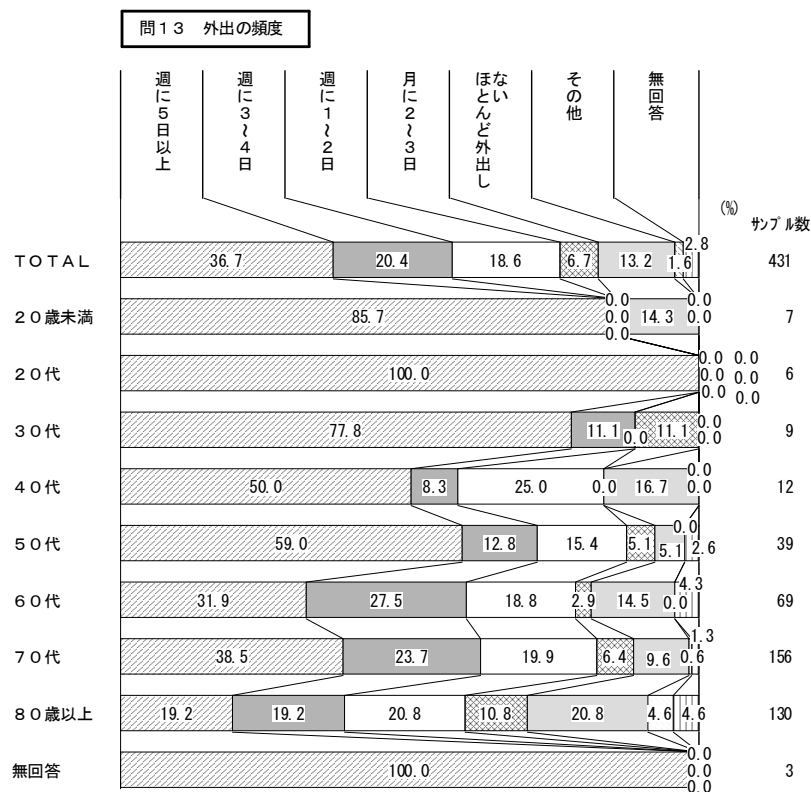
3 外出や社会参加の状況

(1) 外出頻度

問 13 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。
(○は1つ)

外出の頻度は、「週に5日以上」が 36.7%、「週に3～4日」が 20.4%で、「ほとんど外出しない」人は 13.2%となっている。

年代別にみると、60代では「月に2～3日」「ほとんど外出しない」が合わせて 17.4%、70代では 16.0%、80歳以上では 31.6%である。



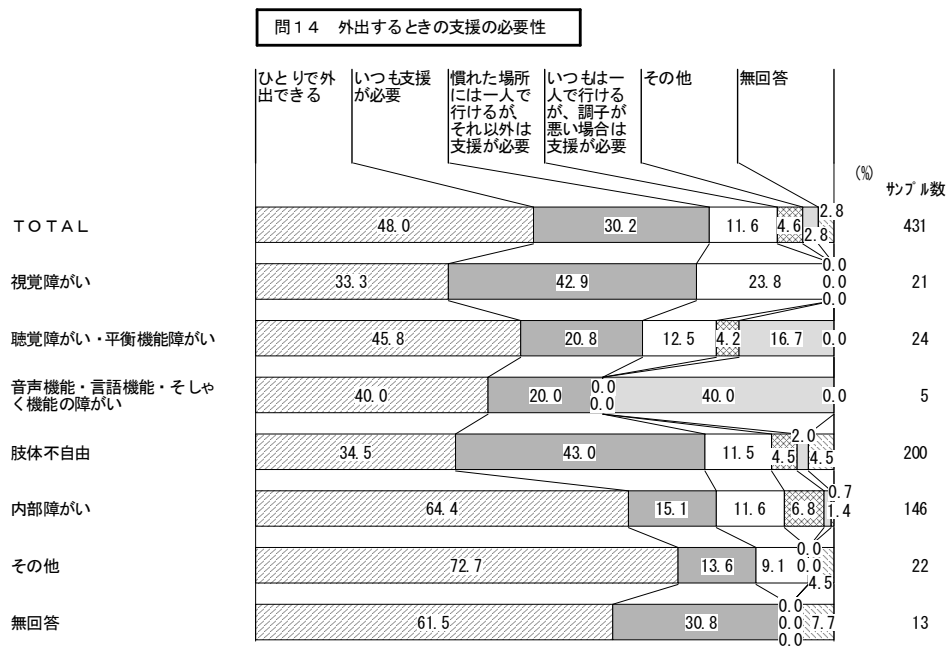
【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(2) 外出するときの支援の必要性

問 14 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

外出の際の支援の必要性については、「いつも支援が必要」と回答した人が 30.2%、「慣れた場所には一人で
行けるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人が 11.6%、「いつもは一人で
行けるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人が 4.6%となっている。

主な障がいの種類別にみると、「視覚障がい」と「肢体不自由」の人では、「いつも支援が必要」と回答した人が
4割以上となっている。

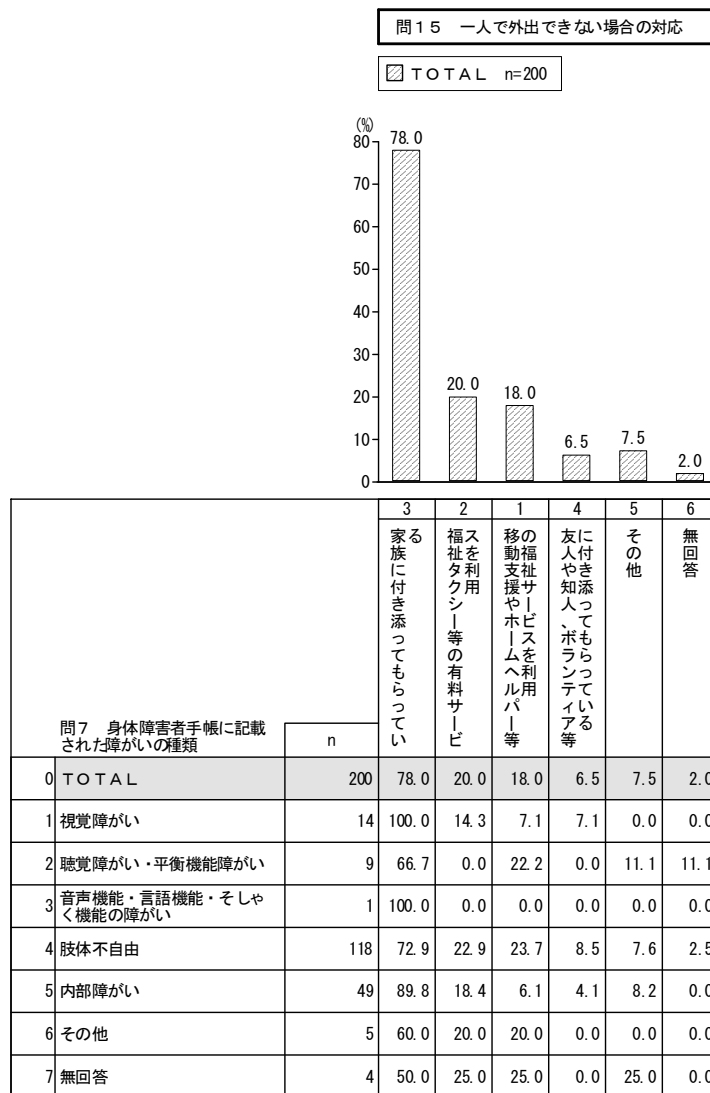


(3) 一人で外出できない場合の対応

問 15 ひとりで外出できない場合、どのように外出していますか。(○はいくつでも)

※問 14 にて 2「いつも支援が必要」、3「慣れた場所には一人で行けるが、それ以外は支援が必要」、4「いつも一人で行けるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人のみ

一人で外出できない場合の対応としては、「家族に付き添ってもらっている」人が 78.0%と最も多い。次いで「福祉タクシー等の有料サービス」が 20.0%、「移動支援やホームヘルパー等の福祉サービスを利用している」が 18.0%となっている。



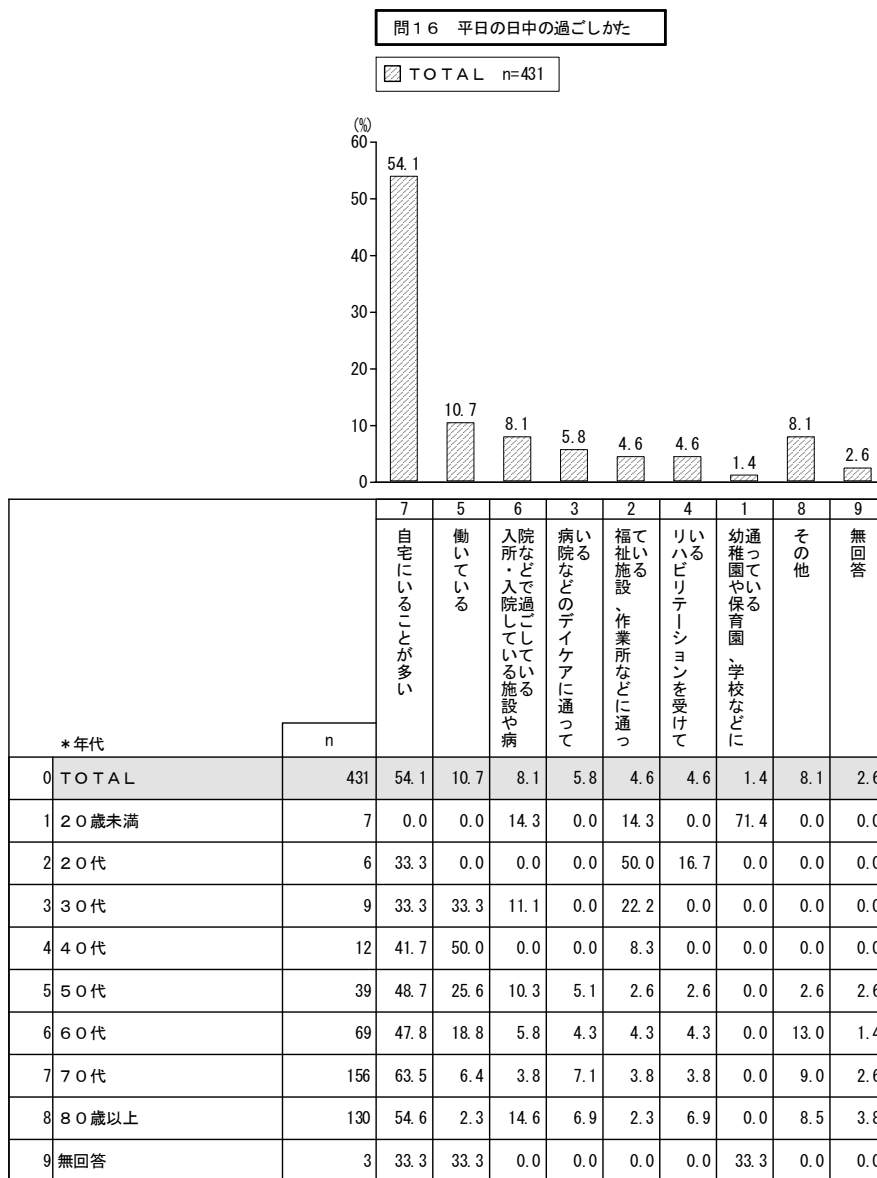
【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(4) 平日の日中の過ごしかた

問 16 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の過ごし方としては、「自宅にすることが多い」が 54.1%と最も多く、次いで「働いている」(10.7%)、「入所・入院している施設や病院などで過ごしている」(8.1%)、「病院などのデイケアに通っている」(5.8%)と続いている。

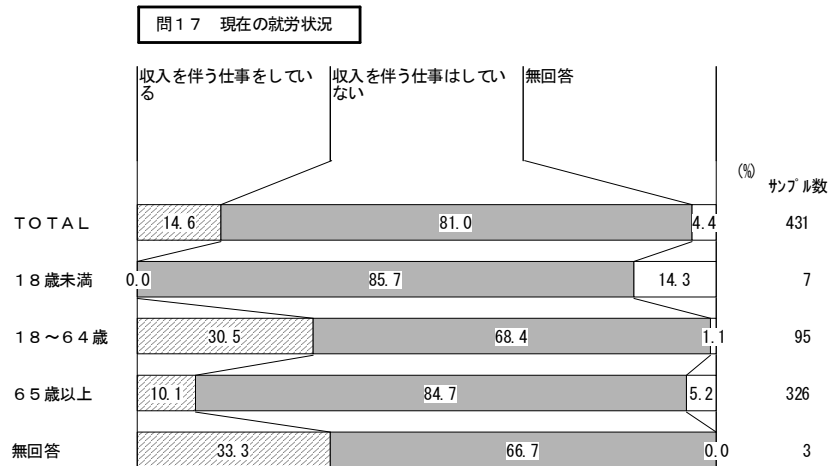
年代別にみると、50代、60代では約半数が、70代以上では半数以上が「自宅にすることが多い」と回答している。



(5) 現在の就労状況

問 17 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人は 14.6%となっている。「18～64 歳」では、「収入を伴う仕事をしている」人は 30.5%である。

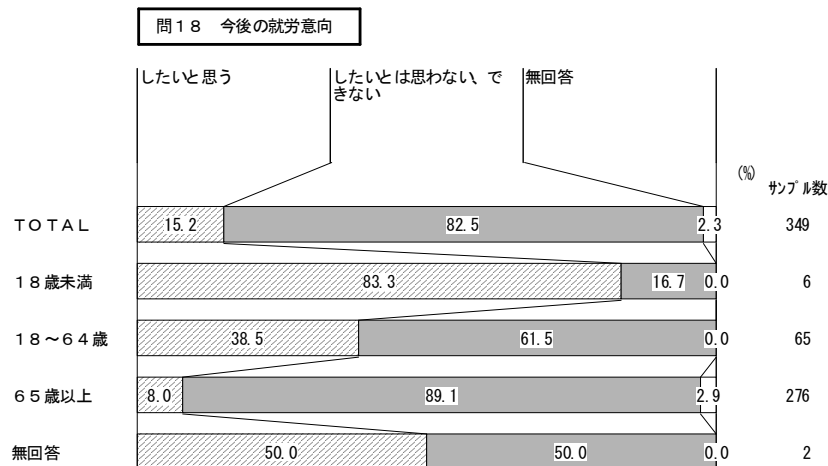


(6) 今後の就労意向

問 18 今後、収入を伴う仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

※問 17 にて 2「収入を伴う仕事はしていない」と回答した人のみ

今後、収入を伴う仕事をしたい人は 15.2%である。「18～64 歳」で、収入を伴う仕事を「したいと思う」人は 38.5%である。



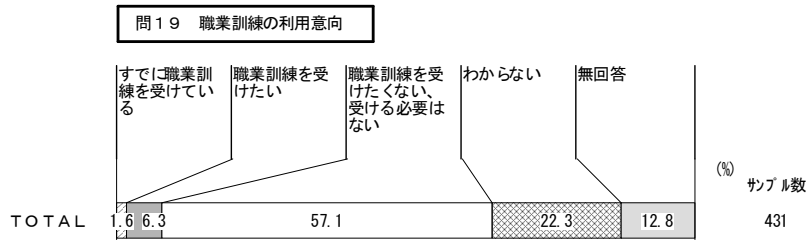
【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(7) 職業訓練の利用意向

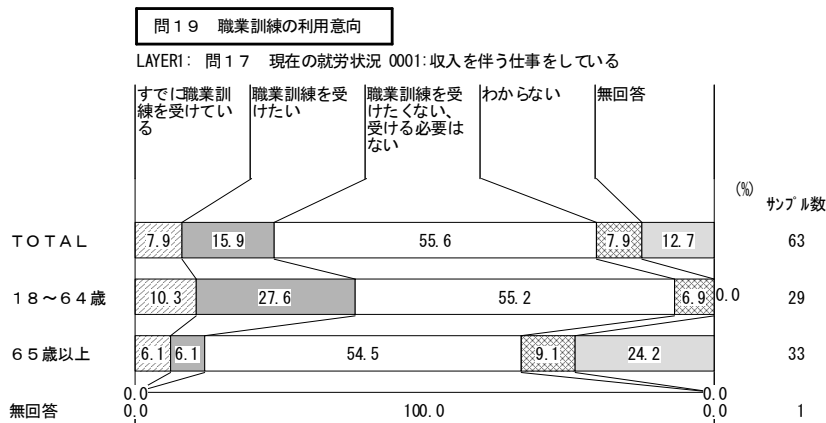
問 19 収入を伴う仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つ)

職業訓練の利用意向については、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 57.1%、「職業訓練を受けたい」が 6.3%となっている。また、「わからない」と回答した人が 22.3%となっている。

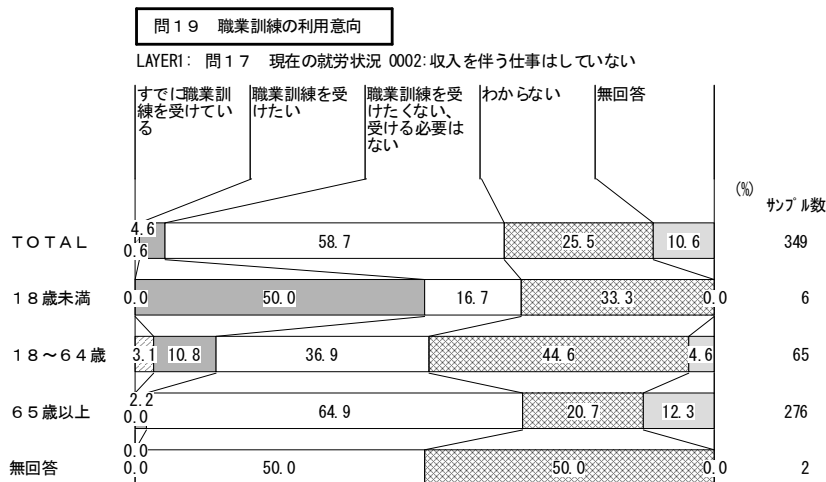
就業状況、年齢別にみると、収入を伴う仕事をしている 18~64 歳の人では、27.6%が「職業訓練を受けたい」と回答している。一方、仕事をしていない 18~64 歳の人では「職業訓練を受けたい」人は 10.8%である。



《収入を伴う仕事をしている方》



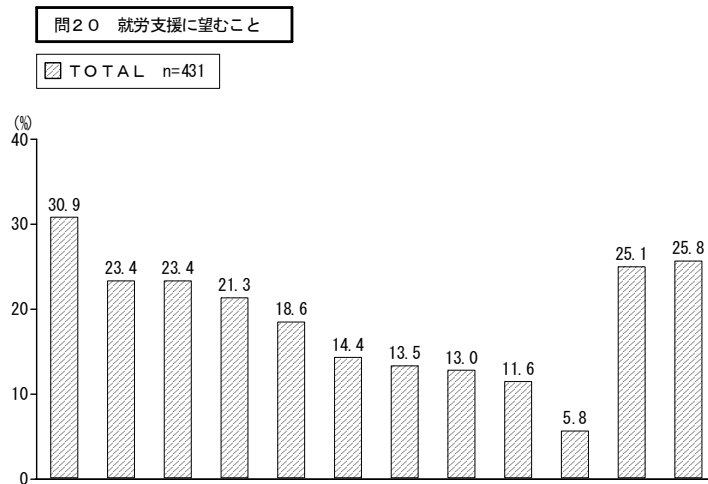
《収入を伴う仕事はしていない方》



(8) 就労支援に望むこと

問 20 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

就労支援に望むこととしては、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が 30.9%で最も多く、次いで「通勤手段の確保」(23.4%)、「短時間勤務や勤務日数などの配慮」(23.4%)、「在宅勤務の拡充」(21.3%)と続いている。「わからない」と回答した人は 25.1%である。



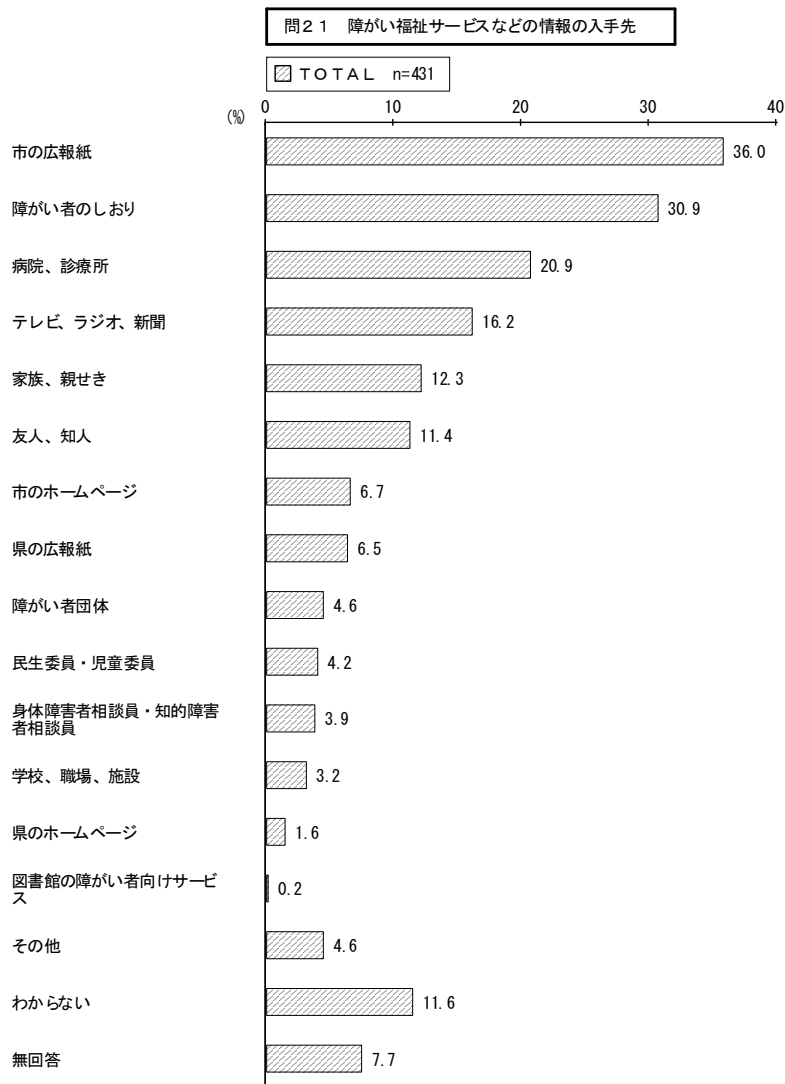
*年代	n	5	1	3	4	2	7	6	9	8	10	11	12
		職場の上司や同僚に障がいの理解があること	通勤手段の確保	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	就労後のフオロアップなど、職場と支援機関の連携	職場で介助や援助などが受けられること	仕事についての職場外での相談対応や支援	企業のニーズに合った就労訓練	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	431	30.9	23.4	23.4	21.3	18.6	14.4	13.5	13.0	11.6	5.8	25.1	25.8
1 20歳未満	7	85.7	85.7	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	57.1	14.3	14.3	0.0
2 20代	6	83.3	66.7	50.0	16.7	50.0	83.3	66.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
3 30代	9	66.7	44.4	33.3	33.3	22.2	44.4	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1
4 40代	12	41.7	8.3	33.3	41.7	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	33.3	0.0
5 50代	39	61.5	43.6	41.0	38.5	28.2	28.2	20.5	35.9	23.1	5.1	17.9	0.0
6 60代	69	36.2	21.7	24.6	23.2	20.3	13.0	20.3	13.0	14.5	5.8	13.0	26.1
7 70代	156	25.6	21.2	22.4	21.2	17.9	10.9	10.3	10.3	8.3	8.3	28.2	27.6
8 80歳以上	130	16.2	15.4	13.8	11.5	11.5	7.7	6.9	6.2	6.9	3.1	33.1	36.9
9 無回答	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
1 視覚障がい	21	33.3	33.3	14.3	19.0	19.0	19.0	19.0	23.8	19.0	14.3	23.8	23.8
2 聴覚障がい・平衡機能障がい	24	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	16.7	12.5	16.7	16.7	4.2	20.8	20.8
3 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障がい	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
4 肢体不自由	200	31.0	27.5	26.0	23.0	25.0	18.5	17.5	14.0	12.5	6.5	23.0	23.5
5 内部障がい	146	28.8	17.8	23.3	21.2	11.6	9.6	9.6	9.6	9.6	2.7	24.7	32.2
6 その他	22	27.3	18.2	18.2	22.7	18.2	9.1	9.1	13.6	13.6	18.2	36.4	13.6
7 無回答	13	23.1	15.4	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	46.2	23.1

4 相談や情報入手について

(1) 障がい福祉サービスなどの情報の入手先

問 21 障がい福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

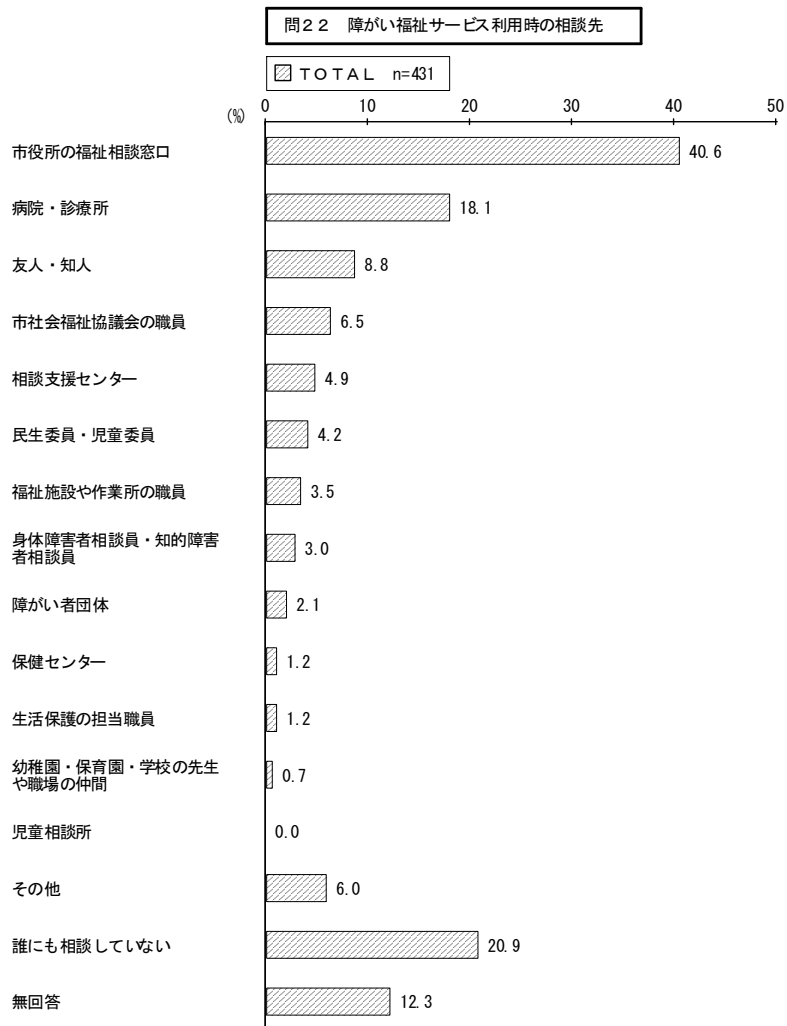
障がい福祉サービスなどの情報の入手先では「市の広報紙」と回答した人が 36.0%と最も多く、次いで「障がいのしおり（「北本市保健福祉ガイドブック」など）」が 30.9%、「病院、診療所」が 20.9%となっている。



(2) 障がい福祉サービス利用時の相談先

問 22 あなたは、障がい福祉サービスを利用するときどなたかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

障がい福祉サービスを利用するときの相談先では「市役所の福祉相談窓口」と回答した人が 40.6%と最も多く、次いで「病院・診療所」が 18.1%、「友人・知人」が 8.8%となっている。なお、「誰にも相談していない」と答えた人が 2 割 (20.9%) となっている。



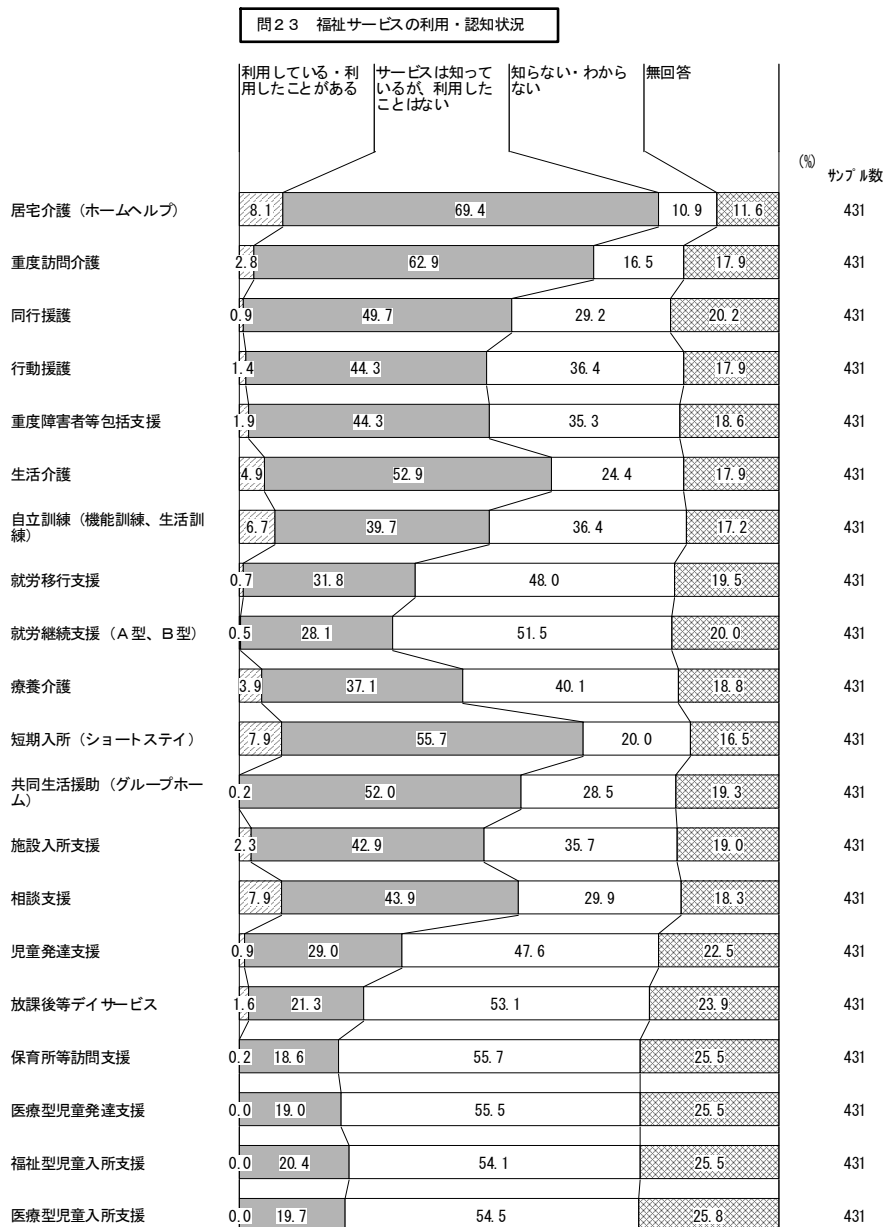
5 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの利用・認知状況

問 23 あなたは、次のような障がい福祉サービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。
 (①～⑳のサービスごとに1つずつお答えください。)

障がい福祉サービスの中で、「利用している・利用したことがある」サービスでは「居宅介護（ホームヘルプ）」が8.1%で最も高く、次いで「短期入所（ショートステイ）」「相談支援」（いずれも7.9%）、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」が6.7%となっている。

一方、「知らない・わからない」と回答した人が5割を超えるサービスは、「保育所等訪問支援」（55.7%）、「医療型児童発達支援」（55.5%）、「医療型児童入所支援」（54.5%）、「福祉型児童入所支援」（54.1%）、「放課後等デイサービス」（53.1%）、「就労継続支援（A型、B型）」（51.5%）である。



(2) 福祉サービスの利用（継続）意向

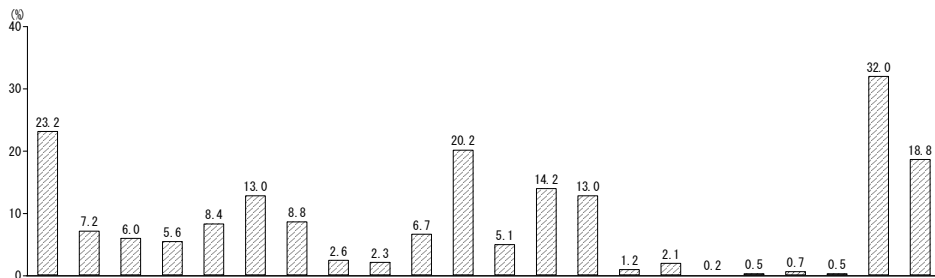
問 24 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

今後も引き続き利用したい、あるいは、今後新たに利用したいと思うサービスとしては、「居宅介護（ホームヘルプ）」をあげる人が23.2%と最も多く、次いで「短期入所（ショートステイ）」が20.2%で続いている。

また、「居宅介護（ホームヘルプ）」「短期入所（ショートステイ）」とも、利用意向が利用経験を10ポイント以上、上回っている。

問 24 福祉サービスの利用（継続）意向

□ TOTAL n=431

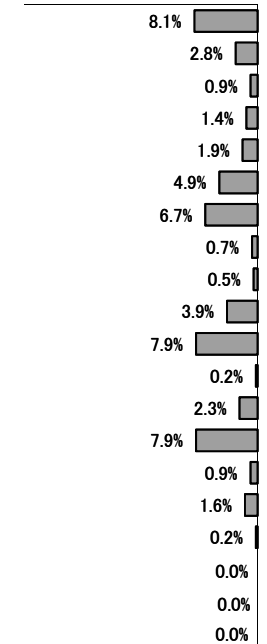


*年齢（3区分）	n	サービス																					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
0 TOTAL	431	23.2	7.2	6.0	5.6	8.4	13.0	8.8	2.6	2.3	6.7	20.2	5.1	14.2	13.0	1.2	2.1	0.2	0.5	0.7	0.5	32.0	18.8
1 18歳未満	7	28.6	14.3	0.0	57.1	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0	14.3	28.6	42.9	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3
2 18～64歳	95	10.5	4.2	7.4	4.2	7.4	13.7	7.4	8.4	4.2	4.2	11.6	5.3	7.4	12.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.3	12.6
3 65歳以上	326	26.4	8.0	5.8	4.6	8.6	12.9	9.2	0.6	1.2	7.7	22.1	4.9	16.0	12.6	0.6	0.9	0.3	0.0	0.3	0.3	28.8	20.6
4 無回答	3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3

利用している・利用したことがあるサービス（複数回答）

《利用経験》

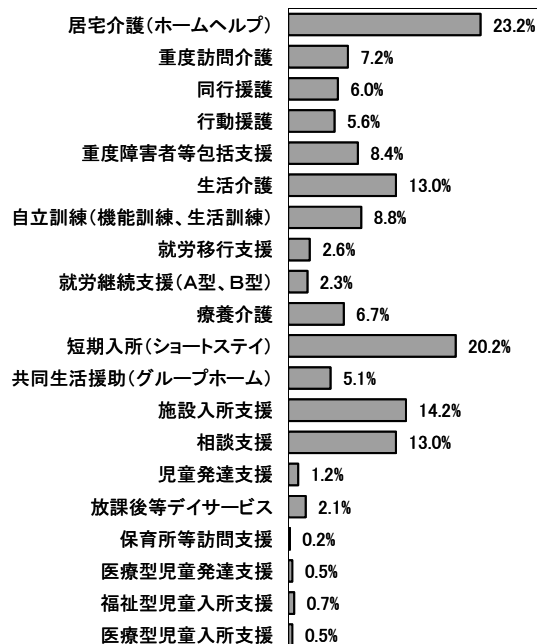
30% 20% 10% 0%



今後利用したいサービス（複数回答）

《利用意向》

0% 10% 20% 30%



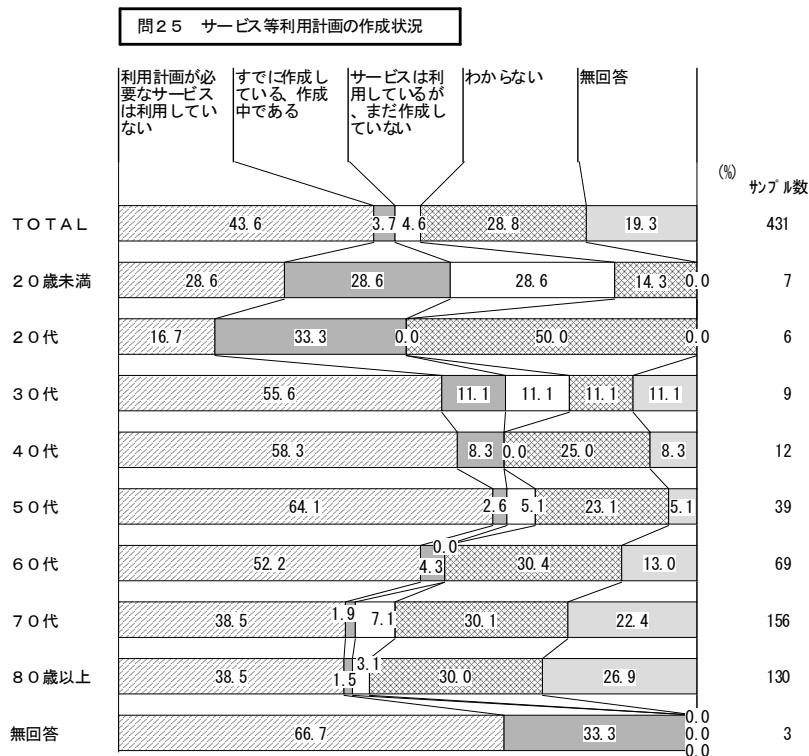
【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(3) サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成状況

問 25 法律の改正により、障がい福祉サービス・障がい児通所支援の利用にあわせてサービス等利用計画の作成が必要になりました。すでにサービスを利用している方も、平成 27 年 3 月までに計画を作成していただくことになります。この計画は、市が指定する特定相談支援事業者が作成し、利用者の負担はありません。

あなたは、「サービス等利用計画(障害児支援利用計画)」を作成していますか。(○は1つ)

サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成状況については、「利用計画が必要なサービスは利用していない」と回答した人は 43.6%である。「すでに作成している、あるいは作成中である」人は 3.7%、「サービスは利用しているが、まだ作成していない」人は 4.6%である。なお、「わからない」と回答した人は 28.8%となっている。



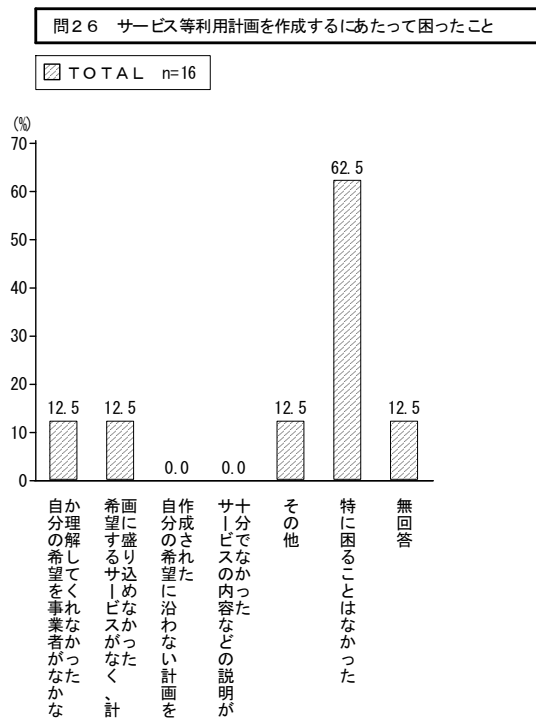
(4) サービス等利用計画(障害児支援利用計画)を作成するにあたって困ったこと

問26 計画を作成するにあたって、何か困ったことはありましたか。(○はいくつでも)

※問25にて2「すでに作成している、あるいは作成中である」と回答した人のみ

サービス等利用計画(障害児支援利用計画)を作成するにあたっては、16人中10人(62.5%)の人が「特に困ることはなかった」と回答している。

困ったことでは、「自分の希望を事業者がなかなか理解してくれなかった」が2人(12.5%)、「希望するサービスがなく、計画に盛り込めなかった」も2人(12.5%)となっている。

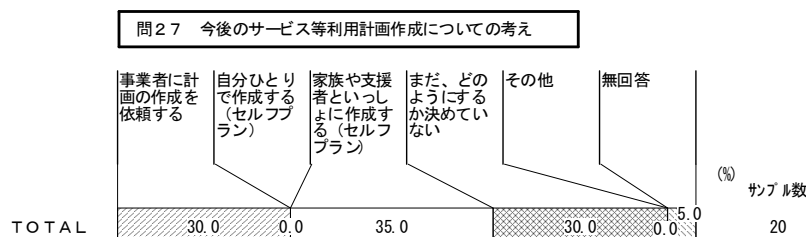


(5) 今後のサービス等利用計画作成についての考え

問27 今後の計画の作成について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

※問25にて3「サービスは利用しているが、まだ作成していない」と回答した人のみ

今後のサービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成については、「家族や支援者と一緒に作成する(セルフプラン)」と回答した人が35.0%、「事業者に計画の作成を依頼する」が30.0%となっている。「まだ、どのようにするか決めていない」人は30.0%である。

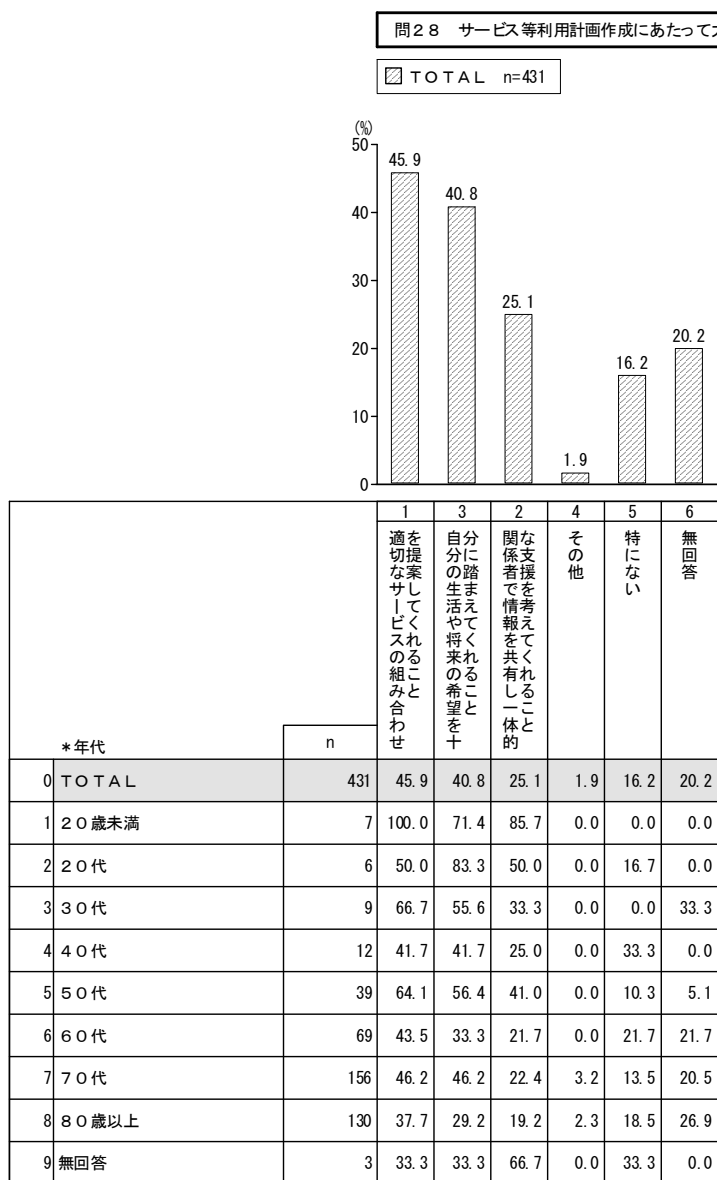


【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(6) サービス等利用計画作成にあたって大切なこと

問 28 サービス等利用計画の作成にあたっては、どのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

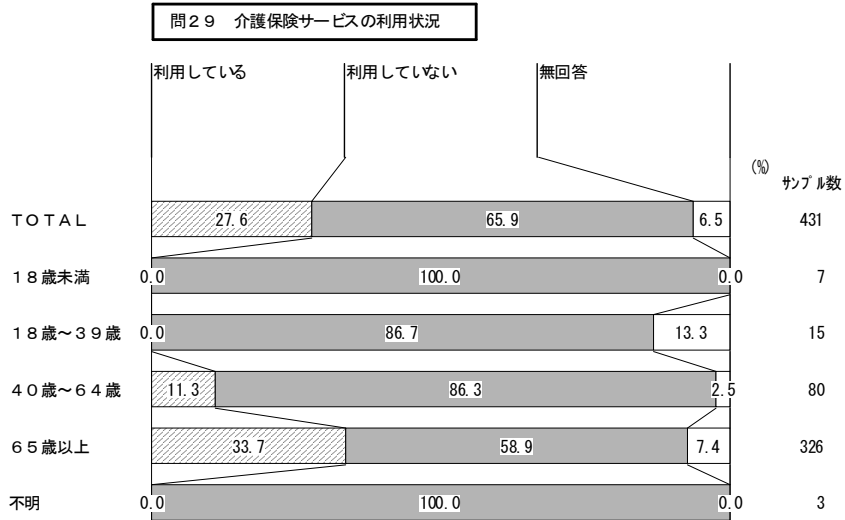
サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成にあたって大切だと思うことについては、「適切なサービスの組み合わせを提案してくれること」と回答した人が45.9%と最も多く、次いで「自分の生活や将来の希望を十分に踏まえてくれること」が40.8%となっている。



(7) 介護保険サービスの利用状況

問 29 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

40歳～64歳では11.3%の人が、65歳以上では33.7%の人が介護保険サービスを利用している。

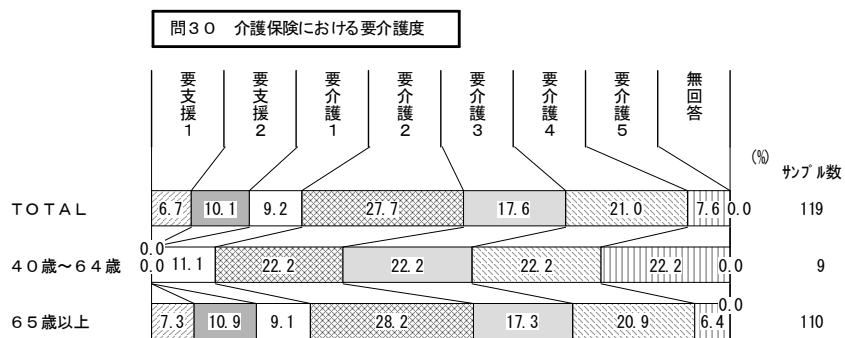


(8) 介護保険における要介護度

問 30 該当する要介護度はどれですか。(○は1つ)

※問 29にて1「利用している」と回答した人のみ

介護保険における要介護度については、「要介護2」が最も多く27.7%である。また、「要介護3以上」が46.2%となっている。



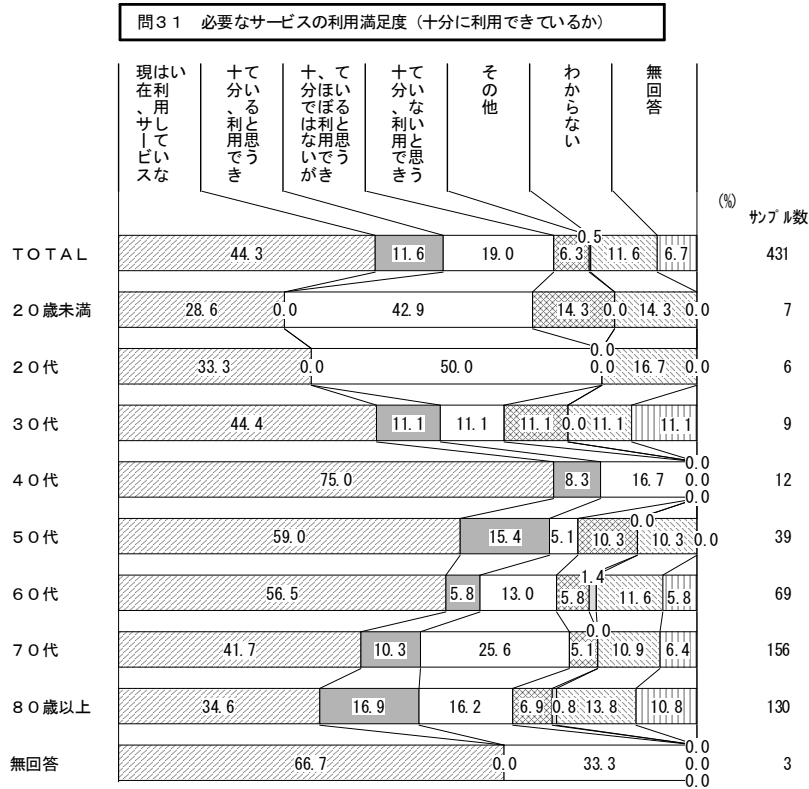
【Ⅱ 調査結果 身体障がい者】

(9) 必要なサービスの利用満足度

問 31 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

必要だと思うサービスを利用できているかについては、「十分、利用できていると思う」が 11.6%、「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が 19.0%で、肯定的な評価が約 3 割となっている。一方、「十分、利用できていないと思う」は 6.3%である。

なお、「現在、サービスは利用していない」と回答した人は 44.3%である。

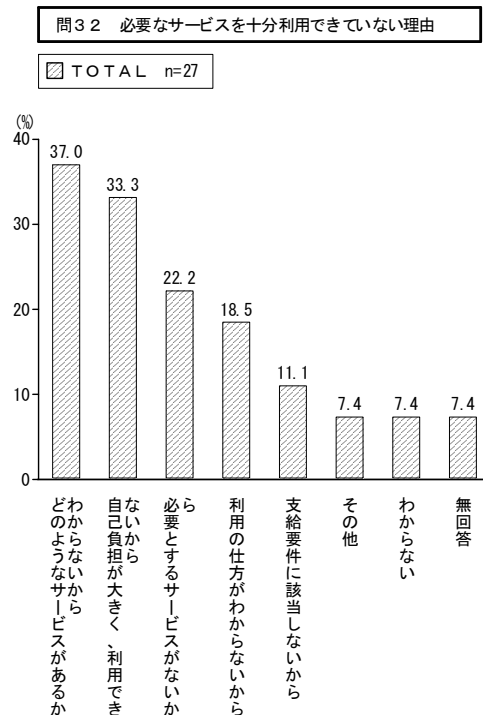


(10) 必要なサービスを十分利用できていない理由

問 32 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※問 31 にて 4「十分、利用できていないと思う」と回答した人のみ

必要だと思うサービスを利用できていない理由については、「どのようなサービスがあるかわからないから」と回答した人が 37.0%と最も多く、次いで「自己負担が大きく、利用できないから」が 33.3%、「必要とするサービスがないから」が 22.2%となっている。



(11) 必要だと思うサービスの内容 (自由回答)

問 33 必要とするのはどのようなサービスですか。(自由記入)

※問 32 にて 3「必要とするサービスがないから」と回答した人のみ

次のような回答があがっている。

- ・ 介護者の心のケアが欲しい。
- ・ 文化センター、市役所等で案内人（車いすを押してくれる人）が居ると良いと思います。
- ・ 基本的には、児童デイサービスですが、受け入れ先がない。障がいの程度による受け入れ拒否（発作時に対応できないとのこと）なのが残念。自宅から遠方ならあるが、送迎に2時間以上かかり、サービスを利用しても、1日で3,000円かかるのも負担大。

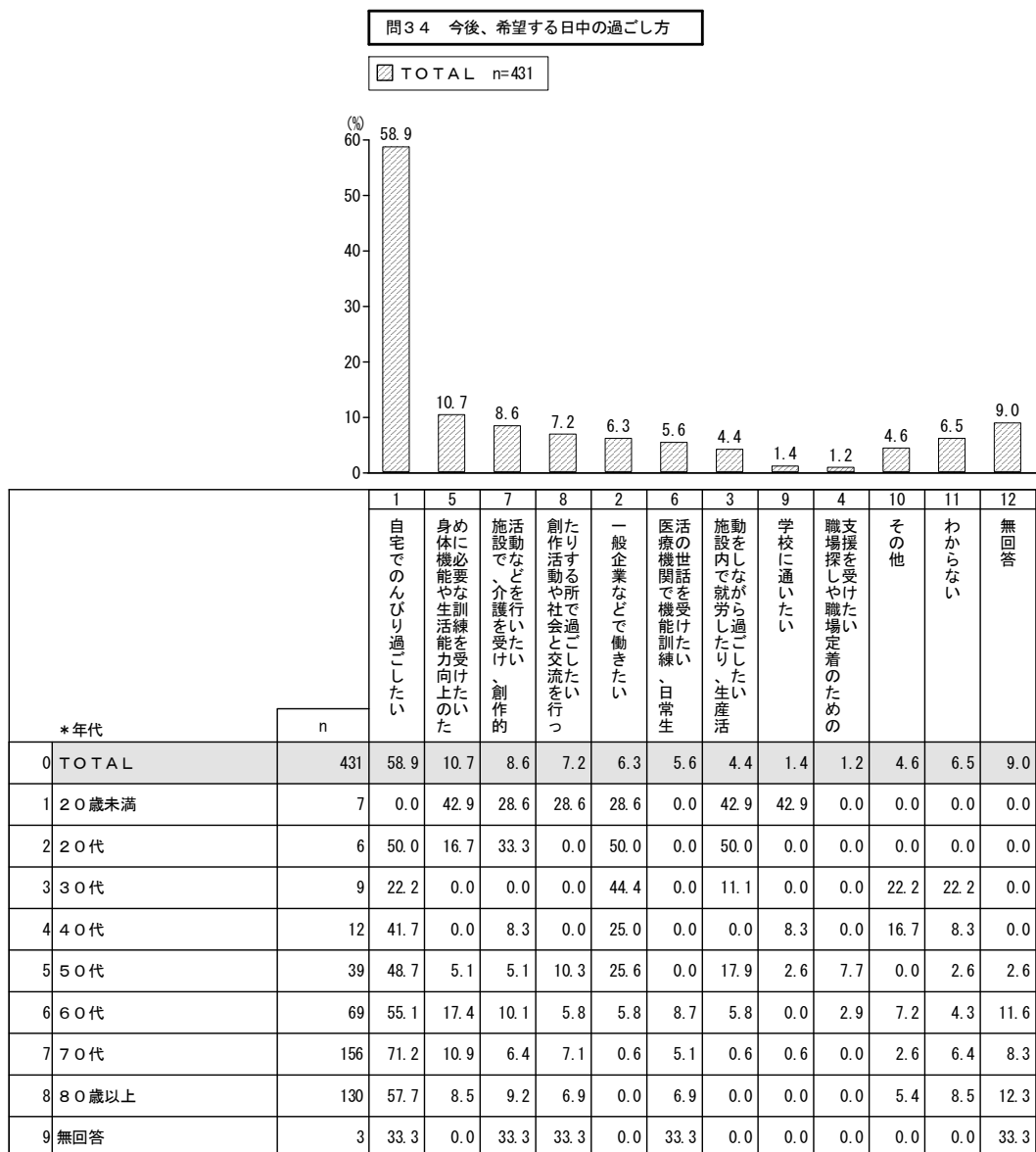
6 将来の希望等について

(1) 今後、希望する日中の過ごし方

問34 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方については、「自宅でのんびり過ごしたい」と回答した人が 58.9%と最も多く、次いで「身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい」が10.7%、「施設で、介護を受け、創作的活動などを行いたい」が8.6%となっている。

年代別でみると、40代以上では「自宅でのんびり過ごしたい」と回答した人が最も多い。



(2) 近い将来、希望する暮らし方

問 35 あなたは、近い将来（おおむね5～10年後）どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

近い将来、希望する暮らし方については、「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」と回答した人が64.7%と最も多く、次いで「市内の施設で暮らしたい」が6.7%、「ひとりで自立して暮らしたい」が5.6%となっている。約1割（10.4%）が「わからない」と回答している。

居住場所別でみると、現在自宅で暮らしている人では「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」が70.0%となっている。福祉施設に入所している人では、「市内の施設で暮らしたい」が26.7%、「市外の施設で暮らしたい」が6.7%となっており、「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」は10.0%である。



7 意見・要望等（自由回答）

（1）意見・要望等（自由回答）

問 36 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。（自由記入）

【福祉サービス・制度について】

- ・ ヘルパーも大変と思いますがもう少し本人によりそって介護して頂きたい。
- ・ 保育所への入所を希望していますが、市内の公立保育所は4歳児からで（現在2才）各学年1人ずつくらいしか受け入れが無いと聞き、私（本人の母）が働く事はできないのかと悩んでいます。私立の保育園や幼稚園なども障がい児の受け入れをもっと積極的に行ってほしいと思っています。北本市に民間の児童デイなどあれば便利だと思います。私自身を含め、障がい児をもつ親は孤立しがちなので、交流の場などあればいいと思います。北本市は子育て支援に力を入れていますが、健常児ばかりではない事を理解してほしいと願います。療育センターに看護師が常駐したら、もっと幅広い児童を受け入れられるのではないのでしょうか？ぜひお願いしたいです。
- ・ 急に家族（妻、あるいは夫）が入院になるなど、一人で生活が出来ない時に預かっていただくところがあったらと思います（ショートステイみたいなところ）。
- ・ 体調の悪いときに訪問してくれるお医者さんがいると良い。
- ・ 北本市には、リハビリを行うところがないので、デイサービスの場所ばかりではなく、リハビリ施設をつくってほしい。
- ・ デマントバスを利用しているが台数の増加及び料金が下がるといい。
- ・ 介護する人が、一応動けると、ヘルパーのサービスを受けられないのは不合理だ。老々介護ほどつらいものはない。
- ・ 電車等に乗っている時、見た目障がい者と分からないため優先席をゆずってもらえなかったり、座っていてもお年寄り来たりして何でゆずってくれないかと思われるため、妊婦さんがつけている様な、バッグにつける様な物を作成して欲しい。
- ・ 車椅子や、装具着用者、目の不自由な人などが、歩きやすい道にして欲しいです。
- ・ 現在特別支援学校に通っていますが、親が急に病気になったりした時に、近くにショートステイでもあればと思います。
- ・ 作業所を増してほしい。今のままでは北本市内の作業所がいっぱいになり入れなくなると言われている。作業所に優先的に仕事を廻して市役所内の仕事をさせてほしい。
- ・ 介護福祉にもっと“力”を入れてほしい。デイサービスやショートステイなど、たくさん利用したいのですが、自己負担金が高い為、たくさん利用できない。
- ・ 働く意志や意欲があるが障害のために働けない環境にあるなら、環境を整えてあげて社会参加をさせてほしいと思う。

【相談・情報体制について】

- ・ 市内のバスが通る東西の地図は、市広報での知らせでは高齢者にはわかりません。バスを利用して外出も出来る様に大型運行地図をぜひ作って下さい。
- ・ 市として障害者に対しどの様な援助があるのか、具体的に広報が、市の出版物で紹介されたら有りがたいです。
- ・ 目が悪いので情報を入手するのが困難。FM放送を実施して欲しい。

【アンケート調査について】

- ・ このアンケートの項目に該当する答は書けません。ケース・バイ・ケースで答は違いますが、大枠での区分けは必要。

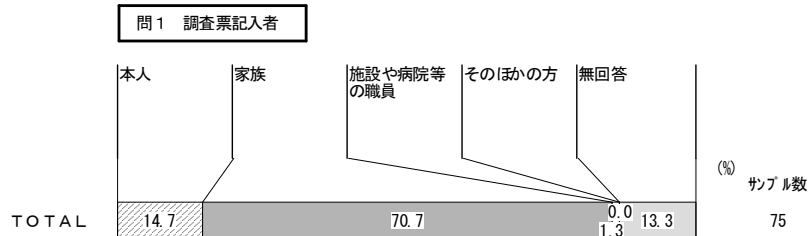
- ・今回のアンケートは私にとっては、あまり関係がなく、一般企業などの就職のあっせんをしてほしい。特に市内での職場を。

1 基本的な属性

(1) 調査票記入者

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

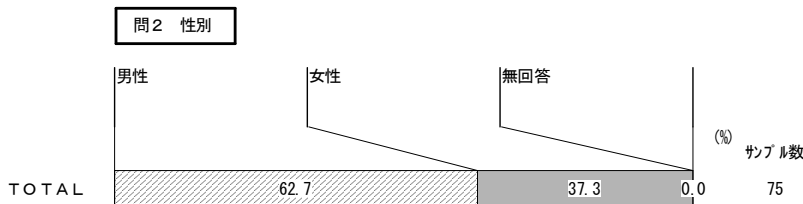
「本人が記入」が14.7%、「家族」が70.7%、「施設や病院等の職員」が1.3%である。



(2) 性別

問2 あなたの性別をおこたください。（○は1つ）

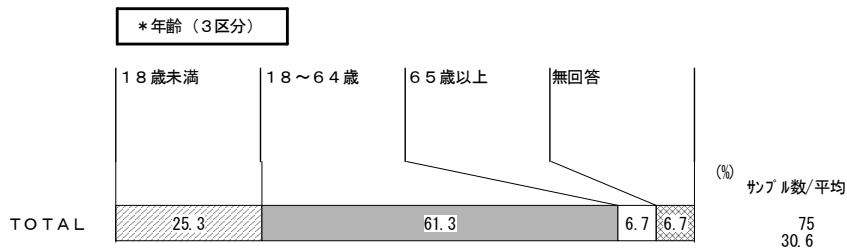
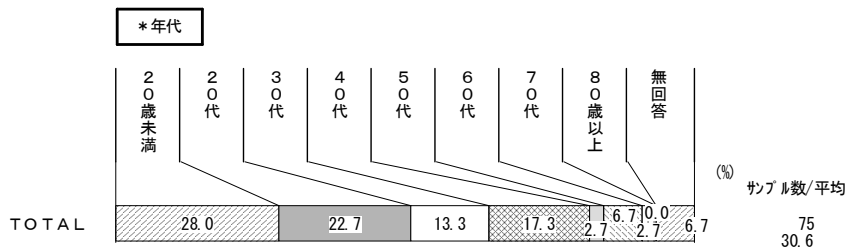
男性が62.7%、女性が37.3%である。



(3) 年齢

問3 年齢（10月1日現在）を書いてください。

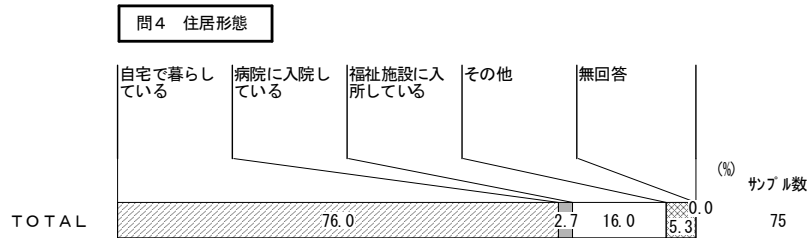
20歳未満が28.0%で最も多く、次いで20代が22.7%となっている。平均年齢は30.6歳である。



(4) 居住場所

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

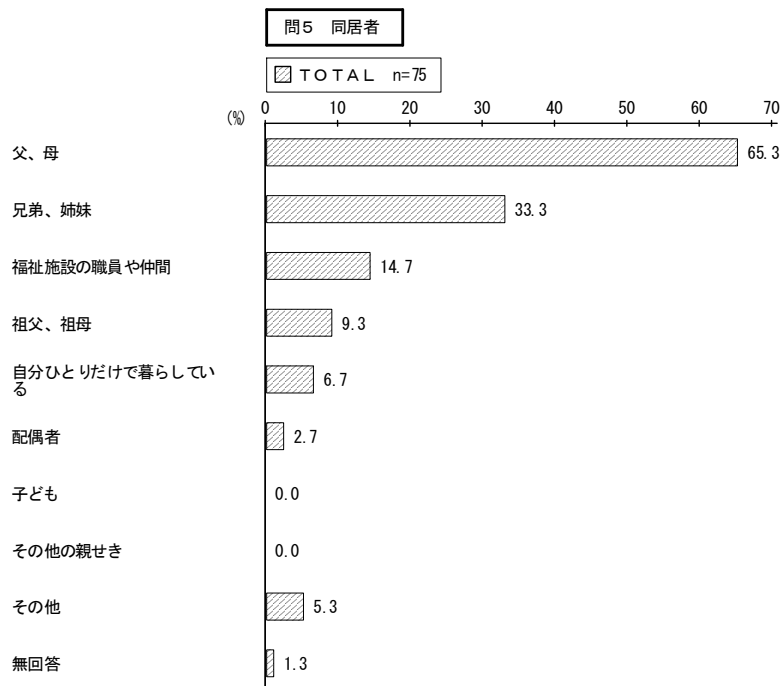
「自宅で暮らしている」が76.0%である。次いで「福祉施設に入所している」が16.0%、「病院に入所している」が2.7%である。



(5) 同居者

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

一緒に暮らしている人は「父、母」と回答した人が65.3%と最も多く、次いで「兄弟、姉妹」が33.3%、「福祉施設の職員や仲間」が14.7%となっている。

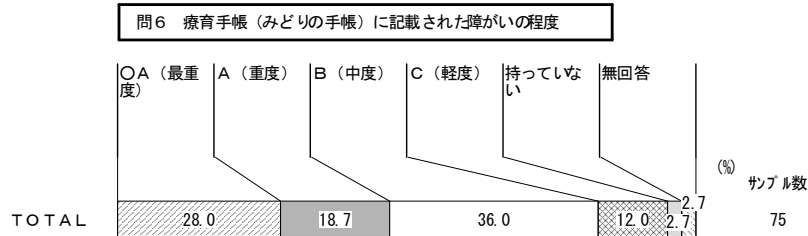


【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

(6) 障がいの程度

問6 療育手帳（みどりの手帳）に書かれている障がいの程度をおこたえください。（○は1つ）

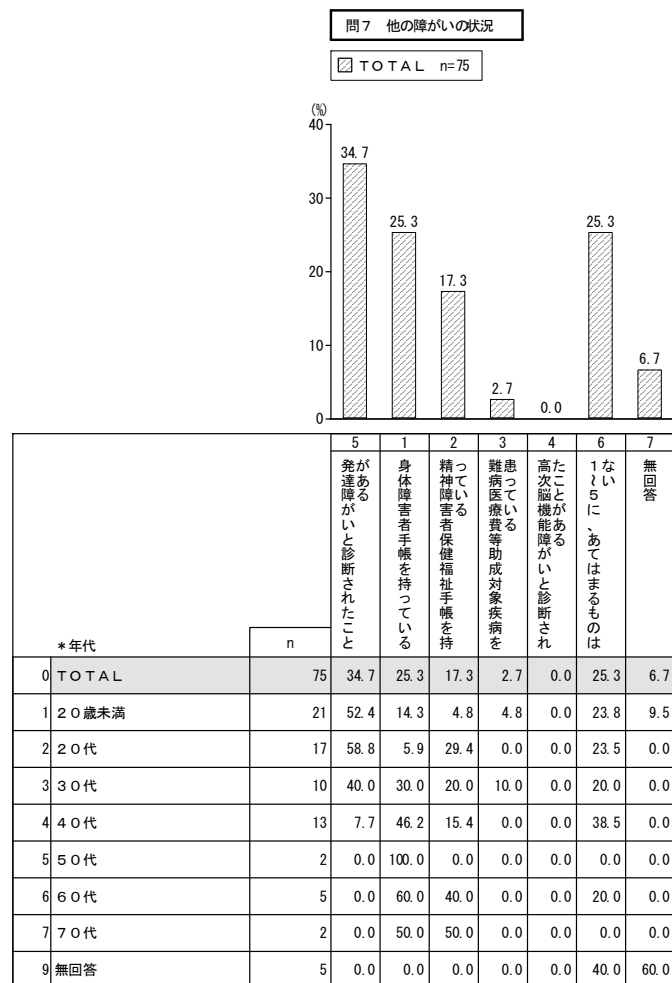
療育手帳（みどりの手帳）に書かれている障がいの程度では、「B（中度）」が36.0%で最も多く、次いで「A（重度）」が28.0%、「A（最重度）」が18.7%となっている。



(7) 他の障がいの状況

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

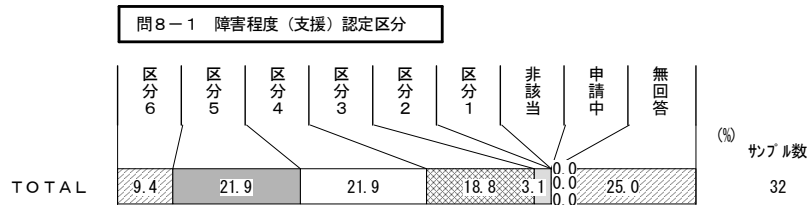
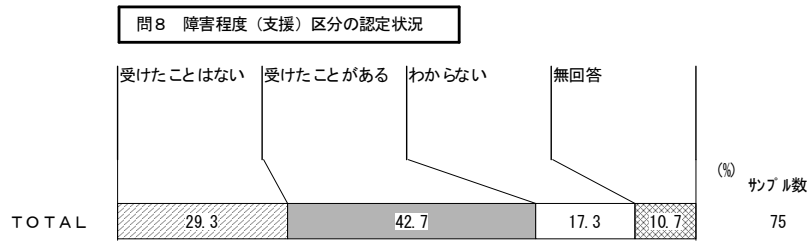
他の障がいの状況については、「発達障がいと診断されたことがある」が34.7%で最も多く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が25.3%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が17.3%となっている。



(8) 障害程度（支援）区分

問8 あなたは、「障害程度(支援)区分」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。
 (○は1つ)

障害程度（支援）区分の認定を受けたことが「ある」人は約4割（42.7%）で、区分としては「区分5」と「区分4」がそれぞれ21.9%と最も多い。



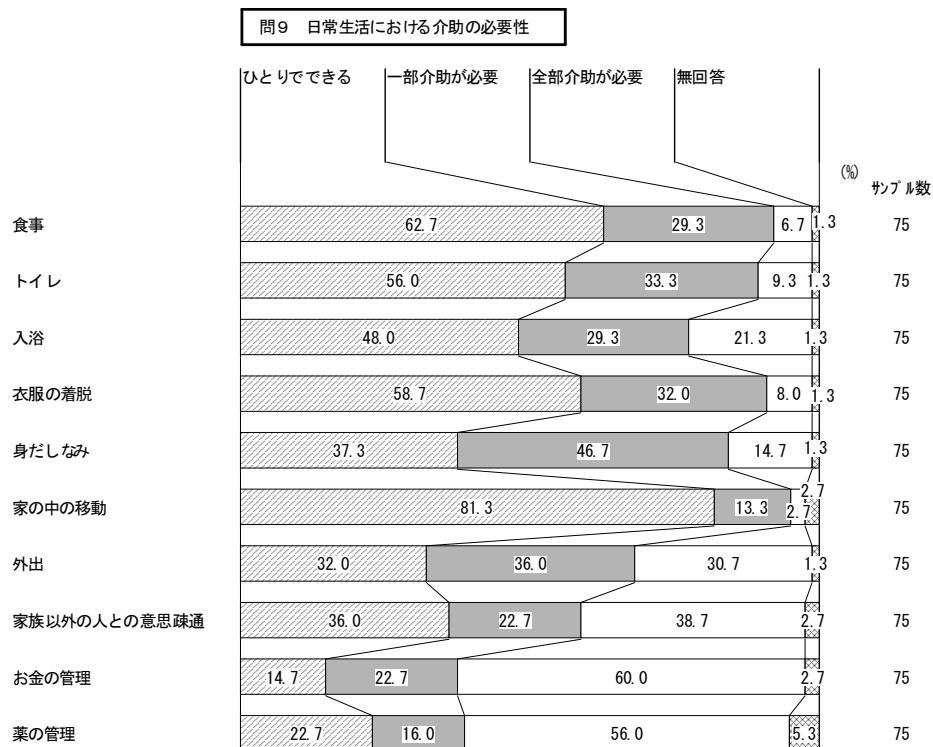
2 介助・援助の状況

(1) 日常生活における介助の必要性

問9 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。
 (○は①から⑩それぞれに1つ)

「全部介助が必要」あるいは「一部介助が必要」な人の割合は、「お金の管理」が 82.7%と最も高く、次いで「薬の管理」(72.0%)、「外出」(66.7%)と続いている。

「家の中の移動」については、81.3%が「ひとりできる」と回答している。



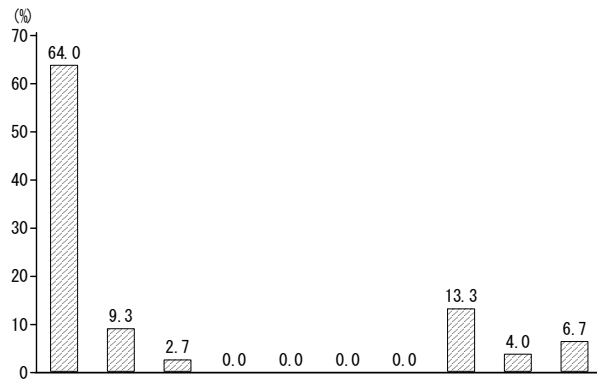
(2) 主な介助・援助者

問10 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介助・援助者は「父・母」が最も多く64.0%、次いで「兄弟姉妹」が9.3%となっている。

問10 主な介助・援助者

□ TOTAL n=75



*年代	n	1	4	7	2	3	5	6	8	9	10
		父、母	兄弟姉妹	ホスピス事業者 ホームヘルパー等の在宅サ	配偶者	子ども、子どもの配偶者	その他の親せき	近所の人、友人・知人	その他	介助・援助している人はいない	無回答
0 TOTAL	75	64.0	9.3	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	4.0	6.7
1 20歳未満	21	95.2	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 20代	17	88.2	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
3 30代	10	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
4 40代	13	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0	15.4
5 50代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 60代	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
7 70代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 無回答	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0

【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

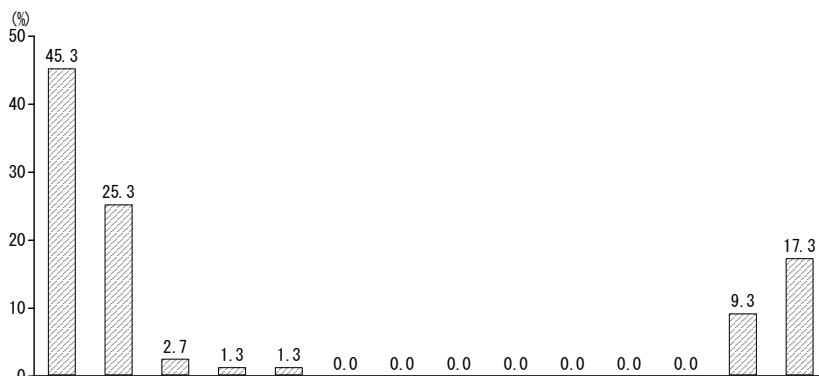
(3) 医療ケアの状況

問11 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(○はいくつでも)

「医療ケアは受けていない」という人が 45.3%である。受けている医療ケアの種類は「服薬管理」が 25.3%と最も高く、次いで「胃ろう・腸ろう」(2.7%)、「吸引」「ストマ(人工肛門・人工膀胱)」(それぞれ 1.3%)となっている。

問 11 医療ケアの状況

TOTAL n=75



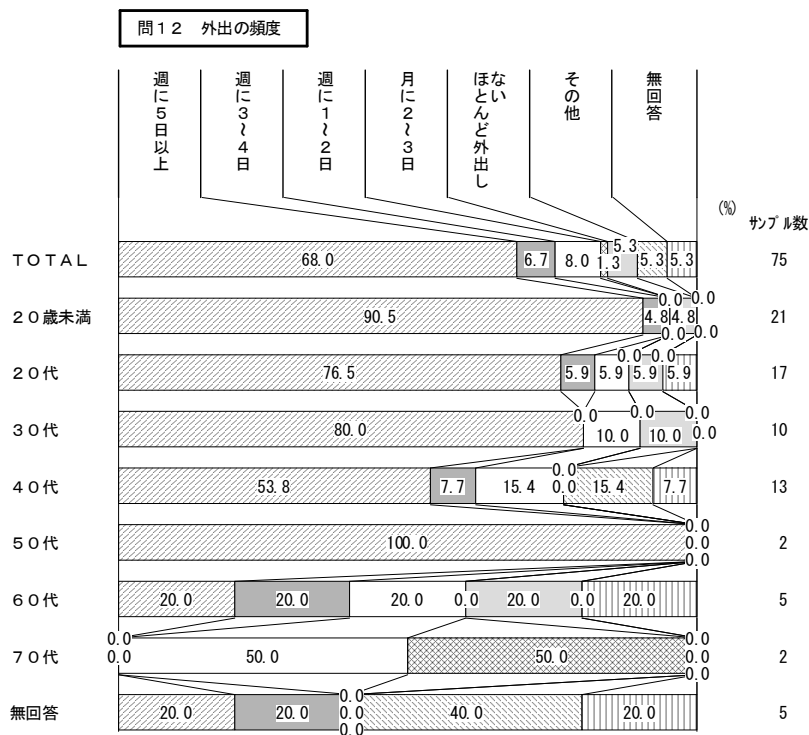
*年代	n	1	12	6	5	11	2	3	4	7	8	9	10	13	14
		医療ケアは受けていない	服薬管理	胃ろう・腸ろう	吸引	ストマ(人工肛門・人工膀胱)	気管切開	人工呼吸器(レスピレーター)	吸入	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養(IVH)	透析	カテーテル留置	その他	無回答
0 TOTAL	75	45.3	25.3	2.7	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	17.3
1 20歳未満	21	47.6	23.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	9.5
2 20代	17	29.4	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	17.6
3 30代	10	70.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
4 40代	13	30.8	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	38.5
5 50代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 60代	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 70代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
9 無回答	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0

3 外出や社会参加の状況

(1) 外出頻度

問12 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。
(○は1つ)

外出の頻度は、「週に5日以上」が68.0%、「週に3～4日」が6.7%で、「ほとんど外出しない」人は5.3%となっている。

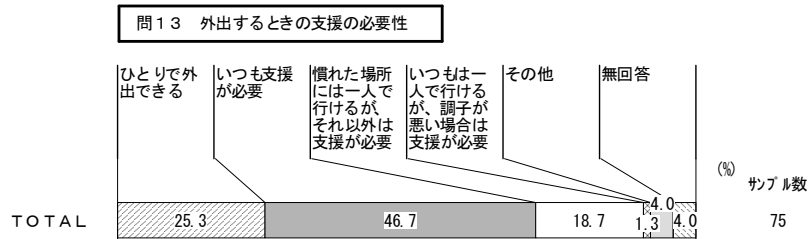


【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

(2) 外出するときの支援の必要性

問13 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

外出の際の支援の必要性については、「いつも支援が必要」と回答した人は 46.7%、「慣れた場所には一人で行けるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人が 18.7%、「いつもは一人で行けるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人が 1.3%で、合わせて 66.7%の人が外出の際に支援を必要としている。

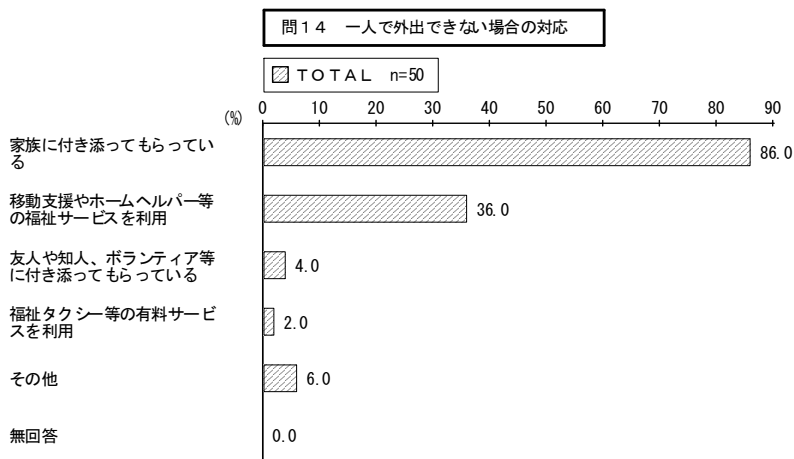


(3) 一人で外出できない場合の対応

問14 一人で外出できない場合、どのように外出していますか。(○はいくつでも)

※問13にて2「いつも支援が必要」、3「慣れた場所には一人でできるが、それ以外は支援が必要」、4「いつもは一人でできるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人のみ

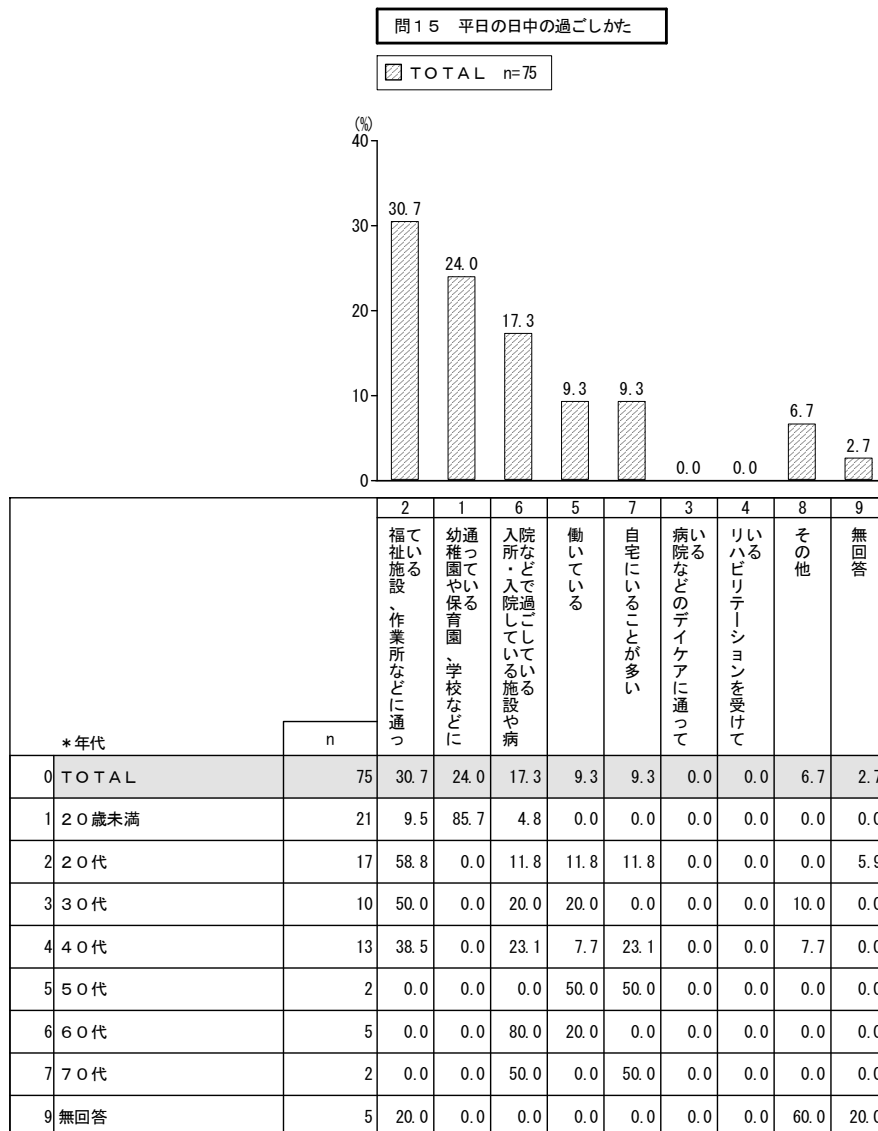
一人で外出できない場合の対応としては、「家族に付き添ってもらっている」が 86.0%と最も多い。次いで「移動支援やホームヘルパー等の福祉サービスを利用している」が 36.0%となっている。



(4) 平日の日中の過ごしかた

問15 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の過ごしかたでは、「福祉施設、作業所などに通っている」が 30.7%と最も多く、次いで「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が 24.0%、「入院・入所している施設や病院などで過ごしている」が 17.3%となっている。

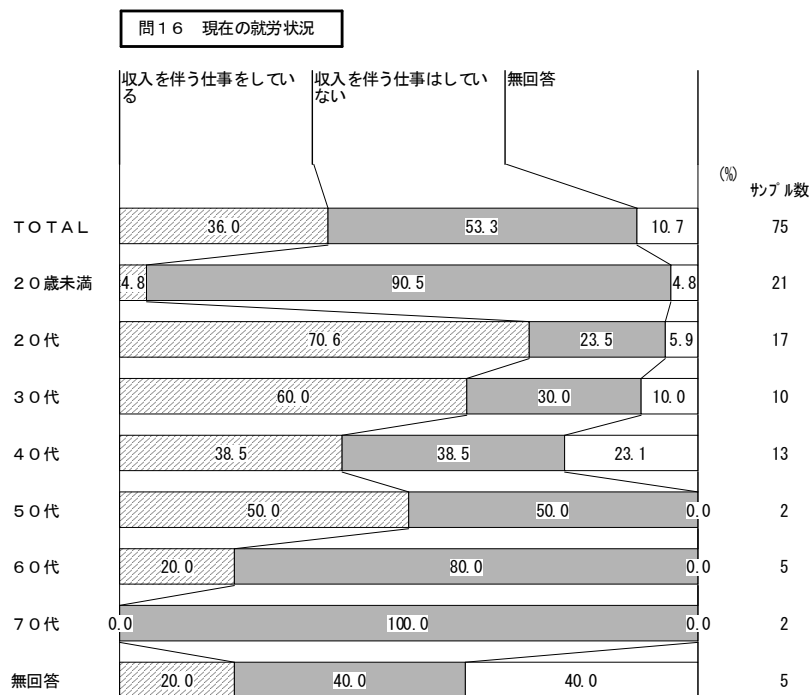


【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

(5) 現在の就労状況

問16 現在、あなたはお金をもらう仕事をしてますか。(○は1つ)

現在、「収入を伴う仕事をしている」と回答した人は36.0%、「収入を伴う仕事はしていない」が53.3%となっている。

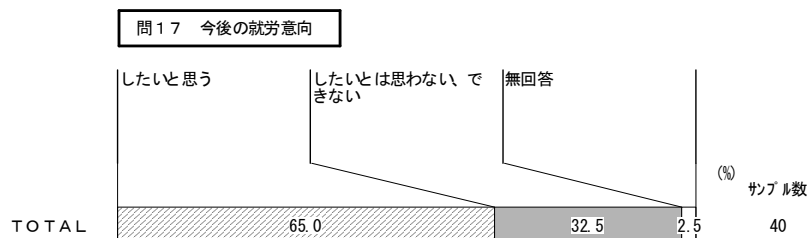


(6) 今後の就労意向

問17 今後、お金をもらう仕事をしたいと思えますか。(○は1つ)

※問16にて2「収入を伴う仕事はしていない」と回答した人のみ

今後、収入を伴う仕事をしたいと思うかについては、「したいと思う」が65.0%、「したいと思わない、できない」が32.5%となっている。

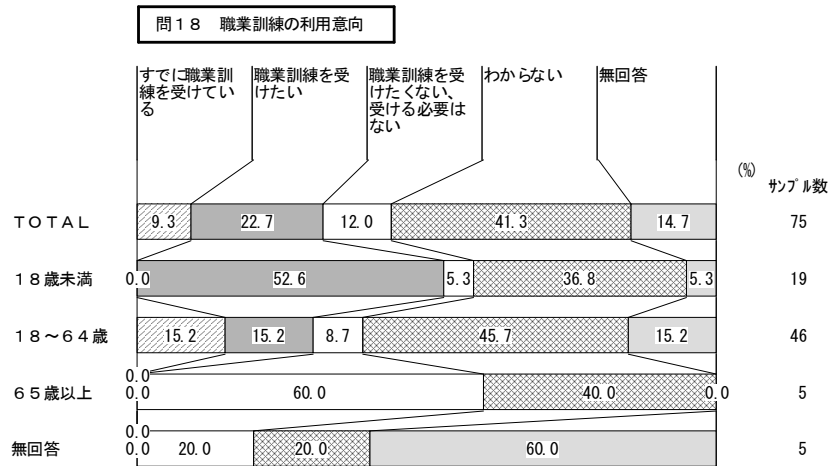


(7) 職業訓練の利用意向

問18 お金をもらう仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つ)

職業訓練の利用意向については、「すでに職業訓練を受けている」が 9.3%、「職業訓練を受けたい」が 22.7%で約 3 割 (32.0%) が職業訓練に意欲的である。「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」は 12.0%、「わからない」は 41.3%となっている。

年齢別でみると、18 歳未満では、19 人中 10 人 (52.6%) が「職業訓練を受けたい」と回答している。

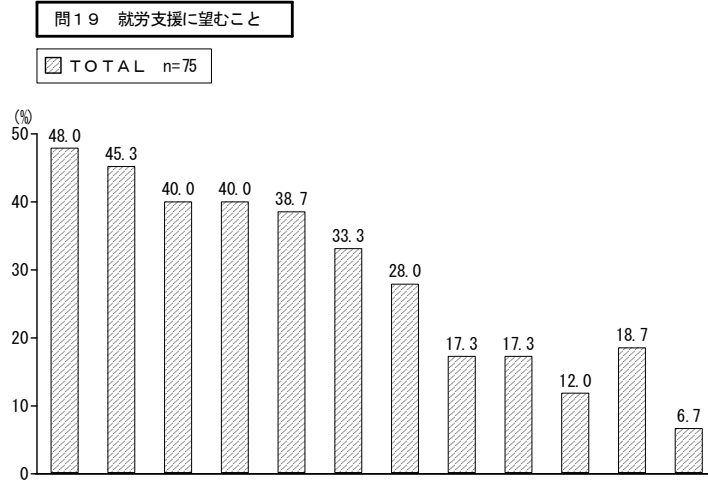


【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

(8) 就労支援に望むこと

問19 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

就労支援に望むこととしては、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が 48.0%で最も多く、次いで「就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携」が 45.3%、「通勤手段の確保」「職場で介助や援助が受けられること」がそれぞれ 40.0%となっている。



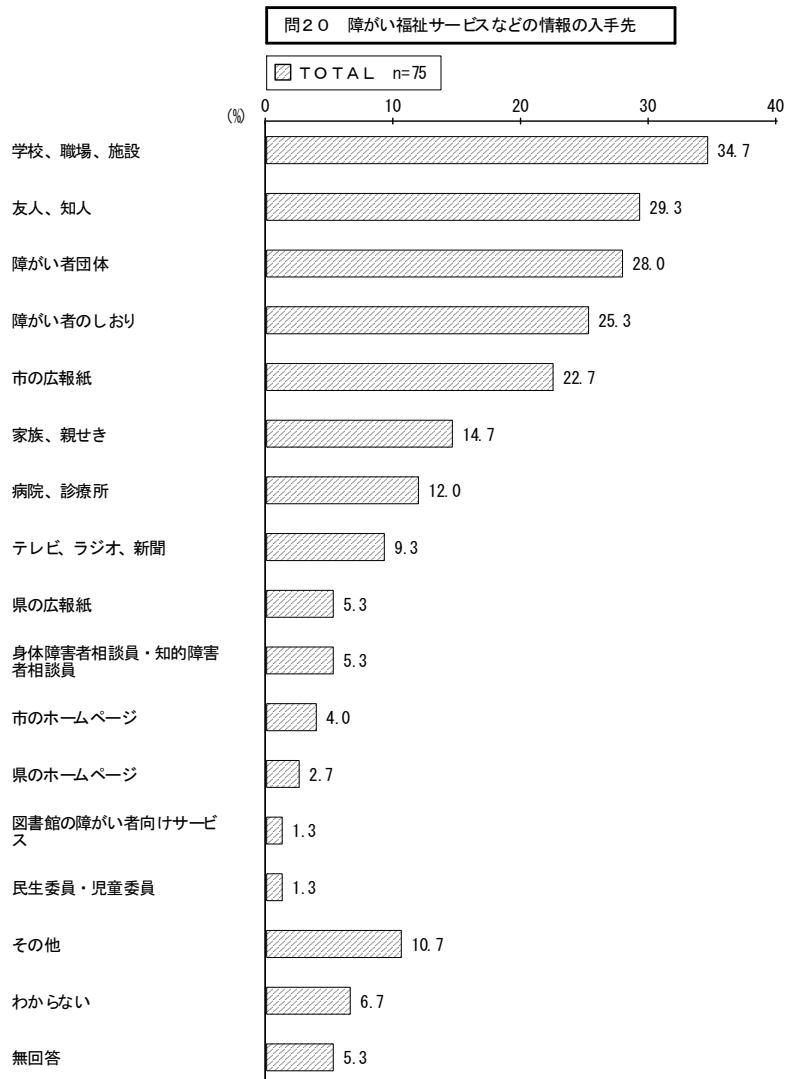
*年代	n	5	7	1	6	9	3	8	2	4	10	11	12
		職場の上司や同僚に障がいの理解があること	就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携	通勤手段の確保	職場で介助や援助などが受けられること	談話対応、支援についての職場外での相談	短時間勤務や勤務日数などの配慮	企業のニーズに合った就労訓練	勤務場所におけるバリアフリー	在宅勤務の拡充	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	75	48.0	45.3	40.0	40.0	38.7	33.3	28.0	17.3	17.3	12.0	18.7	6.7
1 20歳未満	21	66.7	66.7	57.1	61.9	61.9	47.6	52.4	33.3	33.3	9.5	28.6	0.0
2 20代	17	47.1	58.8	35.3	52.9	52.9	29.4	17.6	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0
3 30代	10	60.0	70.0	70.0	50.0	50.0	60.0	30.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0
4 40代	13	30.8	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	38.5	23.1
5 50代	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 60代	5	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
7 70代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
9 無回答	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0

4 相談や情報入手について

(1) 障がい福祉サービスなどの情報の入手先

問20 障がい福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

障がい福祉サービスなどの情報の入手先では「学校、職場、施設」と回答した人が最も多く 34.7%、次いで「友人、知人」が 29.3%、「障がい者団体」が 28.0%、「障がい者のしおり（「北本市保健福祉ガイドブック」など）」が 25.3%となっている。

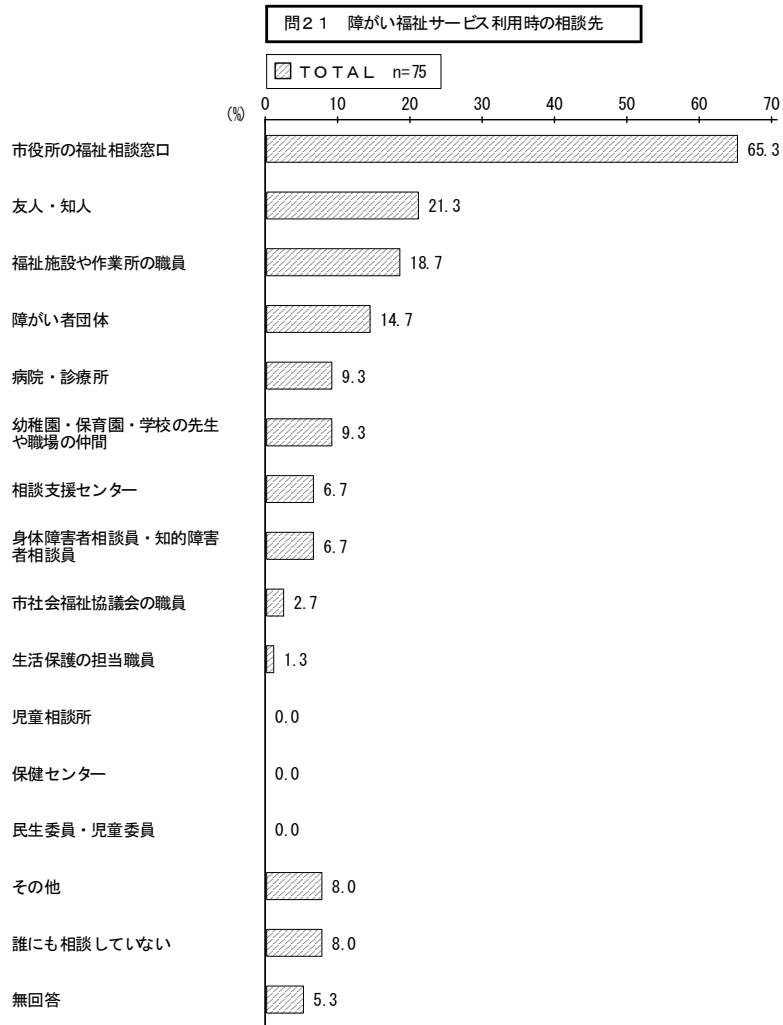


【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

(2) 障がい福祉サービス利用時の相談先

問21 あなたは、障がい福祉サービスを利用するときどなたかに相談しましたか。(○はいくつでも)

障がい福祉サービスを利用する時の相談先では「市役所の福祉相談窓口」と回答した人が 65.3%で最も多く、「友人・知人」が 21.3%、「福祉施設や作業所の職員」が 18.7%となっている。



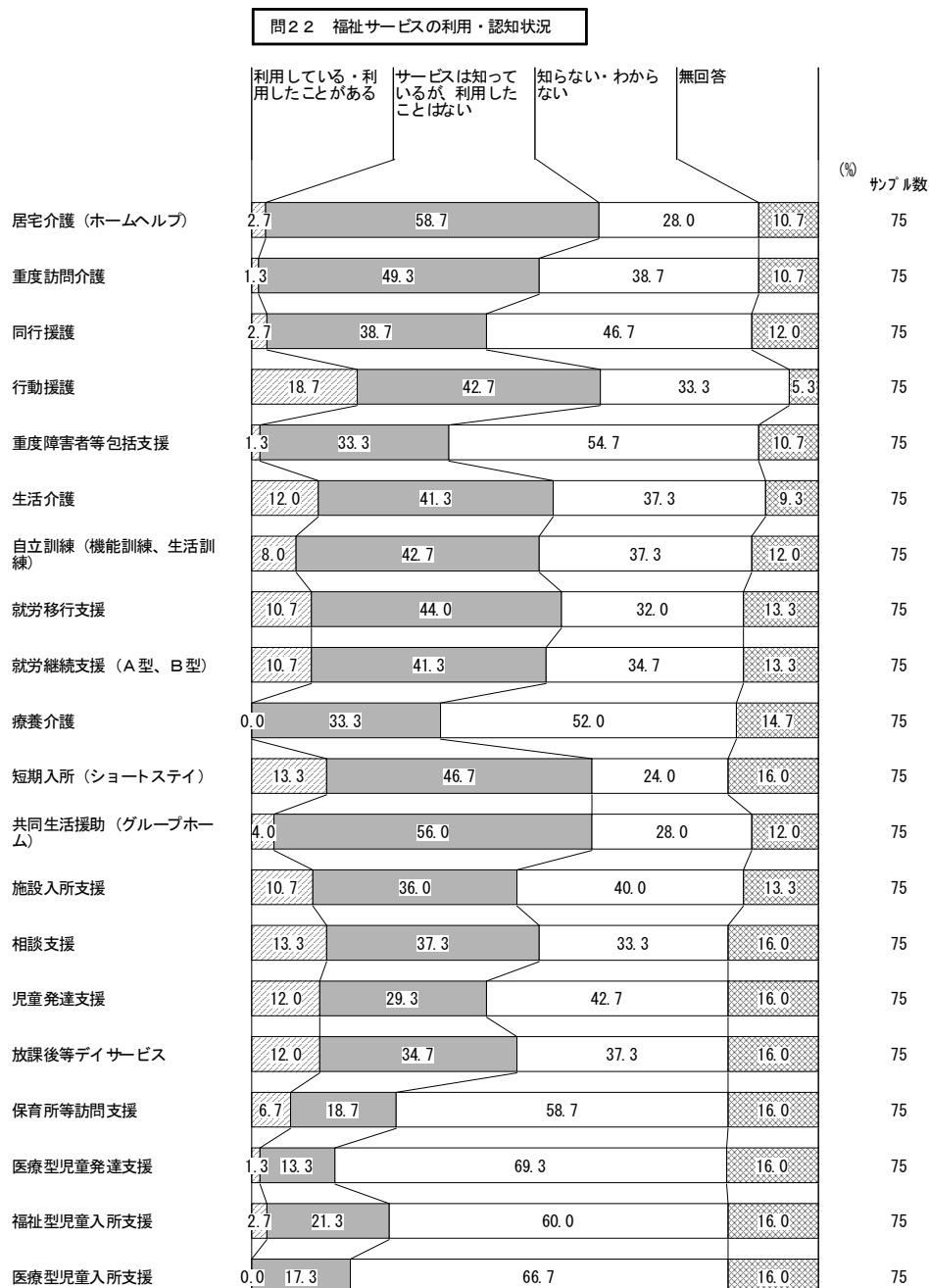
5 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの利用・認知状況

問22 あなたは、次のような障がい福祉サービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。
(①～⑳のサービスごとに1つずつお答えください。)

障がい福祉サービスの中で、「利用している・利用したことがある」サービスでは、「行動援護」が18.7%、「短期入所（ショートステイ）」と「相談支援」がそれぞれ13.3%、「生活介護」「児童発達支援」「放課後等デイサービス」がそれぞれ12.0%となっている。

一方、「知らない・わからない」と回答した人が5割を超えるのは、「医療型児童発達支援」（69.3%）、「医療型児童入所支援」（66.7%）、「福祉型児童入所支援」（60.0%）、「保育所等訪問支援」（58.7%）、「重度障害者等包括支援」（54.7%）、「療養介護」（52.0%）である。



【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

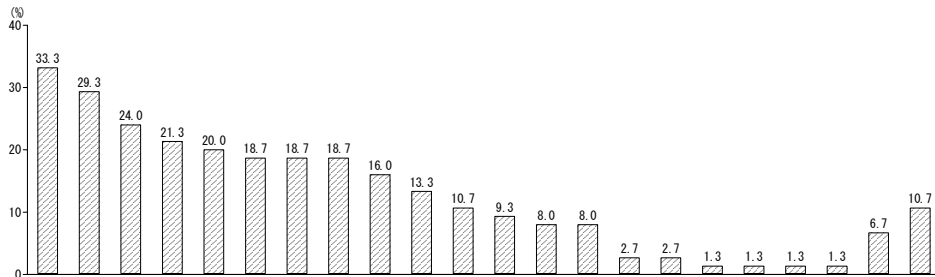
(2) 福祉サービスの利用（継続）意向

問23 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、あらたに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

今後も引き続き利用したい、あるいは、今後新たに利用したいと思うサービスとしては、「行動援護」が33.3%と最も多く、次いで「（短期入所）ショートステイ」（29.3%）、「相談支援」（24.0%）である。また、「行動援護」と「短期入所（ショートステイ）」については、利用意向が利用経験を10ポイント以上、上回っている。

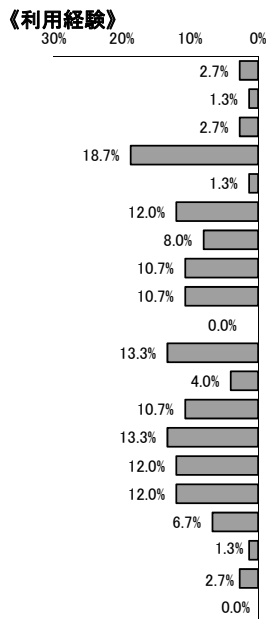
問23 福祉サービスの利用（継続）意向

TOTAL n=75

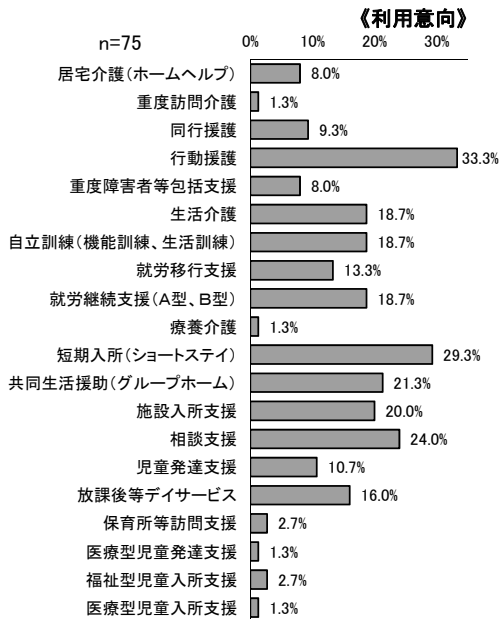


*年齢（3区分）	n	サービス																					
		4	11	14	12	13	6	7	9	16	8	15	3	1	5	17	19	2	10	18	20	21	22
0 TOTAL	75	33.3	29.3	24.0	21.3	20.0	18.7	18.7	18.7	16.0	13.3	10.7	9.3	8.0	8.0	2.7	2.7	1.3	1.3	1.3	1.3	6.7	10.7
1 18歳未満	19	57.9	36.8	31.6	21.1	10.5	5.3	31.6	31.6	63.2	21.1	42.1	5.3	10.5	0.0	10.5	10.5	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	5.3
2 18～64歳	46	30.4	32.6	23.9	21.7	19.6	28.3	15.2	17.4	0.0	13.0	0.0	10.9	8.7	8.7	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	6.5	6.5
3 65歳以上	5	0.0	0.0	20.0	20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
4 無回答	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0

利用している・利用したことがあるサービス（複数回答）



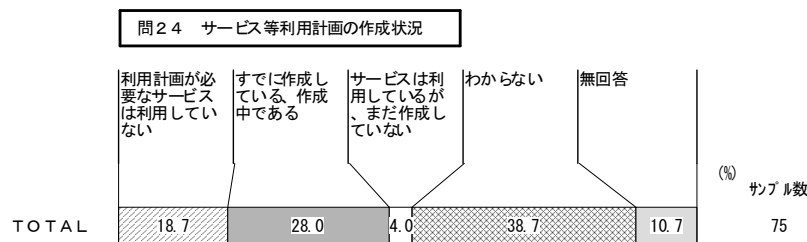
今後利用したいサービス（複数回答）



(3) サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成状況

問24 法律の改正により、障がい福祉サービス・障がい児通所支援の利用にあわせてサービス等利用計画の作成が必要になりました。すでにサービスを利用している方も、平成27年3月までに計画を作成していただくことになります。この計画は、市が指定する特定相談支援事業者が作成し、利用者の負担はありません。
あなたは、「サービス等利用計画(障害児支援利用計画)」を作成していますか。(○は1つ)

サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成状況については、「利用計画が必要なサービスは利用していない」と回答した人は 18.7%である。「すでに作成している、あるいは作成中である」は 28.0%、「サービスは利用しているが、まだ作成していない」人は 4.0%である。なお、「わからない」と回答した人は 38.7%である。



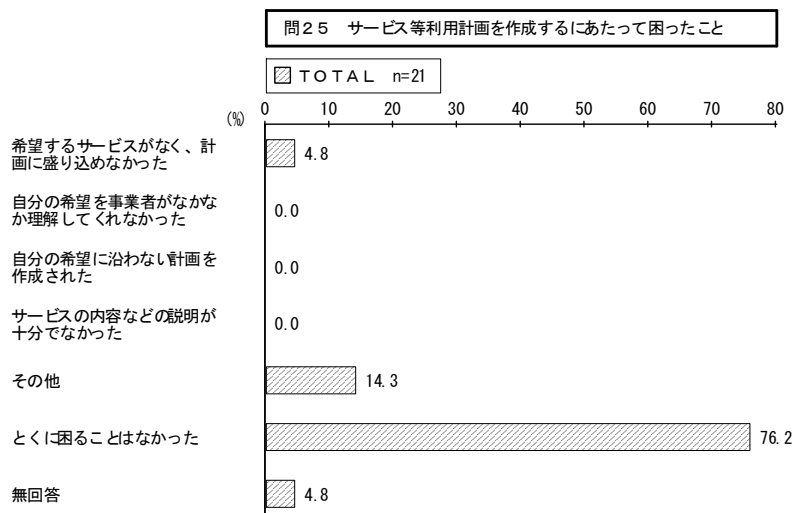
(4) サービス等利用計画(障害児支援利用計画)を作成するにあたって困ったこと

問25 計画を作成するにあたって、何か困ったことはありましたか。(○はいくつでも)

※問 24 にて 2「すでに作成している、あるいは作成中である」と回答した人のみ

サービス等利用計画(障害児支援利用計画)を作成するにあたって、21人中16人(76.2%)の人が「特に困ることはなかった」と回答している。

困ったことでは、「希望するサービスがなく、計画に盛り込めなかった」が1人(4.8%)、「その他」が3人(14.3%)となっている。その他の内容としては「事業者が市内になく、作成に時間がとりにくい」等である。



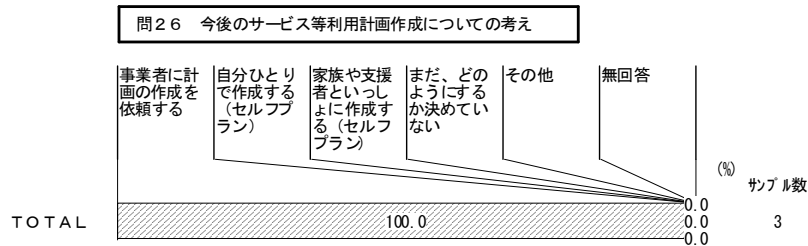
【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

(5) 今後のサービス等利用計画作成についての考え

問26 今後の計画の作成について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

※問 24 にて3「サービスは利用しているが、まだ作成していない」と回答した人のみ

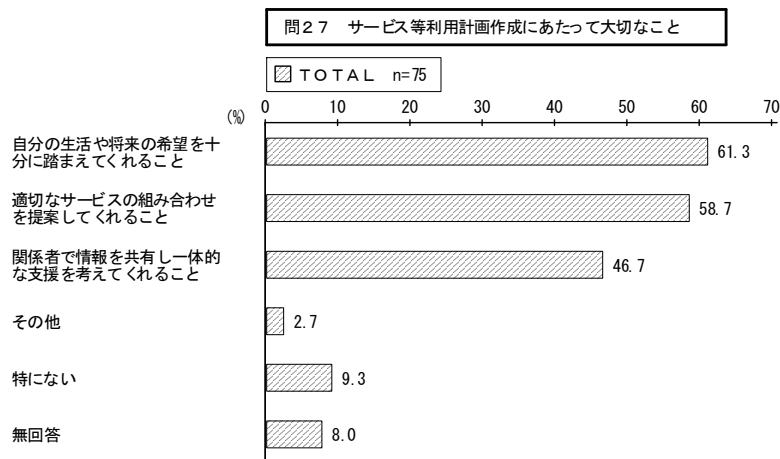
今後のサービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成については、3名全員が「事業者に計画の作成を依頼する」と回答している。



(6) サービス等利用計画作成にあたって大切なこと

問27 サービス等利用計画の作成にあたっては、どのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

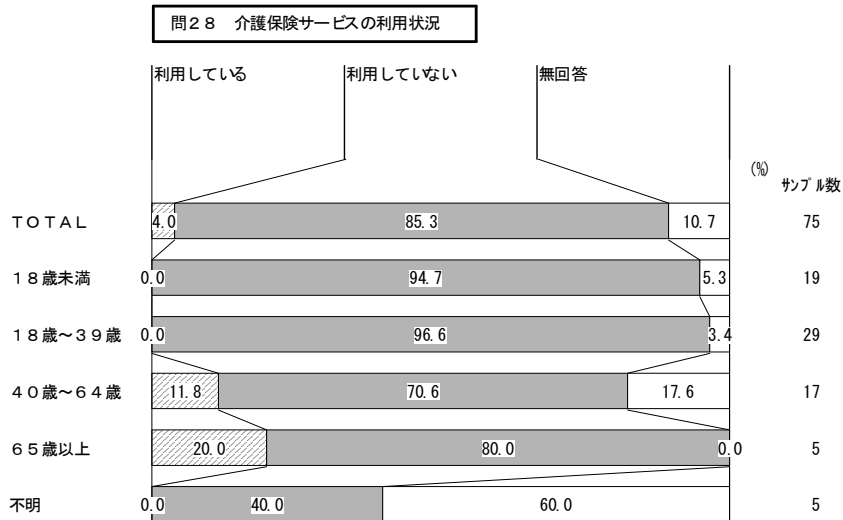
サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成にあたって大切だと思うことについては、「自分の生活や将来の希望を十分に踏まえてくれること」と回答した人が 61.3%と最も多く、次いで「適切なサービスの組み合わせを提案してくれること」が 58.7%となっている。



(7) 介護保険サービスの利用状況

問28 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

40歳～64歳では17人中2人(11.8%)、65歳以上では5人中1人(20.0%)が介護保険サービスを利用している。

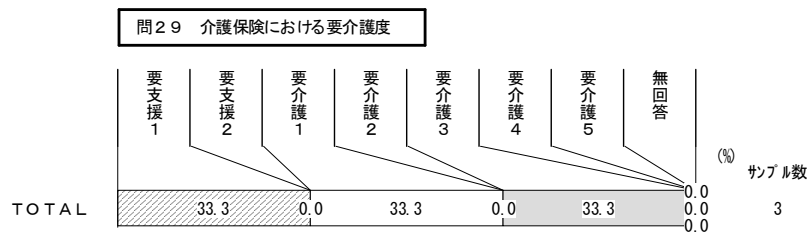


(8) 介護保険における要介護度

問29 該当する要介護度はどれですか。(○は1つ)

※問28にて1「利用している」と回答した人のみ

介護保険における要介護度については、「要支援1」「要介護1」「要介護3」がそれぞれ1名ずつとなっている(回答者3名のみ)。



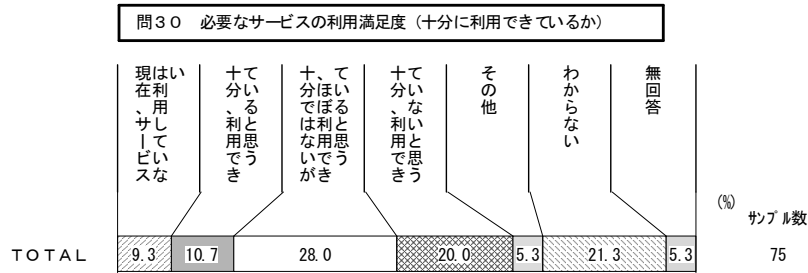
【Ⅱ 調査結果 知的障がい者】

(9) 必要なサービスの利用満足度

問30 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

必要だと思うサービスを利用できているかについては、「十分、利用できていると思う」が 10.7%、「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が 28.0%で、肯定的な評価が約 3 割となっている。一方、「十分、利用できていないと思う」が 20.0%となっている。

なお、「現在、サービスは利用していない」と回答した人は 9.3%である。

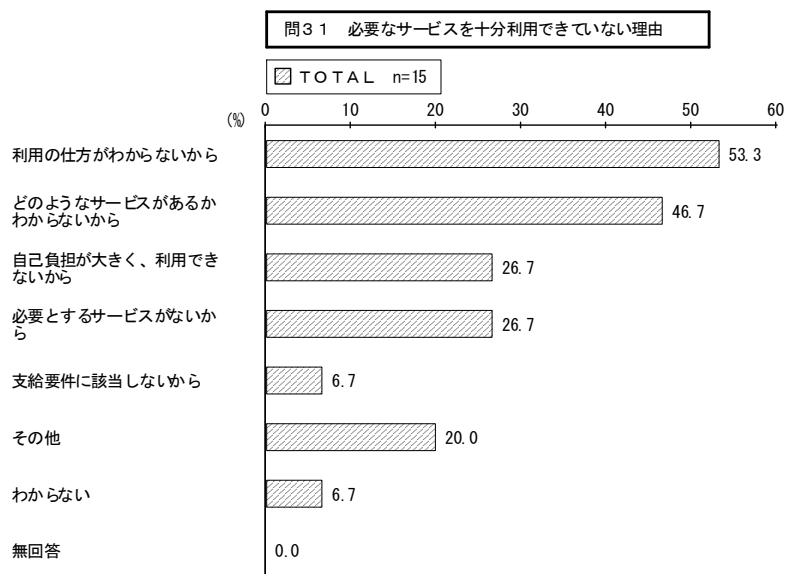


(10) 必要なサービスを十分利用できていない理由

問31 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※問 30 にて 4「十分、利用できていないと思う」と回答した人のみ

必要だと思うサービスを利用できていない理由については、「利用の仕方がわからないから」が 15 人中 8 人 (53.3%) と最も多く、次いで「どのようなサービスがあるかわからないから」が 7 人 (46.7%)、「自己負担が大きく、利用できないから」「必要とするサービスがないから」がそれぞれ 4 人 (26.7%) となっている。



(11) 必要だと思うサービスの内容（自由回答）

問32 必要とするのはどのようなサービスですか。（自由記入）

※問 30 にて 3「必要とするサービスがないから」と回答した人のみ

次のような回答があがっている。

- ・ 子どもが卒業する時には、あすなろやふれあいの家が定員達にしていて、新しい福祉サービス事業所が必要となります。他の市に有るようなグループ施設もなく、他の市の施設に行く力もなく大変心配しています。床屋にしても長い時間待っている事もむずかしく、本人の生活も大変で、家族の負担も大きくなってきています。祖父母も体調を崩すと明るい未来が見えてきません。市内に子供の福祉施設作業所など造って下さい。
- ・ 今後はグループホームで生活したいと思っていますが、近くにどの様なグループホームがあるのかわかりません。見学会など、障害者支援センターが開催してくれるとありがたいのですが…。
- ・ 学校の送迎の時間にあわせて、送迎を自己負担がなくてできるサービス。

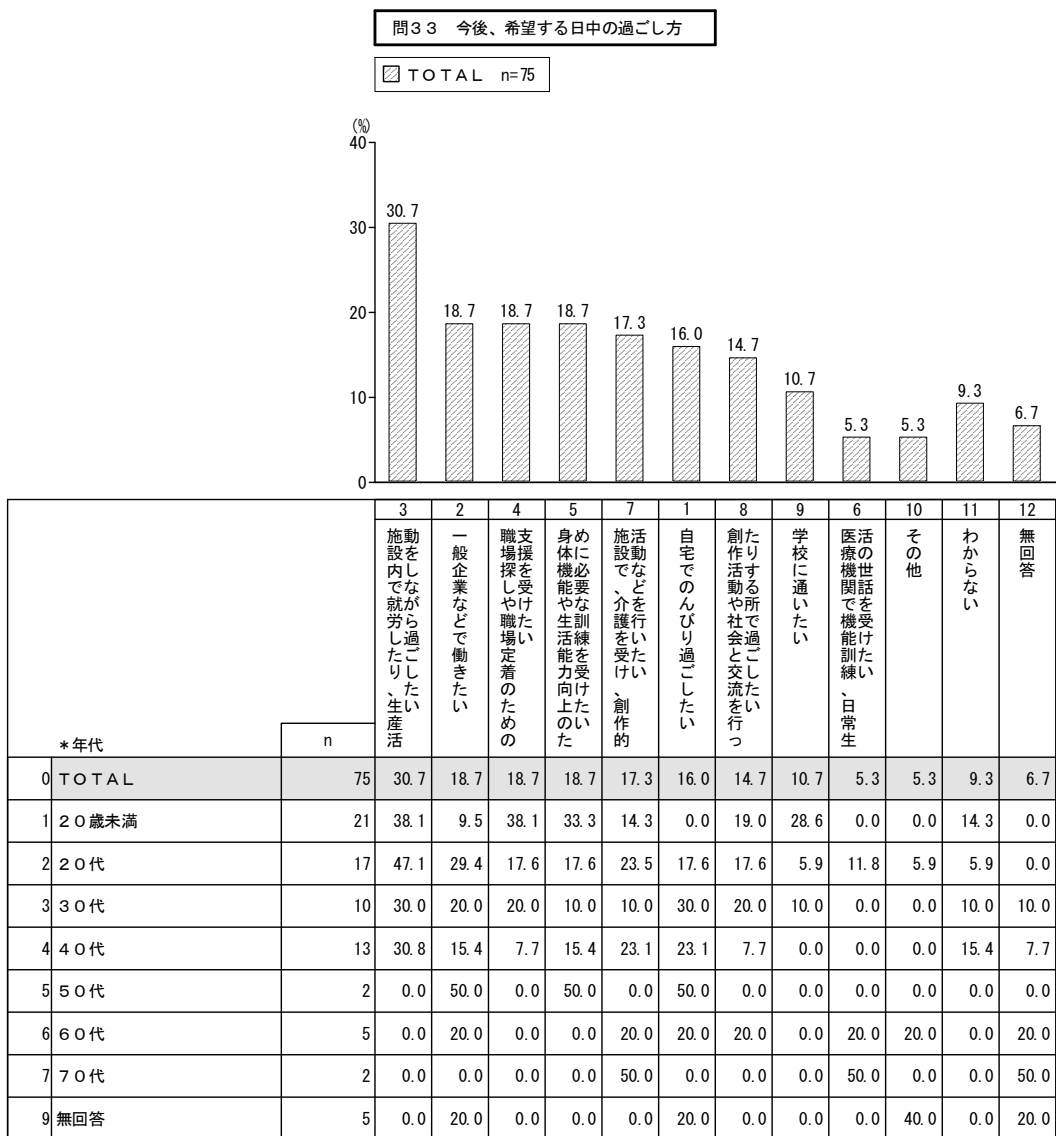
6 将来の希望等について

(1) 今後、希望する日中の過ごし方

問33 今後、どのように日中を過ごしたいとおもいますか。(○はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方については、「施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」と回答した人が 30.7%と最も多く、次いで「一般企業などで働きたい」「職場探しや職場定着のための支援を受けたい」「身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい」がそれぞれ 18.7%となっている。

年代別で見ると、20 歳未満では「施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」「職場探しや職場定着のための支援を受けたい」と回答した人が、それぞれ 21 人中 8 人（38.1%）となっている。

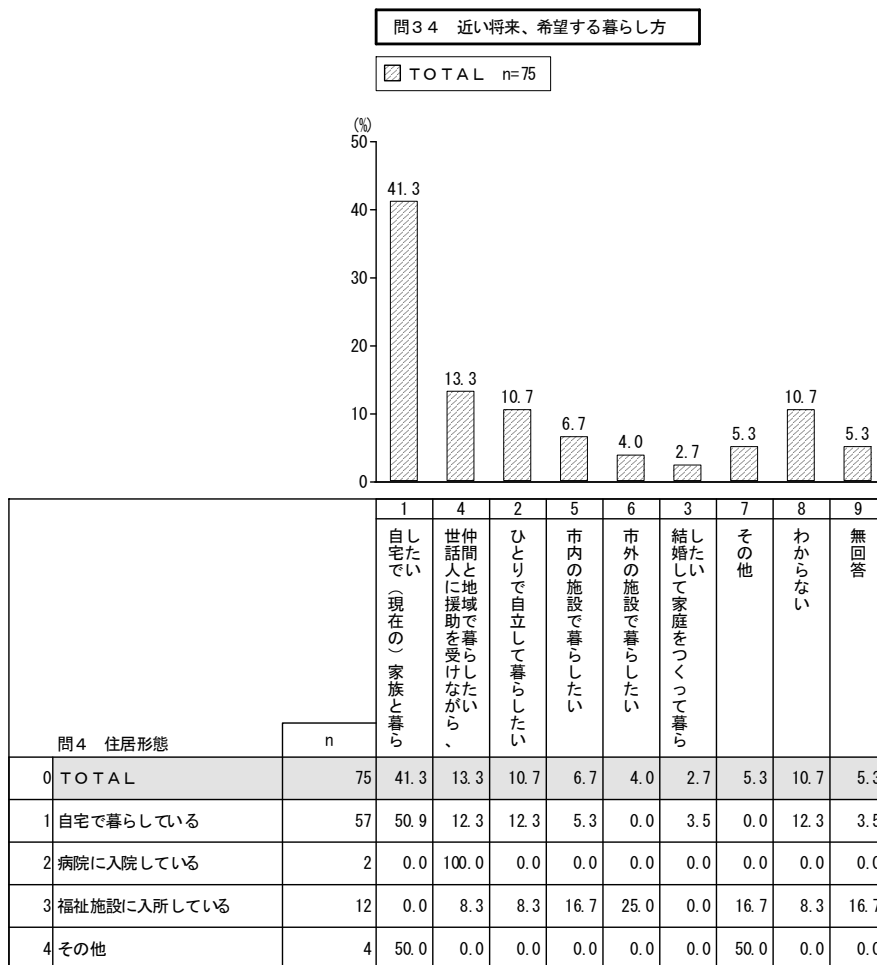


(2) 近い将来、希望する暮らし方

問34 あなたは、近い将来（おおむね5～10年後）どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

近い将来、希望する暮らし方については、「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」と回答した人が41.3%と最も多く、次いで「世話人に援助を受けながら、仲間と地域で暮らしたい」が13.3%、「ひとりで自立して暮らしたい」が10.7%となっている。また、約1割（10.7%）が「わからない」と回答している。

現在の居住場所別にみると、自宅で暮らしている人のうち半数（50.9%）は「自宅」を希望しているが、「ひとりで自立して暮らしたい」「世話人に援助を受け、仲間と地域で暮らしたい」を希望する人がともに12.3%となっている。また、施設に入所している12人では、「市内の施設で暮らしたい」が2人（16.7%）、「市外の施設で暮らしたい」が3人（25.0%）となっている



7 意見・要望等（自由回答）

（1）意見・要望等（自由回答）

問35 最後に、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。（自由記入）

【福祉サービスについて】

- ・ 福祉サービスの向上を願っております。
- ・ 最終的には就労を望んでいますが、小学校卒業から高校卒業までの期間内の「ことばの教室」のような場所、サービスが受けられるようになることを願います。人との言葉のやり取りや言葉遣いなど、現状は小学校卒業（6年）までなので、もっと期間をのばして頂くか、違う場所でも同じ内容のサービスが受けたい。
- ・ 大人の発達障がいについて専門的な知識を持ったスタッフがいる事業所がないため、我々発達障がい者の居場所がない。
- ・ 市で、デイサービスや行動援護などを障がい児のためにやってくださっていますが、市内小学校の支援級の先生方の認知度・理解度がまるでありません。将来的に自立した生活を送らせたいという夢や目標は持たせてもらいたいのに、「できるわけない。どう対処したらよいかわからない（子に対して先生の対応）」と言われる。この温度差がうまらぬのではどんなに良い政策を作り出しても行き届かないのでは、と感じる。先生（支援級）の学習会を開催していただきたいです（サポート手帳もいやいや作成しているような感じがします）。「支援級（支援学校）の子供が利用できるサービスはこのようなものがあります。使うとこのようなメリットがあります。学校ではこのようなことに気をつけて下さい」など。
- ・ 北本市に障害者就労支援センターが数年前からできた様ですが、私達障害者には情報が入って来なくて、実態はどうなっているのでしょうか…。
- ・ 保育所や学校の送迎時刻にあわせた生活で制限があり、とてもつらいです。親の負担を考えたサービスを提案・提供していただけたらと思います。
- ・ 現在、親の手助けがあり日常生活は送れているが親亡き後、グループホームなどの小規模施設で暮らし、家族的な雰囲気のある所で日中は作業所といった生活が送れたらと思います。
- ・ 体の成長と共におむつのサイズが大きくなり価格が上昇します。現在、非課税世帯のみに行っているおむつ代の補助を、所得に関係なく補助してもらいたい。おむつ代だけで年間 20 万円程度かかるが知的障がいをもつ場合、おむつは日常生活において必要なものなので、市独自の支援でもよいので検討してもらいたい
- ・ 利用できるサービスについて、詳しく教えてほしい。市役所の障がい者福祉課のブースをもっと多く作ってほしい。そして、他の人に話が聞こえないようもう少し工夫してほしい。もっと自己負担を少なくしてほしい。
- ・ サービスを利用したいが、詳しい内容がわからず、誰に相談していいのかも何もかもよくわからないので利用できない。
- ・ 近隣の他市は、バス利用の料金の障害者割引が有って（北本市は、元々の料金が高いので）市内は、他市のように 100 円で、乗れるようにしてほしい。
- ・ 全部の小・中学校に特別支援学級を作してほしい。

【施設について】

- ・ 親が、いつまでも一緒に居られる訳がなく、親亡き後のことが、心配です。できるだけ、今の生活パターンを変えることなく、自分らしく暮らしていきたい。北本市では、グループホーム整備をどのように考えているのでしょうか。
- ・ 北本市内に障害者を受け入れてくれる事業所、あすなろ学園、ふれあいの家がありますが、数年以内に定員に達する見込みです。新たな活動の場として事業所を作してほしい。

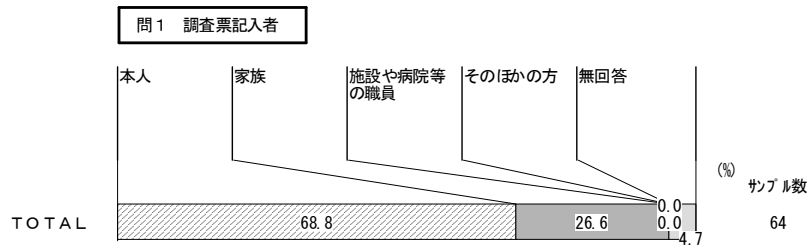
- ・ 市内には重度障害者の入所施設がなく、県内の施設も順番待ちの状態です。親亡き後の事を考えると不安になります。
- ・ グループホーム・入所施設を作ってほしいと思っています。

1 基本的な属性

(1) 調査票記入者

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

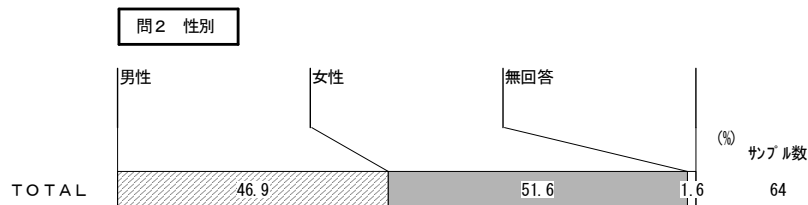
「本人が記入」が68.8%、「家族」が26.6%である。



(2) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

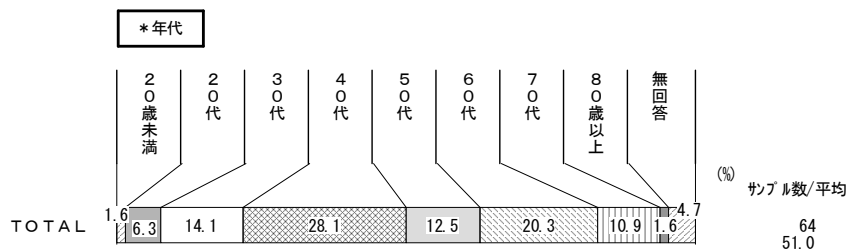
男性が46.9%、女性が51.6%である。



(3) 年齢

問3 年齢（10月1日現在）を記入してください。

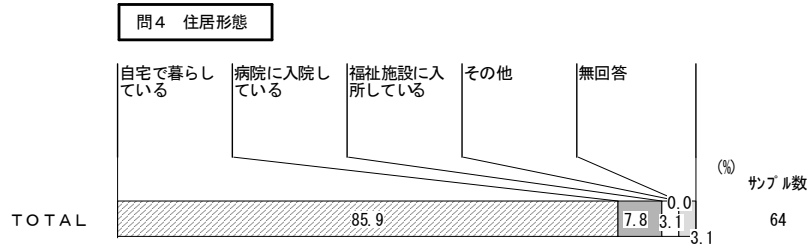
40代が28.1%と最も多く、次いで60代が20.3%である。平均年齢は51.0歳である。



(4) 居住場所

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

85.9%が「自宅」で暮らしている。「病院に入院している」は7.8%、「福祉施設に入所している」は3.1%である。

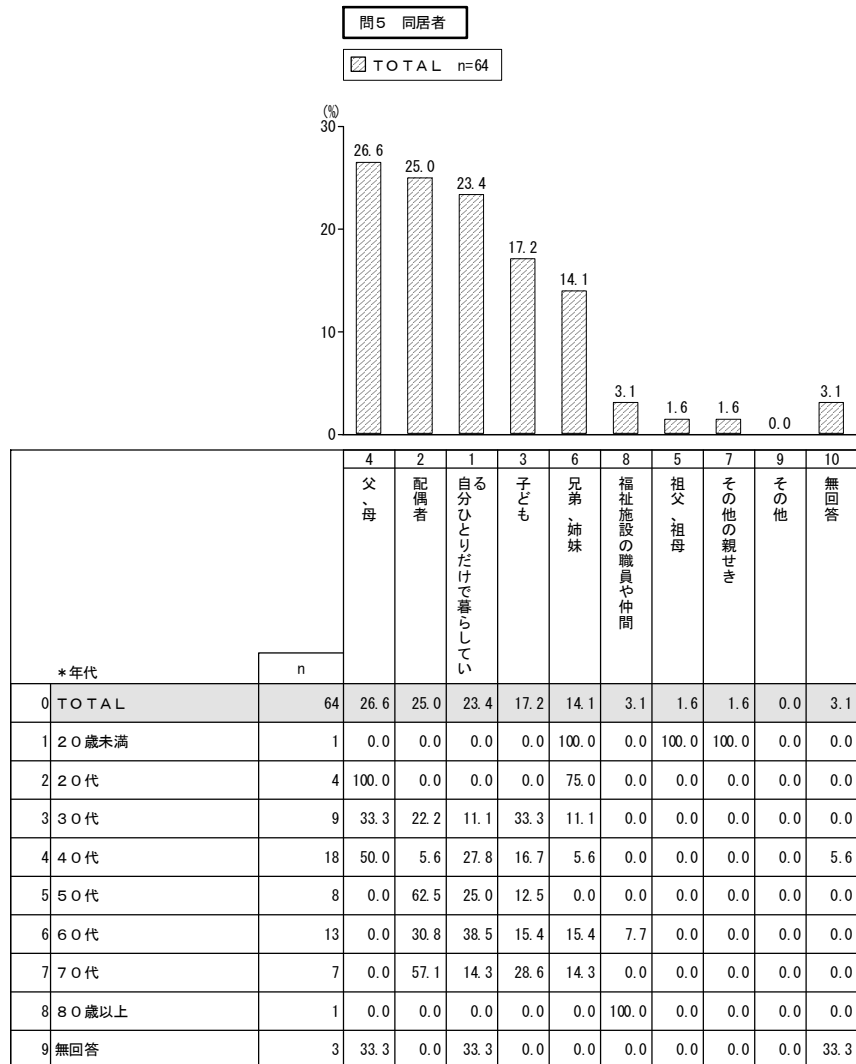


(5) 同居者

問5 どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

同居者については「父、母」が26.6%と最も多く、次いで「配偶者」が25.0%、「自分一人だけで暮らしている」が23.4%である。

年代別にみると、60代では13名中5人(38.5%)の人がひとり暮らしである。

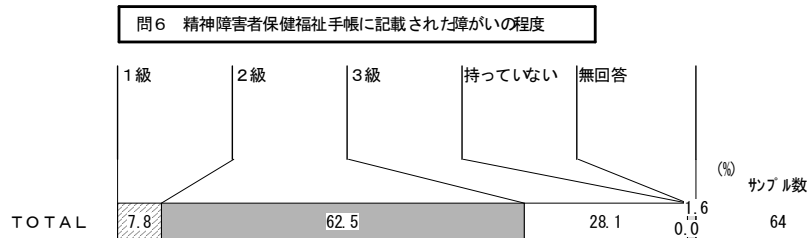


【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(6) 障がいの程度

問6 精神障害者保健福祉手帳に記載された障がいの程度をお答えください。(○は1つ)

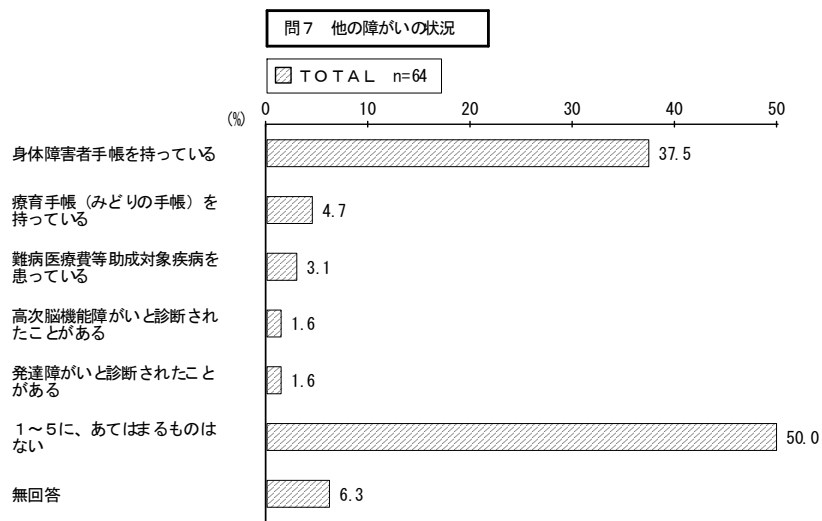
精神障害者保健福祉手帳に記載されている障害の程度は、「2級」が62.5%と最も多い。



(7) 他の障がいの状況

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

他の障がいの状況については、「身体障害者手帳を持っている」が37.5%となっている。

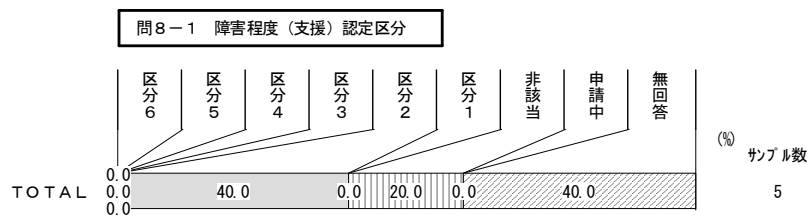
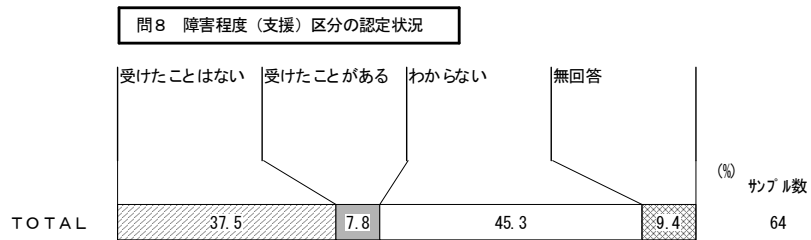


(8) 障害程度（支援）区分

問8 あなたは、「障害程度(支援)区分」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。
 (○は1つ)

障害程度（支援）区分の認定を「受けたことがある」人は 7.8%で 1割未満である。「受けたことはない」が 37.5%、「わからない」が 45.3%となっている。

認定区分は「区分2」が5人中2人、「非該当」が5人中1人、「無回答」が5人中2人となっている。

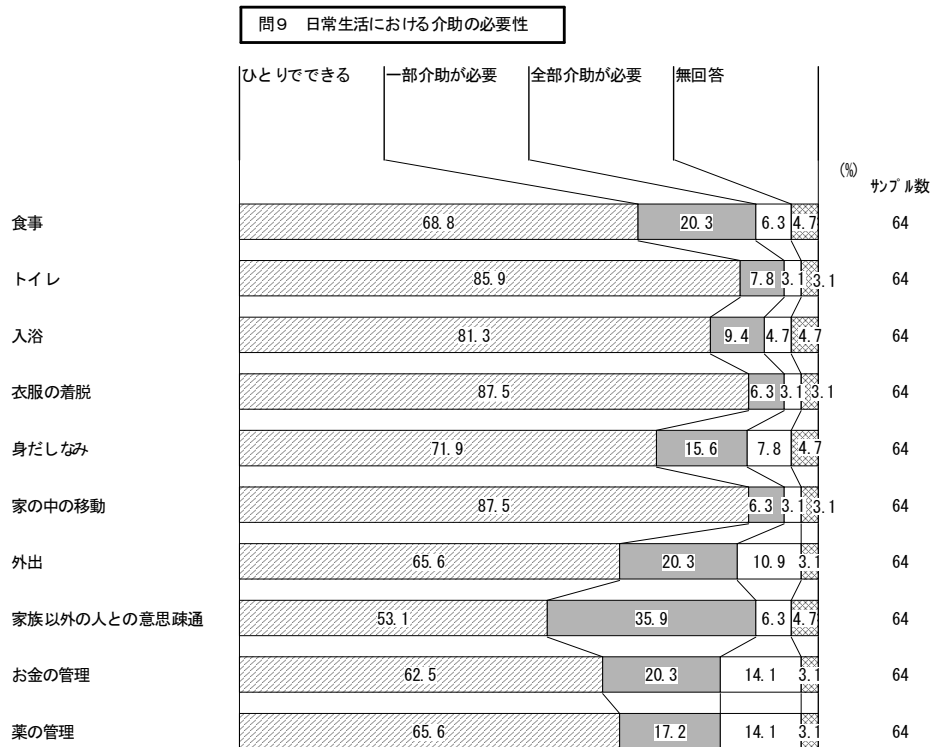


2 介助・援助の状況

(1) 日常生活における介助の必要性

問9 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。
 (○は①から⑩それぞれに1つ)

「全部介助が必要」あるいは「一部介助が必要」な人の割合は、「家族以外の人との意思疎通」が42.2%と最も高く、次いで「お金の管理」(34.4%)、「薬の管理」(31.3%)、「外出」(31.2%)と続いている。



(2) 主な介助・援助者

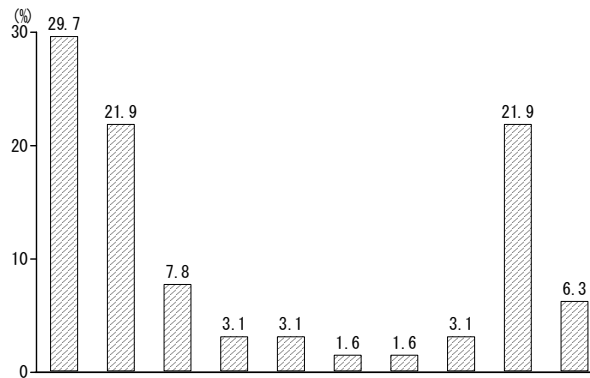
問 10 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介助・援助者は「父、母」が最も多く 29.7%、次いで「配偶者」が 21.9%となっている。

年代別で見ると、20代、30代、40代では「父、母」が最も多く、50代、60代、70代では「配偶者」が最も多い。

問10 主な介助・援助者

■ TOTAL n=64



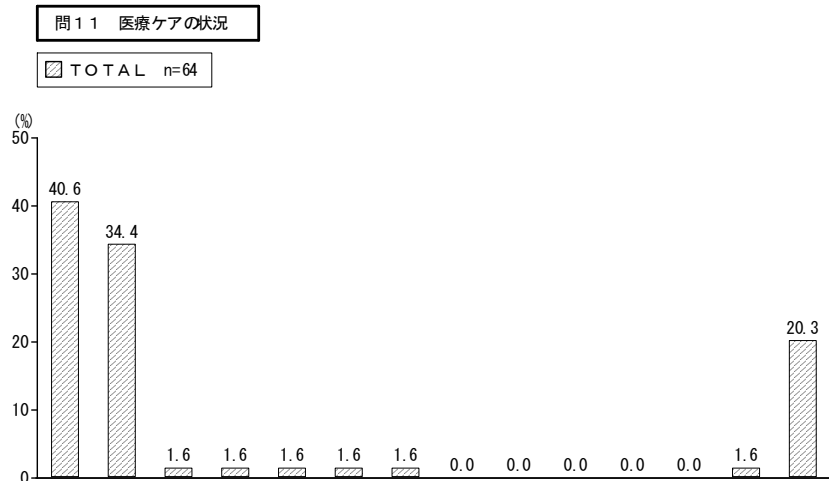
*年代	n	1	2	4	5	7	3	6	8	9	10
		父、母	配偶者	兄弟姉妹	その他の親せき	ホリス事業者 ホームヘルパー等の在宅サ-	子ども、子どもの配偶者	近所の人、友人・知人	その他	介助・援助している人はいない	無回答
0 TOTAL	64	29.7	21.9	7.8	3.1	3.1	1.6	1.6	3.1	21.9	6.3
1 20歳未満	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 20代	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
3 30代	9	55.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
4 40代	18	55.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	22.2	11.1
5 50代	8	12.5	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
6 60代	13	0.0	30.8	23.1	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0
7 70代	7	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
8 80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
9 無回答	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(3) 医療ケアの状況

問 11 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(〇はいくつでも)

「医療ケアは受けていない」という人が最も多く、40.6%である。受けている医療ケアの種類は「服薬管理」が34.4%と最も多い。



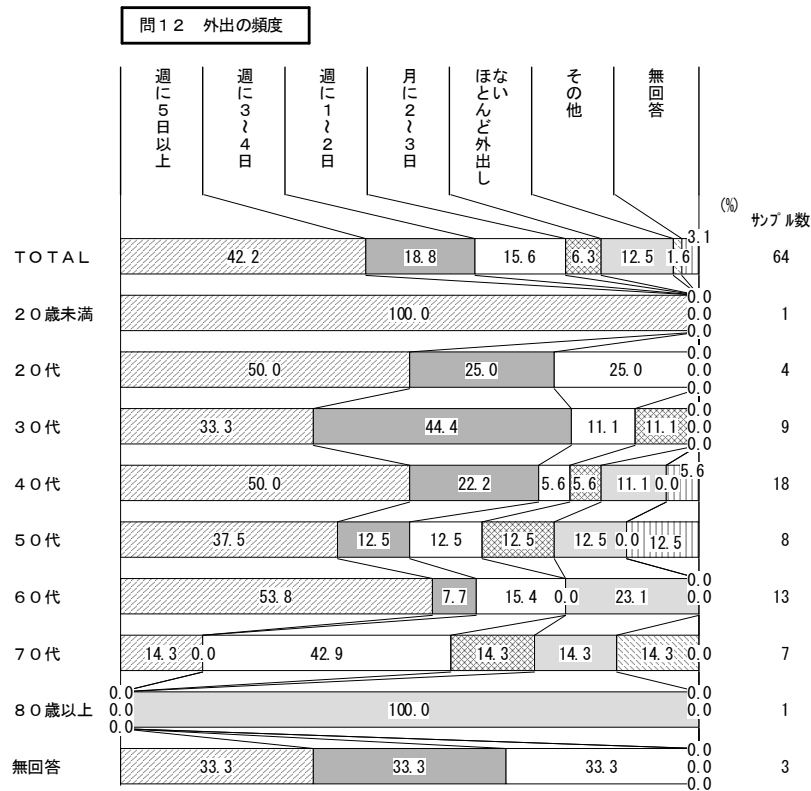
*年代	n	1	12	2	4	5	6	10	3	7	8	9	11	13	14
		医療ケアは受けていない	服薬管理	気管切開	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	カテーテル留置	人工呼吸器 (レスピレーター)	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養 (IVH)	透析	ストマ (人工肛門・人工膀胱)	その他	無回答
0 TOTAL	64	40.6	34.4	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	20.3
1 20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 20代	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 30代	9	44.4	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
4 40代	18	55.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
5 50代	8	12.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
6 60代	13	30.8	30.8	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8
7 70代	7	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
8 80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
9 無回答	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 外出や社会参加の状況

(1) 外出頻度

問 12 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。
(○は1つ)

外出の頻度は、「週に5日以上」が42.2%、「週に3～4日」が18.8%、「週に1～2日」が15.6%で、「ほとんど外出しない」人は12.5%となっている。

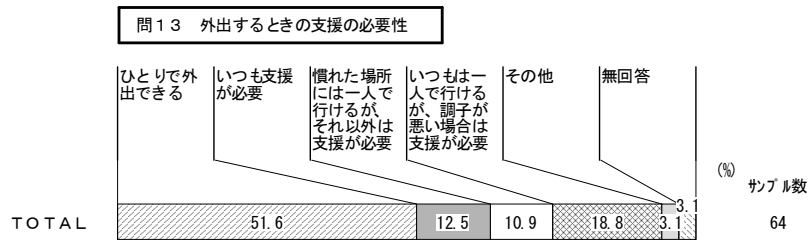


【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(2) 外出するときの支援の必要性

問 13 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

外出の際の支援の必要性については、「いつも支援が必要」と回答した人は 12.5%、「慣れた場所には一人でいけるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人が 10.9%、「いつもは一人でいけるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人が 18.8%で、合わせて約 4 割 (42.2%) の人が外出の際に支援を必要としている。

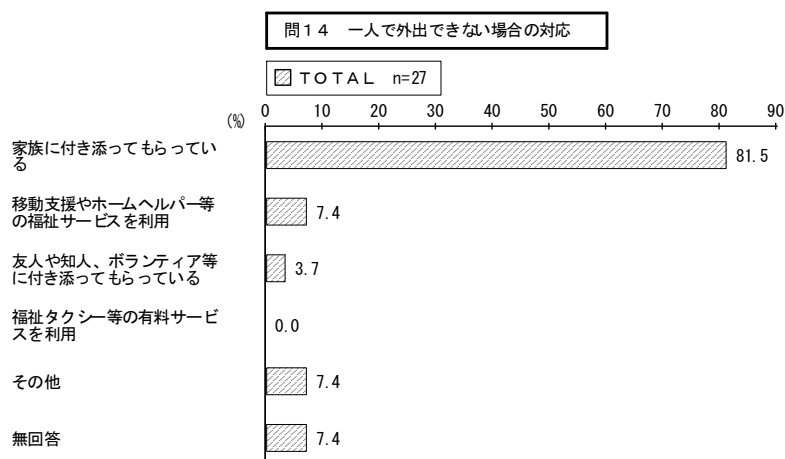


(3) 一人で外出できない場合の対応

問 14 一人で外出できない場合、どのように外出していますか。(○はいくつでも)

※問 13 にて 2「いつも支援が必要」、3「慣れた場所には一人でいけるが、それ以外は支援が必要」、4「いつもは一人でいけるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した人のみ

一人で外出できない場合の対応としては、「家族に付き添ってもらっている」が 81.5%と最も多い。次いで「移動支援やホームヘルパー等の福祉サービスを利用している」が 7.4%となっている。

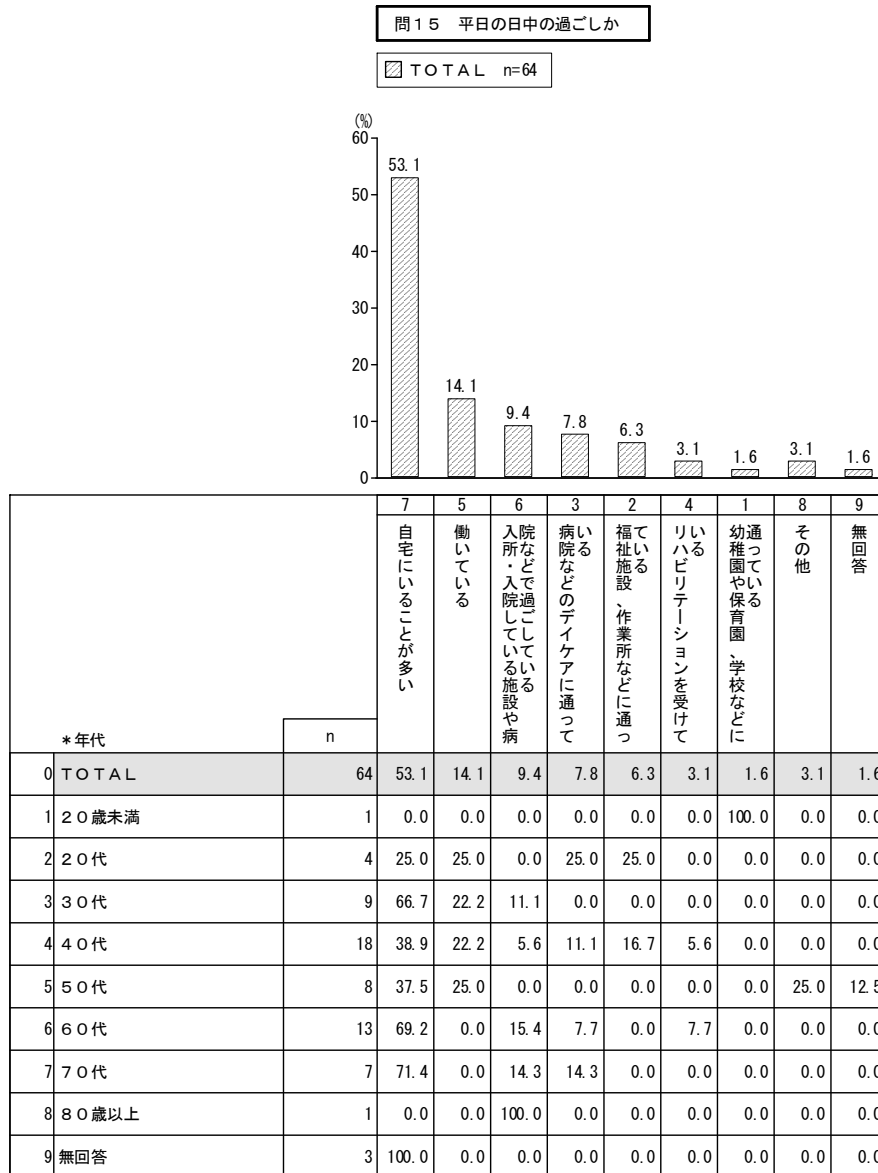


(4) 平日の日中の過ごしかた

問 15 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

平日の日中の過ごしかたでは、「自宅にすることが多い」と回答している人が53.1%と最も多く、次いで「働いている」が14.1%、「入院・入所している施設や病院などで過ごしている」が9.4%となっている。

20代から50代では、2割強の人が「働いている」と回答している。



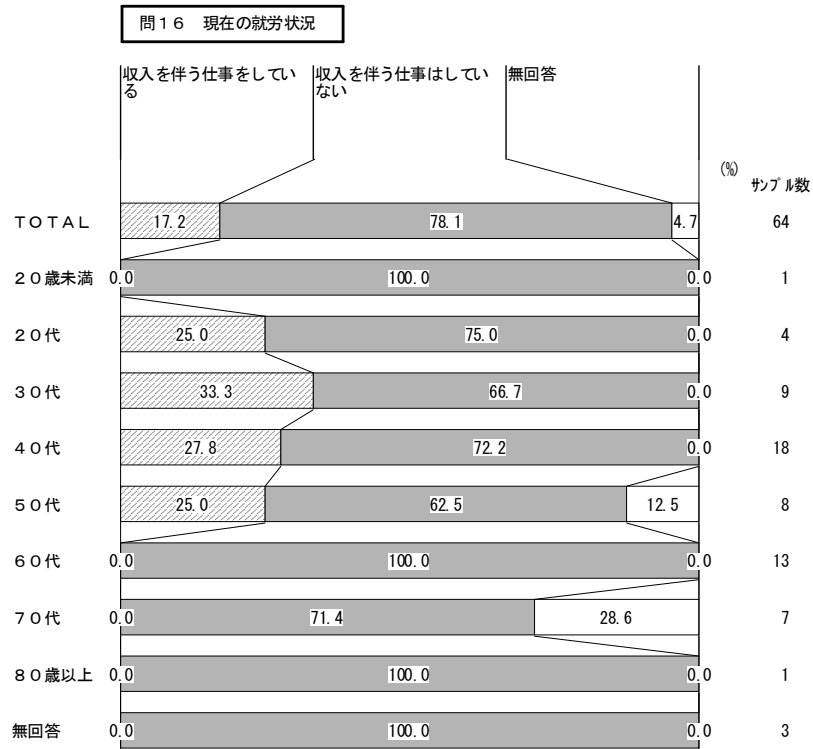
【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(5) 現在の就労状況

問 16 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

現在、「収入を伴う仕事をしている」と回答した人は 17.2%、「収入を伴う仕事はしていない」が 78.1%となっている。

年代別にみると、20代から50代では3割程度の人が収入を伴う仕事をしています。

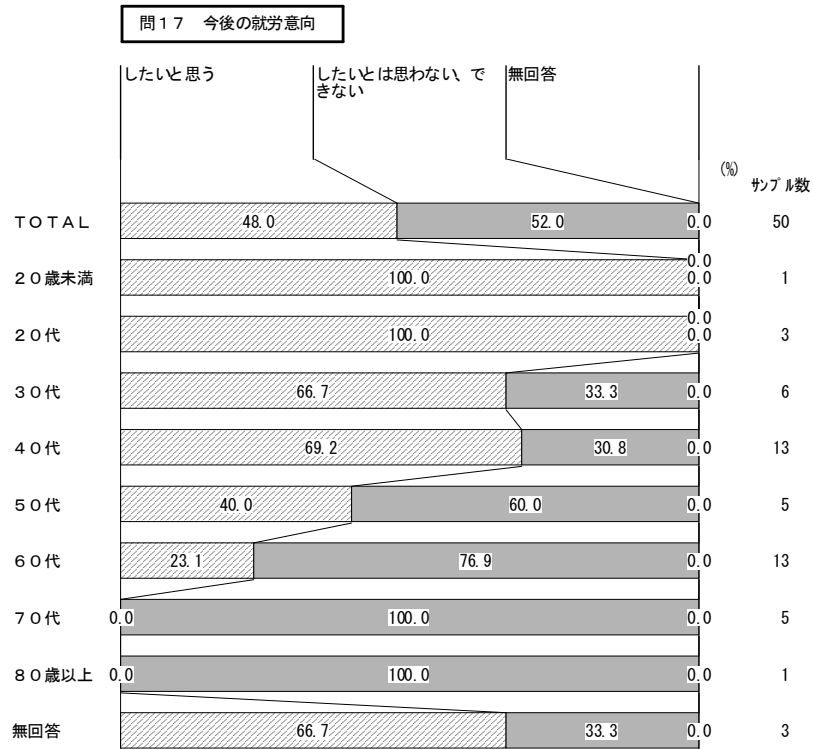


(6) 今後の就労意向

問 17 今後、収入を伴う仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

※問 16 にて 2「収入を伴う仕事はしていない」と回答した人のみ

今後、収入を伴う仕事をしたいと思うかについては、「したいと思う」が 48.0%、「したいとは思わない、できない」が 52.0%となっている。

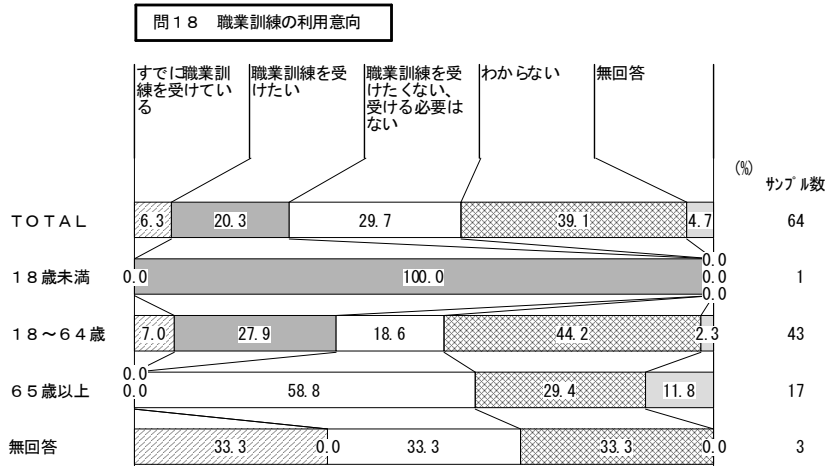


【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(7) 職業訓練の利用意向

問 18 収入を伴う仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つ)

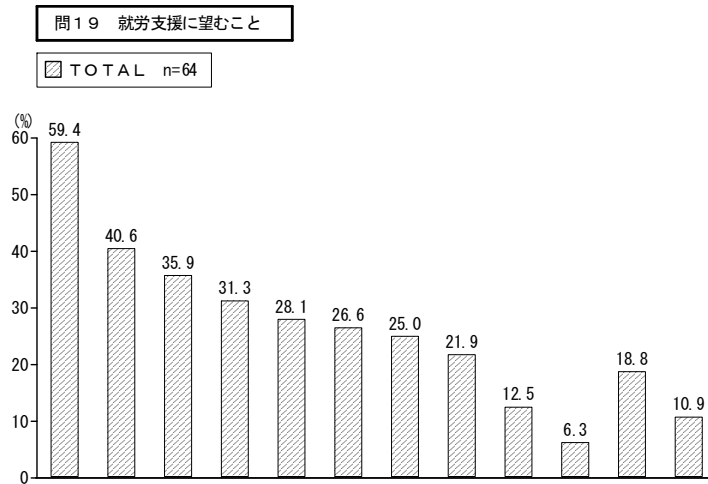
18～64 歳未満では、「すでに職業訓練を受けている」(7.0%)と「職業訓練を受けたい」(27.9%)を合わせて 34.9%が職業訓練に意欲的である。



(8) 就労支援に望むこと

問 19 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

就労支援に望むこととしては、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が 59.4%で最も多く、次いで「短時間勤務や勤務日数などの配慮」が 40.6%、「在宅勤務の拡充」が 35.9%、「就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携」が 31.3%となっている。



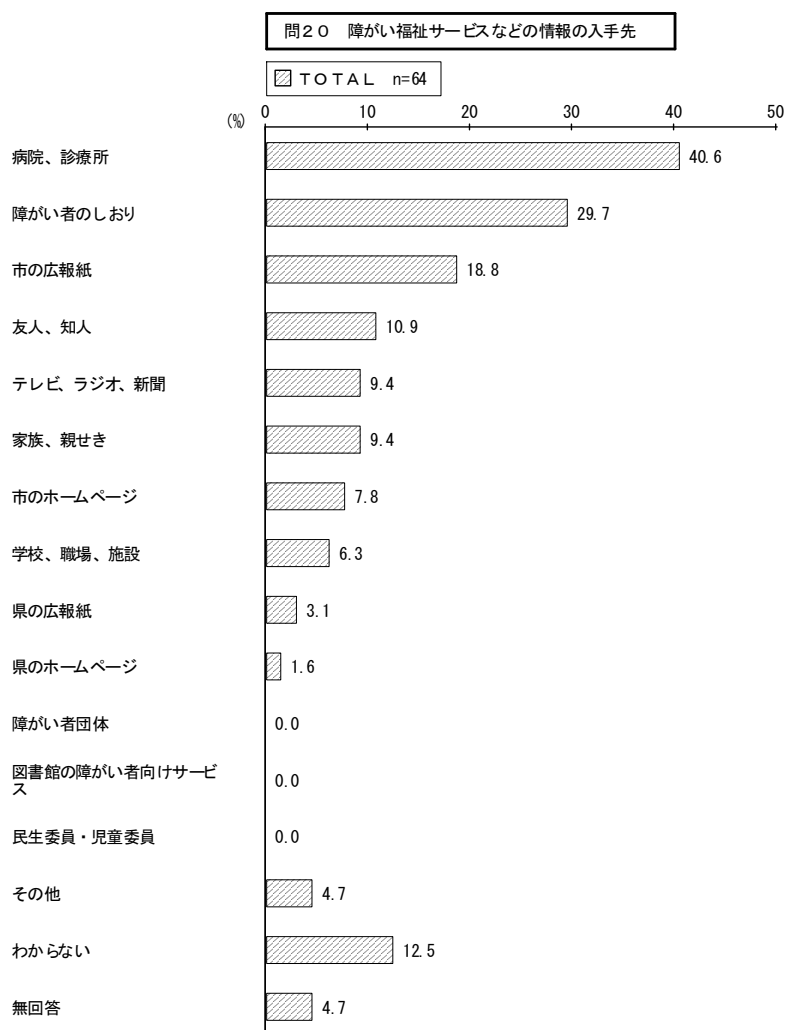
*年代	n	5	3	4	7	9	1	8	6	2	10	11	12
		職場の上司や同僚に障がいの理解があること	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携	仕談対応、支援についての職場外での相談	通勤手段の確保	企業のニーズに合った就労訓練	職場で介助や援助などが受けられること	勤務場所におけるバリアフリー	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	64	59.4	40.6	35.9	31.3	28.1	26.6	25.0	21.9	12.5	6.3	18.8	10.9
1 20歳未満	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 20代	4	100.0	75.0	50.0	75.0	75.0	75.0	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
3 30代	9	77.8	66.7	33.3	44.4	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0
4 40代	18	88.9	61.1	38.9	55.6	50.0	50.0	44.4	38.9	16.7	5.6	5.6	0.0
5 50代	8	50.0	25.0	50.0	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5
6 60代	13	30.8	7.7	23.1	15.4	7.7	0.0	15.4	15.4	0.0	7.7	46.2	23.1
7 70代	7	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9
8 80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
9 無回答	3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4 相談や情報入手について

(1) 障がい福祉サービスなどの情報の入手先

問 20 障がい福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

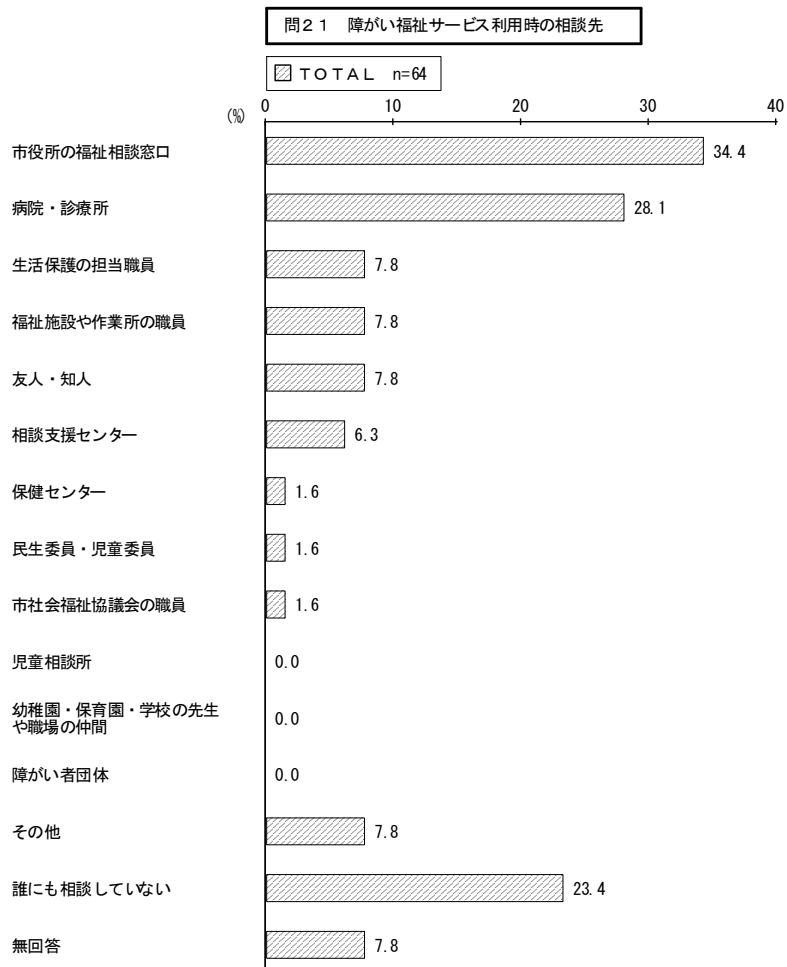
障がい福祉サービスなどの情報の入手先では「病院、診療所」と回答した人が 40.6%と最も多く、次いで「障がい者のしおり（「北本市保健福祉ガイドブック」など）」が 29.7%、「市の広報紙」が 18.8%、「友人、知人」が 10.9%となっている。



(2) 障がい福祉サービス利用時の相談先

問 21 あなたは、障がい福祉サービスを利用するときどなたかに相談しましたか。(○はい/×でも)

障がい福祉サービスを利用する時の相談先では「市役所の福祉相談窓口」と回答した人が 34.4%と最も多く、次いで「病院・診療所」が 28.1%、「生活保護の担当職員」「福祉施設や作業所の職員」「友人・知人」がそれぞれ 7.8%となっている。また、「誰にも相談していない」が 23.4%である。



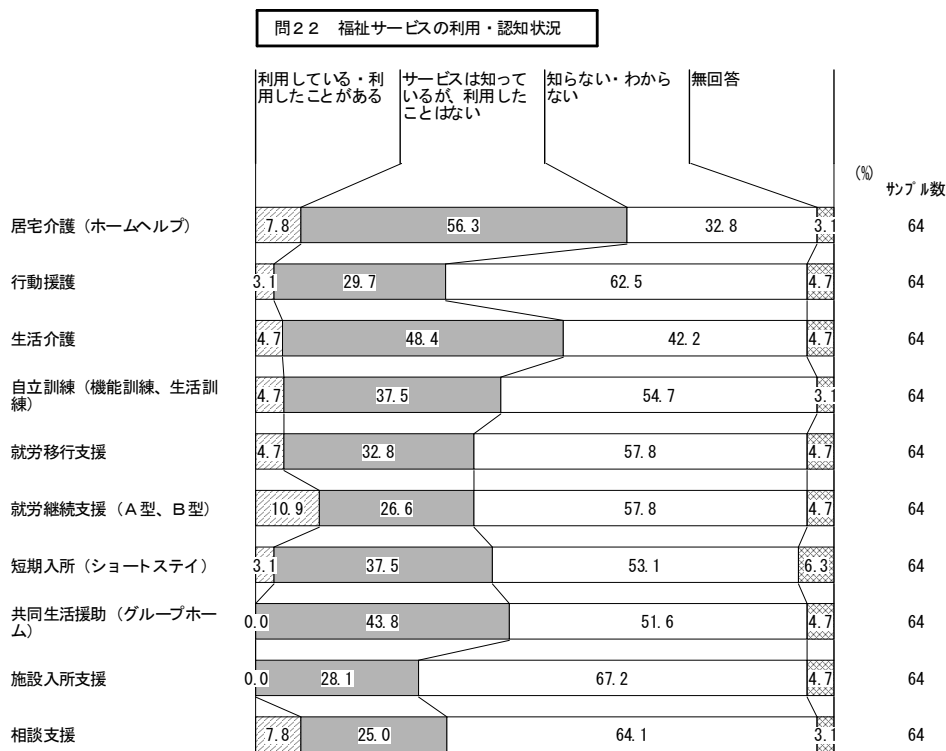
5 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの利用・認知状況

問 22 あなたは、次のような障がい福祉サービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。
 (①～⑭のサービスごとに1つずつお答えください。)

障がい福祉サービスの中で、「利用している・利用したことがある」サービスは、「就労継続支援（A型、B型）」が最も多く10.9%、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」と「相談支援」がそれぞれ7.8%となっている。

一方、「知らない・わからない」と回答した人が多いサービスがいくつもあり、「知らない・わからない」が6割を超えるのは「施設入所支援」（67.2%）、「相談支援」（64.1%）「行動援護」（62.5%）である。

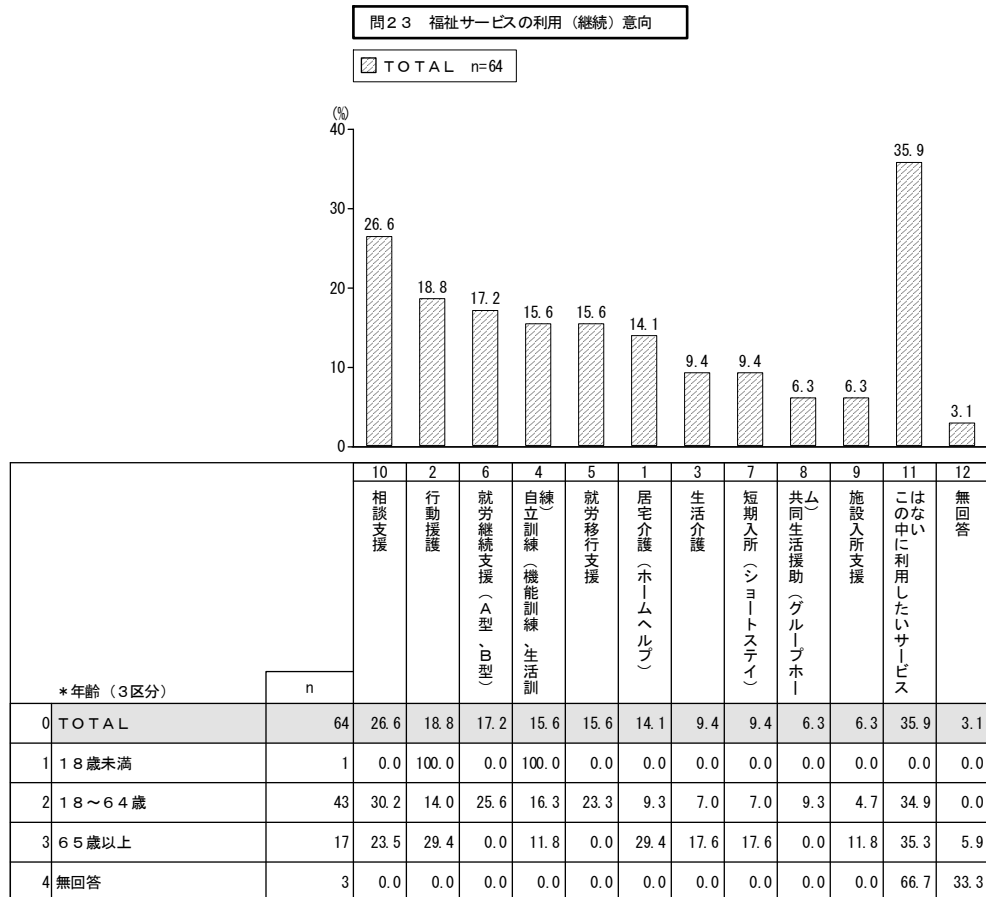


(2) 福祉サービスの利用（継続）意向

問 23 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

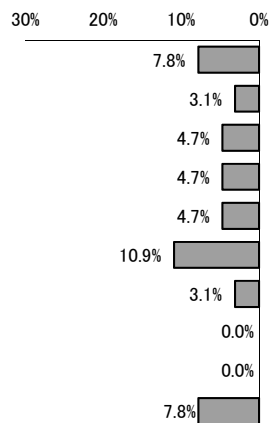
今後も引き続き利用したい、あるいは、今後新たに利用したいと思うサービスとしては、「相談支援」をあげる人が26.6%と最も多く、次いで「行動援護」（18.8%）が続く。「相談支援」は利用経験が7.8%にとどまっており、高い利用意向が示されている。

なお、「この中に利用したいサービスはない」が35.9%となっている。



利用している・利用したことがあるサービス（複数回答）

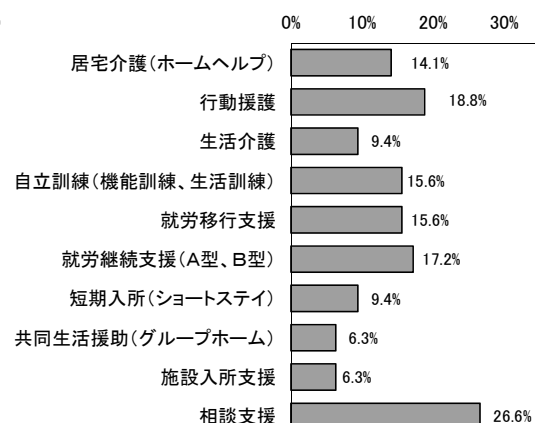
《利用経験》



今後利用したいサービス（複数回答）

《利用意向》

n=54

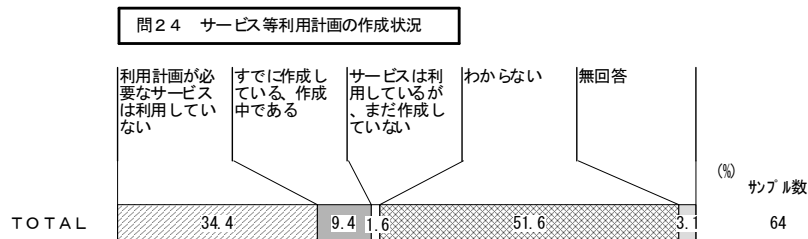


【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(3) サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成状況

問 24 法律の改正により、障がい福祉サービス・障がい児通所支援の利用にあわせてサービス等利用計画の作成が必要になりました。すでにサービスを利用している方も、平成 27 年 3 月までに計画を作成していただくことになります。この計画は、市が指定する特定相談支援事業者が作成し、利用者の負担はありません。
あなたは、「サービス等利用計画(障害児支援利用計画)」を作成していますか。(○は1つ)

サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成状況については、「利用計画が必要なサービスは利用していない」が 34.4%、「すでに作成している、あるいは作成中である」が 9.4%、「サービスは利用しているが、まだ作成していない」は 1.6%となっている。

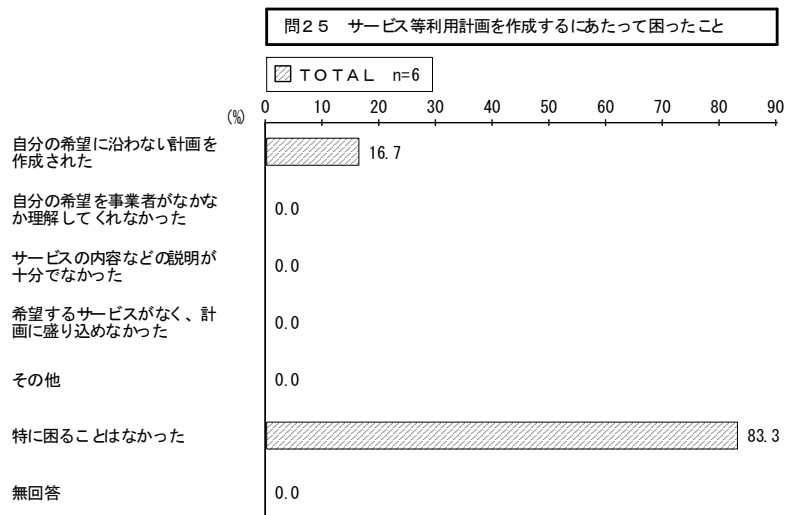


(4) サービス等利用計画(障害児支援利用計画)を作成するにあたって困ったこと

問 25 計画を作成するにあたって、何か困ったことはありましたか。(○はいくつでも)

※問 24 にて 2「すでに作成している、あるいは作成中である」と回答した人のみ

サービス等利用計画(障害児支援利用計画)を作成するにあたって、困ったことでは、6 人中 1 人が「自分の希望に沿わない計画を作成された」と回答している。他の 5 名は「特に困ることはなかった」と回答している。

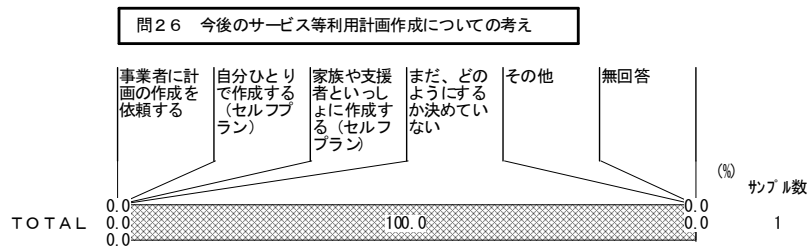


(5) 今後のサービス等利用計画作成についての考え

問 26 今後の計画の作成について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

※問 25 にて 3「サービスは利用しているが、まだ作成していない」と回答した人のみ

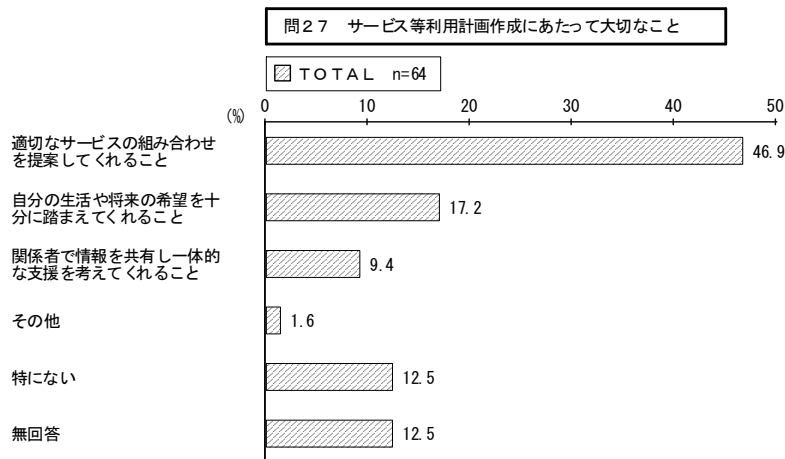
今後のサービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成については、「まだ、どのようにするか決めていない」と回答している(回答者 1 名のみ)。



(6) サービス等利用計画作成にあたって大切なこと

問 27 サービス等利用計画の作成にあたっては、どのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

サービス等利用計画(障害児支援利用計画)の作成にあたって大切だと思うことについては、「適切なサービスの組み合わせを提案してくれること」が 46.9%と最も多く、次いで「自分の生活や将来の希望を十分に踏まえてくれること」が 17.2%となっている。



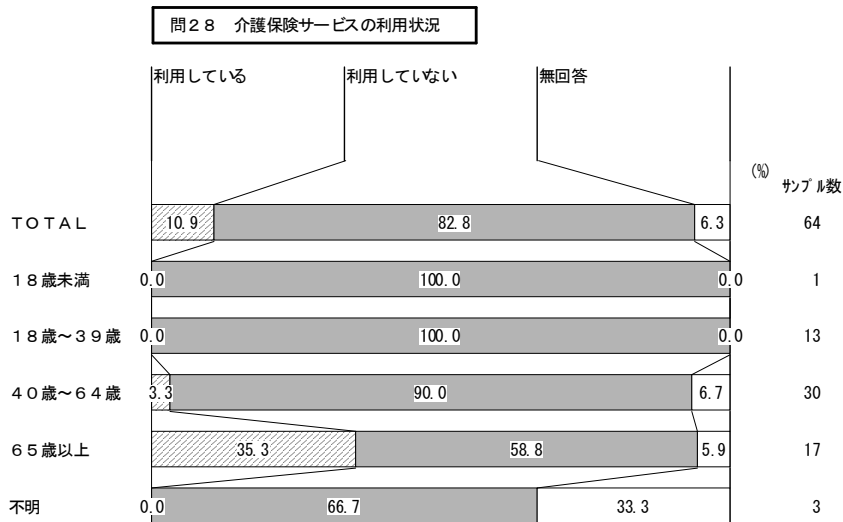
【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(7) 介護保険サービスの利用状況

問 28 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が 10.9%、「利用していない」が 82.8%となっている。

「40歳～64歳」では 3.3%、「65歳以上」では 17人中 6人（35.3%）が介護保険サービスを利用している。

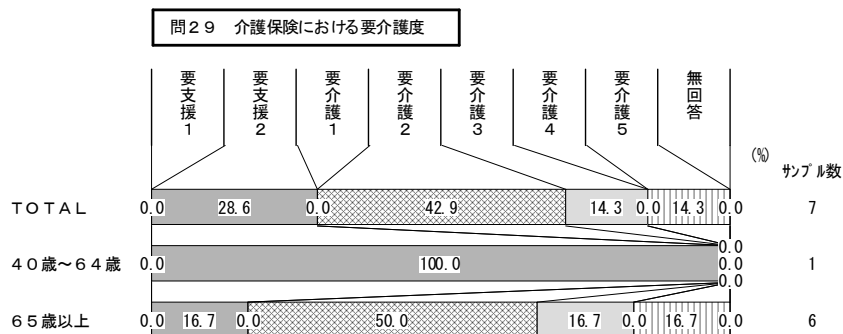


(8) 介護保険における要介護度

問 29 該当する要介護度はどれですか。(○は1つ)

※問 28 にて 1「利用している」と回答した人のみ

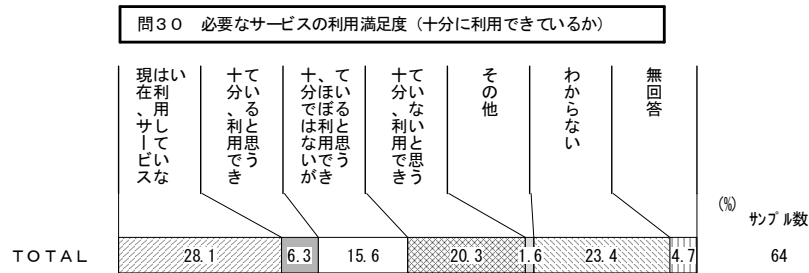
介護保険における要介護度については、「要支援 2」が 7人中 2人（28.6%）、「要介護 2」が 3人（42.9%）、「要介護 3」「要介護 5」がそれぞれ 1人（14.3%）となっている。



(9) 必要なサービスの利用満足度

問 30 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

必要だと思うサービスを利用できているかについては、「十分、利用できていると思う」と「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が合わせて約 2 割 (21.9%)、「十分、利用できていないと思う」は 20.3%、「わからない」は 23.4%となっている。

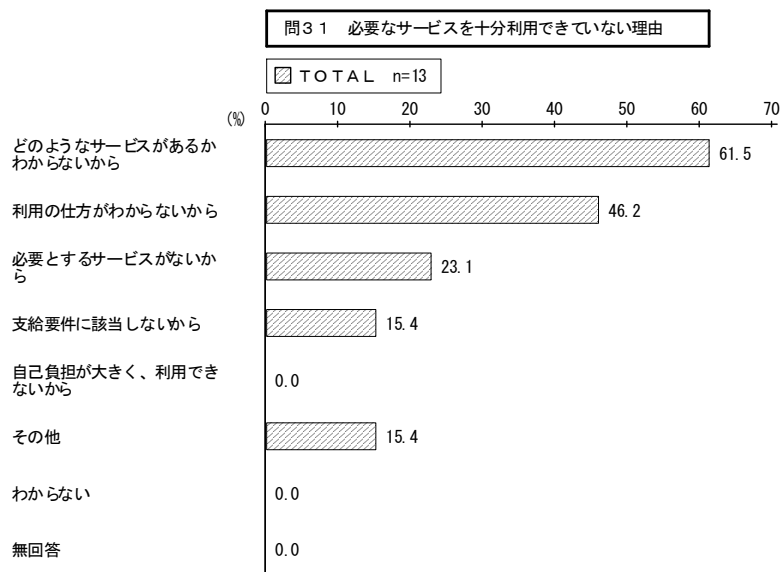


(10) 必要なサービスを十分利用できていない理由

問 31 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※問 30 にて 4「十分、利用できていないと思う」と回答した人のみ

必要だと思うサービスを利用できていない理由については、「どのようなサービスがあるかわからないから」と回答した人が最も多く、13 人中 8 人 (61.5%) である。次いで「利用の仕方がわからないから」が 6 人 (46.2%)、「必要とするサービスがないから」が 3 人 (23.1%) となっている。



【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(11) 必要だと思うサービスの内容（自由回答）

問 32 必要とするのはどのようなサービスですか。（自由記入）

※問 31 にて 3「必要とするサービスがないから」と回答した人のみ

次のような回答があがっている。

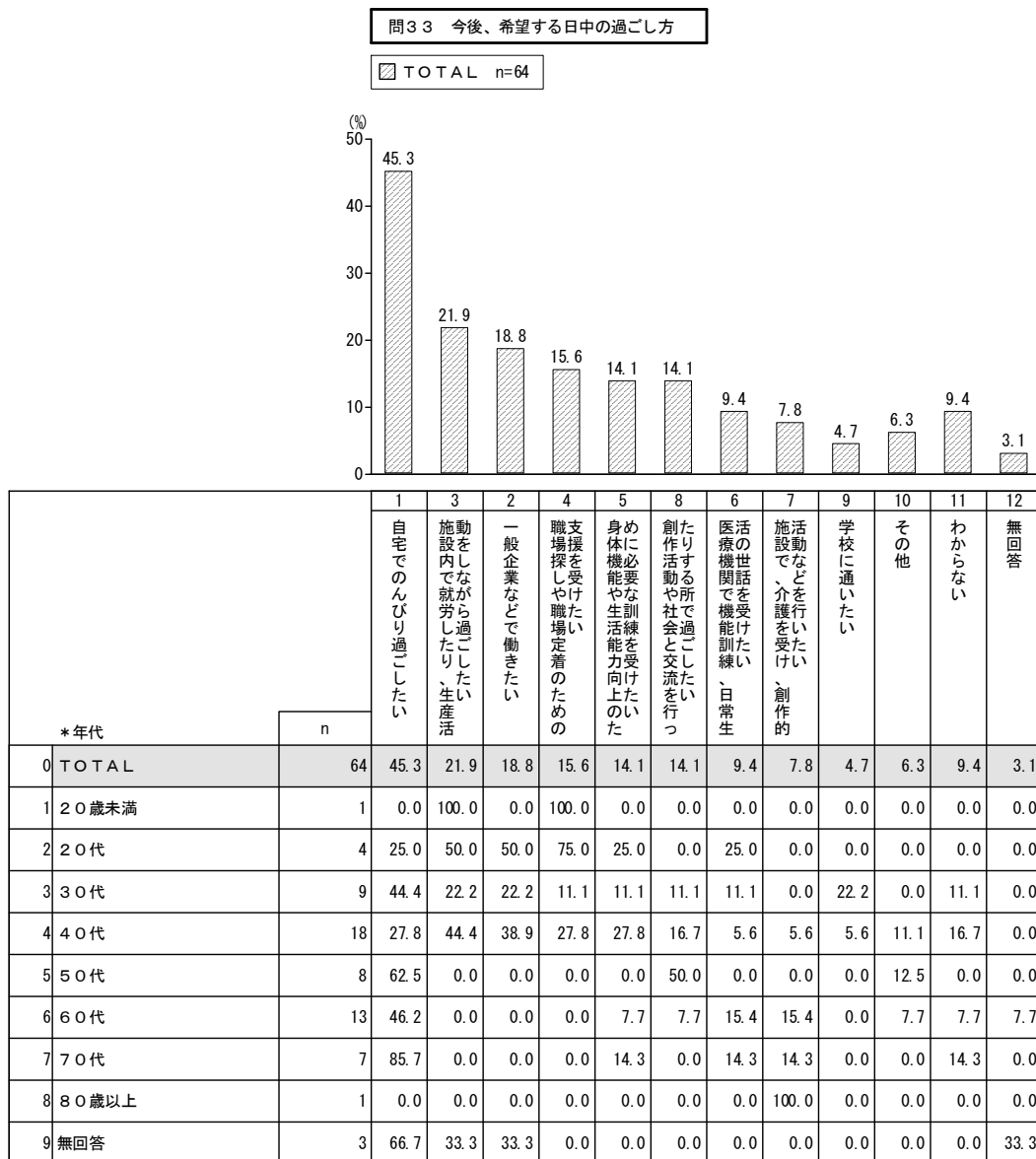
- ・ 日常生活の中で自分に対して多少なりの金銭的支援。
- ・ 躁うつ病のため、うつの際に対応してくれるサービス（食事、そうじ、洗たく等）があるといい。
- ・ 病気と体がついていけない時にやさしくヘルパーさんが自分の事を理解をしてもらいたい所です。

6 将来の希望等について

(1) 今後、希望する日中の過ごし方

問33 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

今後、希望する日中の過ごし方については、「自宅でのんびり過ごしたい」と回答した人が 45.3%と最も多く、次いで「施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」が 21.9%、「一般企業などで働きたい」が 18.8%となっている。



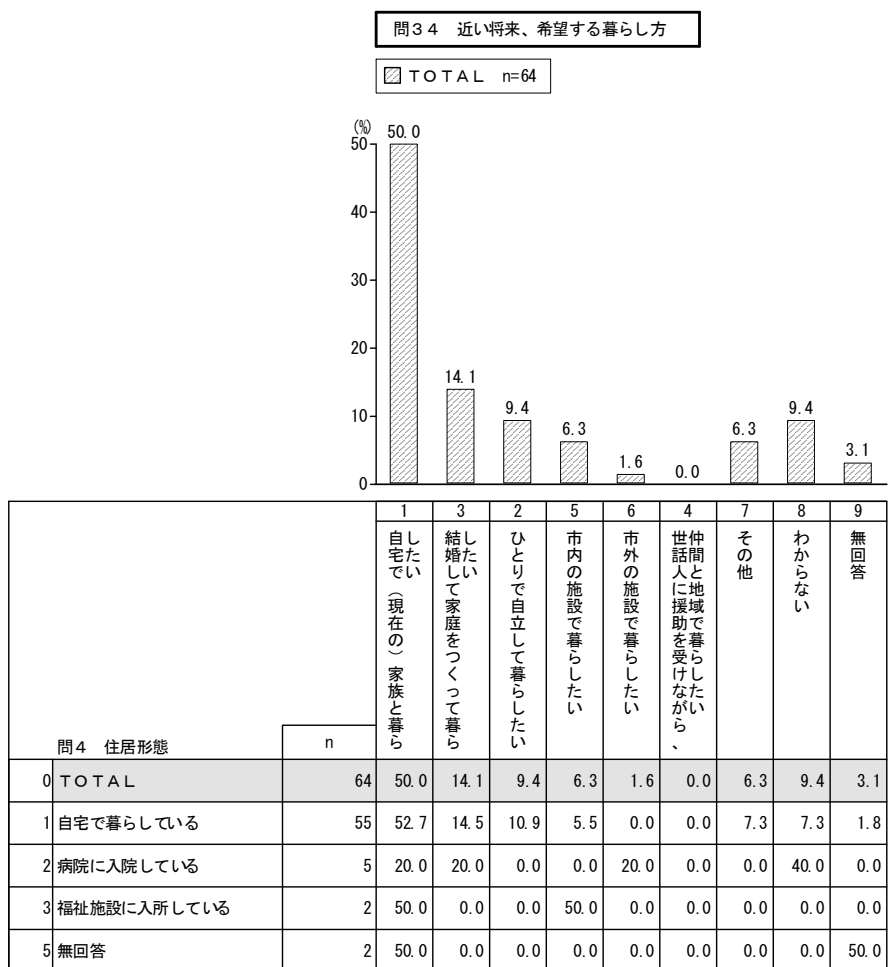
【Ⅱ 調査結果 精神障がい者】

(2) 近い将来、希望する暮らし方

問 34 あなたは、近い将来（おおむね5～10年後）どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

近い将来、希望する暮らし方については、「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」と回答した人が 50.0%と最も多く、次いで「結婚して家庭をつくって暮らしたい」が 14.1%、「ひとりで自立して暮らしたい」が 9.4%となっている。また、約 1 割（10.7%）が「わからない」と回答している。

現在の居住場所別にみると、現在、自宅で暮らしている人のうち、52.7%は引き続き「自宅」を希望しており、次いで「結婚して家庭をつくって暮らしたい」（14.5%）、「ひとりで自立して暮らしたい」（10.9%）と続く。



7 意見・要望等（自由回答）

（1）意見・要望等（自由回答）

問 35 最後に、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。（自由記入）

【就労について】

- ・ 精神障害でも普通にお仕事できたらいいと思います。
- ・ 障がいのある事を隠さないで、働くことができれば幸いです。世の中の障がいのある人への理解は、なかなか良くなりません。もっと健常者に障がい者への理解を求めます。年齢や見た目だけの人がばかりでなく人への思いやり、（年上の人にもそうです）周りの人への気遣いができる街になって欲しいものです。
- ・ 普通の暮らしができれば、この病気でも少しずつは働いた方がいいと思うし、本人が学んだり習った事も考慮し仕事につく事も市で考えて、資格や免許の習得のための援助も、加えた方がいいと思う。健康な人と比べると病気なのだから倍に努力が必要なのではと思う。
- ・ 身体障がい者や、知的障がい者と比較して、精神障がい者への偏見はまだまだ根強く、企業側も身体や知的障がい者は雇用しやすいが精神は雇用しにくいと考えているようです。ぜひ精神障がい者の雇用を促進するような行政運営をしていただきたい、と思います。よろしくをお願いします。

【福祉サービス・医療について】

- ・ 精神科の病院が北本に1つしかない。しかも休みや診療時間が短い、混んでいて予約が取れない。ドクターが全く患者をみていない（PCと向きあっているだけ）。何の回復の兆しも目処も立たないただ薬を出すだけ。老人福祉も必要だが、病院を増やして欲しい。仕事が出来ているのに、病院に通う事が一番むずかしい。心療内科ではなく精神科を増やして欲しい。
- ・ 自立支援でお世話になっております。医療費の負担が軽くなり、大変助っています。ありがとうございます。
- ・ 障害の程度の区分で利用できるサービスがなかったので何かあれば良いと思った。映画や美術館などの入場割引等があれば外に出る機会も増えると思う。
- ・ 要支援2をどの様に利用するか良く分かりません。現在歩行困難の状態にありますが、その原因が判明せずとても苦しい状況です。原因はストレスからくる心因的なものかとの診断で心療内科を受診していますが、結果は原因が判明せず、このような時どこにどの様に相談したら良いか？
- ・ 消費税が上がり、生活保護費、障害年金はかわらない。もう少し、生活保護費、障害年金などの見直しをしてほしい。（少し上げて欲しい）病気でもらっているが、通院費など、かさんで生活がアップアップです。仕事さがしでもらっているのちがいます。

【施設について】

- ・ 旧大宮市に比し当市の施設は小規模多機能型が多く精障、認知症対応の場が少ないように感じる。2025年問題にどのように対応するのでしょうか。

問7 手順に記載されている障がいは次のどれですか。主な障がい1つをお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--|
| 1 視覚障がい | 5 内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の機能の障がい) |
| 2 聴覚障がい、平衡機能障がい | 6 その他 () |
| 3 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障がい | |
| 4 肢体不自由(上肢、下肢、体幹) | |

問8 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 療育手帳(みどりの手帳)を持っている |
| 2 精神障害者保健福祉手帳を持っている |
| 3 国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている |
| 4 高次脳機能障がいと診断されたことがある |
| 5 発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等)と診断されたことがある |
| 6 1～5に、あてはまるものはない |

問9 あなたは、「障害程度(支援)区分」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

- | | | | | | | | | |
|------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 1 受けたことはない | | | | | | | | |
| 2 受けたことがある | → () | 区分6 | 区分5 | 区分4 | 区分3 | 区分2 | 区分1 | 非該当 申請中) |
| 3 わからない | | | | | | | | |

介護・援助の状況についてお聞きます。

問10 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(○は①から⑩それぞれに1つ)

	ひとりできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	→ 1	2	3
② トイレ	→ 1	2	3
③ 入浴	→ 1	2	3
④ 衣服の着脱	→ 1	2	3
⑤ 身だしなみ	→ 1	2	3
⑥ 家の中の移動	→ 1	2	3
⑦ 外出	→ 1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	→ 1	2	3
⑨ お金の管理	→ 1	2	3
⑩ 薬の管理	→ 1	2	3

問11 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 父、母 | 6 近所の人、友人・知人 |
| 2 配偶者(夫、妻) | 7 ホームヘルパー等の在宅サービス事業者 |
| 3 子ども、子どもの配偶者 | 8 その他 () |
| 4 兄弟姉妹 | 9 介助・援助している人はいない(必要ない) |
| 5 その他の親せき | |

問12 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 医療ケアは受けていない | 8 中心静脈栄養(IVH) |
| 2 気管切開 | 9 透析 |
| 3 人工呼吸器(レスピレーター) | 10 カテーテル留置 |
| 4 吸入 | 11 ストマ(人工肛門・人工膀胱) |
| 5 吸引 | 12 服薬管理 |
| 6 胃ろう・腸ろう | 13 その他 () |
| 7 鼻腔経管栄養 | |

日中の過ごし方や外出の状況についてお聞きます。

問13 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 週に5日以上 | 3 週に1～2日 | 5 ほとんど外出しない |
| 2 週に3～4日 | 4 月に2～3日 | 6 その他 () |

問14 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1 ひとりで外出できる |
| 2 いつも支援が必要 |
| 3 慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要 |
| 4 いつもはひとりで行けるが、調子が悪い場合は支援が必要 |
| 5 その他 () |

問15 ひとりでも外出できない場合、どのように外出していますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1 移動支援やホームヘルパー等の福祉サービスを利用している |
| 2 福祉タクシー等の有料サービスを利用している |
| 3 家族に付き添ってもらっている |
| 4 友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている |
| 5 その他 () |

《 全員にお聞きします。》

問 16 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 幼稚園や保育園、学校などに通っている | 5 働いている |
| 2 福祉施設、作業所などに通っている | 6 入所・入院している施設や病院などで過ごしている |
| 3 病院などのデイケアに通っている | 7 自宅に多くのことが多い |
| 4 リハビリテーションを受けている | 8 その他 () |

雇用・就労などの状況についてお聞きします。

問 17 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------|
| 1 収入を伴う仕事をしている |
| 2 収入を伴う仕事をしていない |

→ 問 18 今後、収入を伴う仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 したいと思う |
| 2 したいとは思わない、できない |

《 全員にお聞きします。》

問 19 収入を伴う仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 すでに職業訓練を受けている | 3 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない |
| 2 職業訓練を受けたい | 4 わからない |

問 20 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いませんか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 通勤手段の確保 |
| 2 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮 |
| 3 短時間勤務や勤務日数などの配慮 (1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど) |
| 4 在宅勤務の拡充 (職場に行かなくても、家の中でできる仕事を増やすなど) |
| 5 職場の上司や同僚に障がいの理解があること |
| 6 職場で介助や援助などが受けられること |
| 7 就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携 (就職したあと、引き続き支援するなど) |
| 8 企業のニーズに合った就労訓練 (それぞれの職場の仕事を想定した訓練をするなど) |
| 9 仕事についての職場外での相談対応、支援 (職場以外で、仕事を相談できるようにするなど) |
| 10 その他 () |
| 11 わからない |

相談や情報入手についてお聞きします。

問 21 障がい福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1 障がい者のしおり (北本市保健福祉ガイドブックなど) | 9 病院、診療所 |
| 2 市の広報紙 (広報テラプを含む) | 10 図書館の障がい者向けサービス |
| 3 県の広報紙 (広報テラプを含む) | 11 民生委員・児童委員 |
| 4 市のホームページ | 12 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 5 県のホームページ | 13 家族、親せき |
| 6 テレビ、ラジオ、新聞 | 14 友人、知人 |
| 7 障がい者団体 | 15 その他 () |
| 8 学校、職場、施設 | 16 わからない |

問 22 あなたは、障がい福祉サービスを利用するときなどに誰かに相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 市役所の福祉相談窓口 | 9 福祉施設や作業所の職員 |
| 2 相談支援センター | 10 幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間 |
| 3 病院、診療所 | 11 市社会福祉協議会の職員 |
| 4 児童相談所 | 12 障がい者団体 |
| 5 保健センター (保健師など) | 13 友人、知人 |
| 6 民生委員・児童委員 | 14 その他 () |
| 7 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | 15 誰にも相談していない |
| 8 生活保護の担当職員 | |

福祉サービスのことについてお聞きします。

問 23 あなたは、次のような障がい福祉サービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。(①～③のサービスごとに1つずつお答えください。)

	利用している・利用したことある	サービスがあるとは知っているが、利用したことはない	知らない・わからない
① 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅で入浴や排泄、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	3
② 重度訪問介護 重度の障がい者の場合に必要となる方に、自宅で入浴や排泄、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	1	2	3
③ 同行支援 視覚障がいにより移動が難しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の誘導などを行うサービスです。	1	2	3

利用している・利用したことがある	サービスがあることは知っているが、利用したことはない	知らない・わからない	
④ 行動支援 知的障がいや精神障がにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	3
⑤ 重度障害者等包括支援 常に介護が必要なお方で、介護の必要度が高く高い方に、居宅介護などのサービスを含めて提供されるサービスです。	1	2	3
⑥ 生活介護 常に介護が必要なお方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	3
⑦ 自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑧ 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑨ 就労継続支援（A型、B型） 通常の事業所で働くことが困難なお方に、就労の機会や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑩ 療養介護 医師が必要なお方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。	1	2	3
⑪ 短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者(児)を介護する方が病気の場合などに、障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	1	2	3
⑫ 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、概ね日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	3
⑬ 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	1	2	3
⑭ 相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。	1	2	3
⑮ 児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。	1	2	3

利用している・利用したことがある	サービスがあることは知っているが、利用したことはない	知らない・わからない	
⑯ 放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	1	2	3
⑰ 保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。	1	2	3
⑱ 医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1	2	3
⑲ 福祉型児童入所支援 障がい児入所施設に入所する障がい児に対し、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。	1	2	3
⑳ 医療型児童入所支援 障がい児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護、日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。	1	2	3

問 24 次のサービスの中で、今後引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 居宅介護（ホームヘルプ）	12 共同生活援助（グループホーム）
2 重度訪問介護	13 施設入所支援
3 同行支援	14 相談支援
4 行動支援	15 児童発達支援
5 重度障害者等包括支援	16 放課後等デイサービス
6 生活介護	17 保育所等訪問支援
7 自立訓練（機能訓練、生活訓練）	18 医療型児童発達支援
8 就労移行支援	19 福祉型児童入所支援
9 就労継続支援（A型、B型）	20 医療型児童入所支援
10 療養介護	21 この中に利用したいサービスはない
11 短期入所（ショートステイ）	

問 25 法律の改正により、障がい福祉サービス・障がい児通所支援の利用にあわせてサービス等利用計画の作成が必要になりました。すでにサービスを利用している方も、平成27年3月までに計画を作成していただくこととなります。この計画は、市が指定する特定相談支援事業者が作成し、利用者の負担はありません。

あなたは、「サービス等利用計画(障害児支援利用計画)」を作成していますか。(○は1つ)

1	利用計画が必要なサービスは利用していない
2	すでに作成している、作成中である
3	サービスは利用しているが、まだ作成していない
4	わからない

→ 問 26 計画を作成するにあたって、何か困ったことはありませんか。(○はいくつでも)

1	自分の希望を事業者がなかなか理解してくれなかった
2	自分の希望に沿わない計画を作成された
3	サービスの内容やどのようなサービスがあるかなどの説明が十分でなかった
4	希望するサービスが市内・近隣市にない(あるいは受入体制がなく、計画に盛り込めなかった)
5	その他 ()
6	特に困ったことはない

→ 問 27 今後の計画の作成について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1	事業者が計画の作成を依頼する	4	まだ、どのようにするか決めていない
2	自分ひとりで作成する(セルフプラン)	5	その他 ()
3	家族や支援者といっしょに作成する(セルフプラン)		

《全員にお聞きます。》

問 28 サービス等利用計画の作成にあたっては、どのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

1	適切なサービスの組み合わせを提案してくれること
2	関係者どうしで情報を共有し、一体的な支援を考えてくれること
3	自分の生活の状況や将来の希望などを十分に踏まえてくれること
4	その他 ()
5	特になし

問 29 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

1	利用している	2	利用していない
---	--------	---	---------

→ 問 30 該当する要介護度はどれですか。(○は1つ)

1	要支援 1	3	要介護 1	5	要介護 3	7	要介護 5
2	要支援 2	4	要介護 2	6	要介護 4		

《全員にお聞きます。》

問 31 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

1	現在、サービスは利用していない(必要がない)
2	十分、利用できていると思う
3	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う
4	十分、利用できていないと思う
5	その他 ()
6	わからない

→ 問 32 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何か。(○はいくつでも)

1	自己負担が大きく、利用できないから
2	支給要件に該当しないから
3	必要とするサービスがないから
4	どのようなサービスがあるかわからないから
5	利用の仕方がわからないから
6	その他 ()
7	わからない

→ 問 33 必要とするのどのようなサービスですか。(自由記入)

将来の希望などについてお聞きます。

問 34 今後、どのように日中を過ごしたいと思えますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 自宅でのんびり過ごしたい |
| 2 一般企業などで働きたい |
| 3 一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい |
| 4 施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい |
| 5 自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい |
| 6 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい |
| 7 施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい |
| 8 創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい |
| 9 学校に通いたい |
| 10 その他 () |
| 11 わからない |

問 35 あなたは、近い将来（おおむね5～10年後）どのように暮らしたいと思えますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 自宅で（現在の）家族と暮らしたい |
| 2 ひどりで自立して暮らしたい |
| 3 結婚して家庭をつくって暮らしたい |
| 4 世話人に日常生活上の援助などを受けながら、仲間と地域で暮らしたい |
| 5 市内の施設で暮らしたい |
| 6 市外の施設で暮らしたい |
| 7 その他 () |
| 8 わからない |

問 36 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記入)

--

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、11月7日（金）までにご投函ください。

福祉についてのおたずね

《調査ご協力のお願ひ》

みなさまには、日ごろから本市の行政運営にご理解と協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、本市では障がい者福祉のより一層の推進をはかるため、「第四期障害福祉計画の策定」に取り組んでいます。つきましては、療育手帳（みどりの手帳）をお持ちの方の中から無作為に抽出し、ご意見やご希望などをお聞かせ願ひたく、このアンケートを行うこととしました。

このアンケートは無記名です。みなさまからの回答は、コンピュータにより、統計的に処理をし、秘密の保護には細心の注意を払い、個人ごとの公表はしませんので、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解の上、率直なご意見、ご要望などをお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成26年10月

北本市長 石津賢治

ご記入が完了したら、同封の返信用封筒に入れ、

11月7日(金)までにご返送くださるようお願いいたします。
 [問い合わせ先] 北本市保健福祉部障がい者福祉課 〒364-8633 北本市本町1-1-11
 電話 048-594-5535 FAX 048-593-2862
 《ご記入にあたってのお願ひ》

- このアンケートおよび返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名のご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人の記入が困難な場合には、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
- おこたえは、平成26年10月1日現在の状況を記入してください。
- おこたえは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中にその具体的な内容も記入してください。
- おこたえは、「1つだけ」を選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくものがあります。
- 質問によっては、ある条件に当てはまる方だけにおこたえをお願いするものがありますので、説明にしたがっておこたえください。
- おこたえにのりたくない質問については、無理におこたえになる必要はありません。

問1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

- 本人（この調査票が郵送された宛名の方）が記入、または本人がたええ代筆者が記入
- 家族（本人の立場に立って記入）
- 施設や病院などの職員（本人の立場に立って記入）
- そのほかの方（本人の立場に立って記入）

※ これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あおた」とお呼びしますので、ご本人の状況などについて、おこたえください。

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについてお聞かします。

問2 あなたの性別をおこたえください。（○は1つ）

- 男性 2 女性

問3 年齢（10月1日現在）を書いてください。

_____ 歳

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

- 自宅で暮らしている 3 福祉施設に入所している
- 病院に入院している 4 その他（ ）

問5 どなたといつよに暮らしていますか。（○はいくつでも）

- 自分ひとりだけで暮らしている 6 きょうだい
- 夫または妻 7 そのほかの親せき
- 子ども（むすこ、むすめ） 8 福祉施設の職員や仲間
- おとうさん、おかあさん 9 その他（ ）
- おじいさん、おばあさん

障がいの状況などについてお聞かします。

問6 療育手帳（みどりの手帳）に書かれている障がいの程度をおこたえください。（○は1つ）

- A（最重度） 3 B（中度） 5 持っていない
- A（重度） 4 C（軽度）

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳を持っている
- 2 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 3 国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている
- 4 高次脳機能障がいと診断されたことがある
- 5 発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等)と診断されたことがある
- 6 1～5に、あてはまるものはない

問8 あなたは、「障害程度(支援)区分」の認定を受けていますか。ある場合には、区分にも

○をつけてください。(○は1つ)

- 1 受けたことはない
- 2 受けたことがある → (区分6 区分5 区分4 区分3 区分2 区分1 非該当 申請中)
- 3 わからない

問9 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにおこたえください。

① 食事	② トイレ	③ お風呂	④ 着替え	⑤ 身だしなみ	⑥ 家の中の移動	⑦ 外出	⑧ 家族以外のひととの会話	⑨ お金の管理	⑩ 薬の管理
ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる	ひとりできる
→ 1	→ 1	→ 1	→ 1	→ 1	→ 1	→ 1	→ 1	→ 1	→ 1
一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要	一部介助が必要
→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2
全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要	全部介助が必要
→ 3	→ 3	→ 3	→ 3	→ 3	→ 3	→ 3	→ 3	→ 3	→ 3

問10 ぶだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

- 1 お父さん、お母さん
- 2 夫、妻
- 3 子ども(むすこ、むすめ)
- 4 きょうだい
- 5 そのほかの親せき
- 6 近所の人、友だち・知り合い
- 7 ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者
- 8 その他()
- 9 介助・援助をしている人はいない(必要ない)

問11 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(○はいくつでも)

- 1 医療ケアは受けていない
- 2 気管切開
- 3 人工呼吸器(システリナー)
- 4 吸入
- 5 吸引
- 6 胃ろう・腸ろう
- 7 鼻腔経管栄養
- 8 中心静脈栄養 (IVH)
- 9 透析
- 10 カテーテル留置
- 11 ストマ(人工肛門・人工膀胱)
- 12 服薬管理
- 13 その他()

問12 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを言

めておこたえください。(○は1つ)

1 週に5日以上	2 週に3～4日	3 週に1～2日	4 月に2～3日	5 ほとんど外出しない	6 その他()
→	→	→	→	→	→

《 全員にお聞きます。》

問13 あなたは、外出をするときに手助けが必要ですか。(○は1つ)

- 1 ひどりで外出できる
- 2 いつも手助けが必要
- 3 なれた場所にはひとりで行けるが、それ以外は手助けが必要
- 4 いつもはひとりで行けるが、調子が悪いときは手助けが必要
- 5 その他 ()

問14 ひどりで外出できないとき、どのように外出していますか。(○はいくつでも)

- 1 移動支援やホームヘルパーなどの福祉サービスを利用している
- 2 福祉タクシーなどのお金のかかるサービスを利用している
- 3 家族につきそってもらっている
- 4 友だちや知り合い、ボランティアなどにつきそってもらっている
- 5 その他 ()

《 全員にお聞きます。》

問15 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

- 1 幼稚園や保育園、学校などにかよっている
- 2 福祉施設、作業所などにかよっている
- 3 病院などのクリニックにかよっている
- 4 リハビリテーションを受けている
- 5 働いている
- 6 入所、入院している施設や病院などで過ごしている
- 7 自宅に多い
- 8 その他 ()

雇用・就労などの状況についてお聞きます。

問16 現在、あなたはお金をもらう仕事をしていますか。(○は1つ)

- 1 お金をもらう仕事をしている
- 2 お金をもらう仕事はしていません

問17 今後、お金をもらう仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

- 1 したいと思う
- 2 したいとは思わない、できない

問18 お金をもらう仕事をするために、職業訓練などを受けたかと思いませんか。(○は1つ)

- 1 すでに職業訓練を受けている
- 2 職業訓練を受けた
- 3 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない
- 4 わからない

問19 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 通勤手段の確保
- 2 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮
- 3 短時間勤務や勤務日数などの配慮 (1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど)
- 4 在宅勤務の拡充 (職場に行かなくても、家の中でできる仕事を増やすなど)
- 5 職場の上司や同僚に障がいの理解があること
- 6 職場で介助や援助などが受けられること
- 7 就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携 (就職したあと、引き続き支援するなど)
- 8 企業のニーズに合った就労訓練 (それぞれの職場の仕事を想定した訓練をするなど)
- 9 仕事についての職場外での相談対応、支援 (職場以外で、仕事を相談できるようにするなど)
- 10 その他 ()
- 11 わからない

障がい者サービスなどの情報を主にごから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 障がい者のしおり (北本市保健福祉センター)
- 2 市の広報紙 (広報タープを含む)
- 3 県の広報紙 (広報タープを含む)
- 4 市のホームページ
- 5 県のホームページ
- 6 テレビ、ラジオ、新聞
- 7 障がい者団体
- 8 学校、職場、施設
- 9 病院、診療所
- 10 図書館の障がい者向けサービス
- 11 民生委員・児童委員
- 12 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 13 家族、親せき
- 14 友だち、知り合い
- 15 その他 ()
- 16 わからない

問21 あなたは、障がい福祉サービスを利用するときどなたかに相談しましたか。(○はいくつでも)

1 市役所の福祉相談窓口	9 福祉施設や作業所の職員
2 相談支援センター	10 幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間
3 病院・診療所	11 市社会福祉協議会の職員
4 児童相談所	12 障がい者団体
5 保健センター(保健師など)	13 友だち・知り合い
6 民生委員・児童委員	14 その他()
7 身体障害者相談員・知的障害者相談員	15 誰にも相談していない
8 生活保護の担当職員	

福祉サービスのことについてお聞きます。

問22 あなたは、次のような障がい福祉サービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。(①～⑯のサービスごとに1つずつお答えください。)

利用している・利用したことある	サービスがあるとは知っていますが、利用してはいない	知らない/わからない	
① 居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	3
② 重度訪問介護 重度の障がい者が常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	1	2	3
③ 同行支援 地域障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援助などを行うサービスです。	1	2	3
④ 行動支援 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	3
⑤ 重度障害者等包括支援 知的介護が必要で、介護の必要度が著しい方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	1	2	3
⑥ 生活介護 知的介護が必要で、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	3

利用している・利用したことある	サービスがあるとは知っていますが、利用してはいない	知らない/わからない	
⑦ 自立訓練(機能訓練、生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑧ 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑨ 就労継続支援(A型、B型) 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑩ 療養介護 医師が必要で、常に介護を必要とする方に、主に通病療養室において機能訓練、療養上の管理、看護など提供するサービスです。	1	2	3
⑪ 短期入所(ショートステイ) 在宅の障がい者(児)を介護する方が疲労した場合などに、障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	1	2	3
⑫ 共同生活援助(グループホーム) 夜間や休日、共同生活を行う措置で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	3
⑬ 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	1	2	3
⑭ 相談支援 福祉に關する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。	1	2	3
⑮ 児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。	1	2	3
⑯ 放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	1	2	3

利用している・利用したことがある	サービスがわかるか 利用したことはない	知らない/わからない
①7 保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。	1	3
①8 医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1	3
①9 福祉型児童入所支援 障がい児が施設に入所する障がい児に対し、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。	1	3
②0 医療型児童入所支援 障がい児が施設や指定医療機関に入所する障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。	1	3

問23 次のサービスのうち、今後引きつぎ利用したい、あるいは、あらたに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものをすべて○をつけてください。(○はいくつでも)

1 居宅介護 (ホームヘルプ)	12 共同生活援助 (グループホーム)
2 重度訪問介護	13 施設入所支援
3 同行支援	14 相談支援
4 行動支援	15 児童発達支援
5 重度障害者等包括支援	16 放課後等デイサービス
6 生活介護	17 保育所等訪問支援
7 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	18 医療型児童発達支援
8 就労移行支援	19 福祉型児童入所支援
9 就労継続支援 (A型、B型)	20 医療型児童入所支援
10 療養介護	
11 短期入所 (ショートステイ)	21 この中に利用したいサービスはない

問24 法律の改正により、障がい福祉サービス・障がい児通所支援の利用にあわせてサービス等利用計画の作成が必要になりました。すでにサービスを利用している方も、平成27年3月までに計画を作成していただくこととなります。この計画は、市が指定する特定相談支援事業者が作成し、利用者の負担はありません。

あなたは、「サービス等利用計画(障害児支援利用計画)」を作成していますか。(○は1つ)

1 利用計画が必要なサービスは利用していない	4 わからない
2すでに作成している、作成中である	
3 サービスは利用しているが、まだ作成していない	

問25 計画を作成するにあたって、何か困ったことはありましたか。(○はいくつでも)

1 自分の希望が事業者がなかなか理解してくれなかった
2 自分の希望に沿わない計画を作成された
3 サービスの内容やどのようなサービスがあるかなどの説明が十分でなかった
4 希望するサービスが市内・近隣市になく(あるいは受入体制がなく)、計画に盛り込めなかった
5 その他()
6 とくに困ることはなかった

問26 今後の計画の作成について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1 事業者が計画の作成を依頼する	4 まだ、どのようにするか決めていない
2 自分ひとりで作成する(セルフプラン)	5 その他()
3 家族や支援者といっしょに作成する(セルフプラン)	

《 全員にお聞きます。》

問27 サービス等利用計画の作成にあたっては、どのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

1 適切なサービスの組み合わせを提案してくれること
2 関係者どうしで情報を共有し、一体的な支援を考えてくれること
3 自分の生活の状況や将来の希望などを十分に踏まえてくれること
4 その他()
5 とくにない

問28 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

- 1 利用している
- 2 利用していない

問29 該当する要介護度はどれですか。(○は1つ)

- 1 要支援1
- 2 要支援2
- 3 要介護1
- 4 要介護2
- 5 要介護3
- 6 要介護4
- 7 要介護5

《全員にお聞きます。》

問30 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

- 1 現在、サービスは利用していない(必要がない)
- 2 十分、利用できていると思う
- 3 十分ではないが、ほぼ利用できていると思う
- 4 十分、利用できていないと思う
- 5 その他()
- 6 わからない

問31 必要だと思うサービスを、十分、利用できていないのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1 自己負担が大きく、利用できないから
- 2 支給要件に該当しないから
- 3 必要とするサービスがないから
- 4 どのようなサービスがあるかわからないから
- 5 利用の仕方がわからないから
- 6 その他()
- 7 わからない

問32 必要とするのはどのようなサービスですか。(自由記入)

問33 今後、どのように日中を過ごしたいと思えますか。(○はいくつでも)

- 1 自宅でのんびり過ごしたい
- 2 一般企業などで働きたい
- 3 一般企業などで働くのは難しく思うが働きたいと思ったり、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい
- 4 施設や企業で作業や実習などを行い、職場がしりや職場定着のための支援を受けたい
- 5 自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい
- 6 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい
- 7 施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作活動などを行いたい
- 8 創作活動や社会との交流などを行ったりするところを過ごしたい
- 9 学校にかよいたい
- 10 その他()
- 11 わからない

問34 あなたは、近い将来(おおむね5～10年後)どのように暮らしたいと思えますか。(○は1つ)

- 1 自宅で(現在の)家族と暮らしたい
- 2 ひとりで自立して暮らしたい
- 3 結婚して家庭をつくらせたい
- 4 世話人に日常生活上の援助などを受けながら、仲間と地域で暮らしたい
- 5 市内の施設で暮らしたい
- 6 市外の施設で暮らしたい
- 7 その他()
- 8 わからない

問35 最後に、ご意見などがありましたら、自由に書きください。(自由記入)

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、11月7日(金)までにご投函ください。

福祉についてのおたずね

《調査ご協力のお願い》

皆様には、日ごろから本市の行政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、本市では障がい者福祉のより一層の推進をはかるため、「第四期障害福祉計画の策定」に取り組んでいます。

つきましては、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方の中から無作為に抽出し、ご意見やご希望等をお聞かせ願いたく、このアンケートを行うことにしました。

このアンケートは無記名です。また、皆様からのご回答は、コンピュータにより、統計的に処理をし、秘密の保護には細心の注意を払い、個人ごとの公表はしませんので、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解の上、率直なご意見、ご要望等をお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成 26 年 10 月

北本市長 石津 賢 治

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、

11月7日(金) までにご返送くださるようお願いいたします。

【問い合わせ先】 北本市保健福祉部障がい者福祉課
〒364-8633 北本市本町1-111
電 話 048-594-5535
FAX 048-593-2862

《ご記入にあたってのお願い》

1. このアンケート及び返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
2. このアンケートは、封筒のあて名のご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人の記入が困難な場合には、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
3. お答えは、平成 26 年 10 月 1 日現在の状況を記入してください。
4. お答えは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は()の中にその具体的な内容も記入してください。
5. お答えは、「1つだけ」を選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくものがあります。
6. 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明に当たってお答えください。
7. お答えになりにくい質問については、無理にお答えになる必要はありません。

問 1 この用紙（調査票）に記入されるのはどなたですか。（○は1つ）

- 1 本人（この調査票が郵送された宛名の方）が記入、または本人が答え代筆者が記入
- 2 家族（本人の立場に立って記入）
- 3 施設や病院等の職員（本人の立場に立って記入）
- 4 そのほかの方（本人の立場に立って記入）

※ これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人の状況などについて、お答えください。

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについてお聞きます。

問 2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

- 1 男性
- 2 女性

問 3 年齢（10月1日現在）を記入してください。

_____ 歳

問 4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

- 1 自宅で暮らしている
- 2 病院に入院している
- 3 福祉施設に入所している
- 4 その他 ()

問 5 どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

- 1 自分ひとりで暮らしている
- 2 配偶者（夫または妻）
- 3 子ども（子どもの配偶者も含む）
- 4 父、母
- 5 祖父、祖母
- 6 兄弟、姉妹
- 7 その他の親せき
- 8 福祉施設の職員や仲間
- 9 その他 ()

障がいの状況などについてお聞きます。

問 6 精神障害者保健福祉手帳に記載された障がいの程度をお答えください。（○は1つ）

- 1 1級
- 2 2級
- 3 3級
- 4 持っていない

問 7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 身体障害者手帳を持っている
2 療育手帳(みどりの手帳)を持っている
3 国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている
4 高次脳機能障がいと診断されたことがある
5 発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等)と診断されたことがある
6 1～5に、あてはまるものはない

問 8 あなたは、「障害程度(支援)区分」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも

○をつけてください。(○は1つ)

1 受けたことはない	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
2 受けたことがある → (区分6 区分5 区分4 区分3 区分2 区分1 非該当 申請中)						
3 わからない						

介助・援助の状況についてお聞きます。

問 9 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

(○は①から⑩それぞれに1つ)

	ひとりできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	→ 1	2	3
② トイレ	→ 1	2	3
③ 入浴	→ 1	2	3
④ 衣服の着脱	→ 1	2	3
⑤ 身だしなみ	→ 1	2	3
⑥ 家の中の移動	→ 1	2	3
⑦ 外出	→ 1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	→ 1	2	3
⑨ お金の管理	→ 1	2	3
⑩ 薬の管理	→ 1	2	3

問 10 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

1 父、母	6 近所の人、友人、知人
2 配偶者(夫、妻)	7 ホームヘルパー等の在宅サービス事業者
3 子ども、子どもの配偶者	8 その他()
4 兄弟姉妹	9 介助・援助している人はいない(必要ない)
5 その他の親せき	

問 11 あなたは、現在、次のような医療ケアを受けていますか。(○はいくつでも)

1 医療ケアは受けていない	8 中心静脈栄養(IVH)
2 気管切開	9 透析
3 人工呼吸器(シスビレーター)	10 カテーテル留置
4 吸入	11 ストマ(人工肛門・人工膀胱)
5 吸引	12 服薬管理
6 胃ろう・腸ろう	13 その他()
7 鼻腔経管栄養	

日中の過ごし方や外出の状況についてお聞きます。

問 12 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、買い物、日常の散歩など、すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

1 週に5日以上	3 週に1～2日	5 ほとんど外出しない
2 週に3～4日	4 月に2～3日	6 その他()

問 13 あなたは、外出をするときに支援が必要ですか。(○は1つ)

1 ひとりで外出できる
2 いつも支援が必要
3 慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要
4 いつもはひとりで行けるが、調子が悪い場合は支援が必要
5 その他()

問 14 ひとり外出できない場合、どのように外出していますか。(○はいくつでも)

1 移動支援やホームヘルパー等の福祉サービスを利用している
2 福祉タクシー等の有料サービスを利用している
3 家族に付き添ってもらっている
4 友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている
5 その他()

《 全員にお聞きます。》

問 15 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

1 幼稚園や保育園、学校などに通っている	5 働いている
2 福祉施設、作業所などに通っている	6 入所・入院している施設や病院などで過ごしている
3 病院などのデイケアに通っている	7 自宅にすることが多い
4 リハビリテーションを受けている	8 その他 ()

雇用・就労などの状況についてお聞きます。

問 16 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

1 収入を伴う仕事をしている
2 収入を伴う仕事はしていない

問 17 今後、収入を伴う仕事をしたいと思いませんか。(○は1つ)

1 したいと思う
2 したいとは思わない、できない

《 全員にお聞きます。》

問 18 収入を伴う仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いませんか。(○は1つ)

1 すでに職業訓練を受けている	3 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない
2 職業訓練を受けたい	4 わからない

問 19 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 通勤手段の確保
2 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮
3 短時間勤務や勤務日数などの配慮 (1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど)
4 在宅勤務の拡充 (職場に行かなくても、家の中でできる仕事を増やすなど)
5 職場の上司や同僚に障がいの理解があること
6 職場で介助や援助などが受けられること
7 就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携 (就職したあとも、引き続き支援するなど)
8 企業のニーズに合った就労訓練 (それぞれの職場の仕事想定した訓練をするなど)
9 仕事についての職場外での相談対応、支援 (職場以外で、仕事のことを相談できるようにするなど)
10 その他 ()
11 わからない

相談や情報入手についてお聞きます。

問 20 障がい福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

1 障がい者のしおり (北本市保健福祉ガイドブックなど)	9 病院、診療所
2 市の広報紙 (広報テラップを含む)	10 図書館の障がい者向けサービス
3 県の広報紙 (広報テラップを含む)	11 民生委員・児童委員
4 市のホームページ	12 家族、親せき
5 県のホームページ	13 友人、知人
6 テレビ、ラジオ、新聞	14 その他 ()
7 障がい者団体	15 わからない
8 学校、職場、施設	

問 21 あなたは、障がい福祉サービスを利用するときなどにどこかに相談しましたか。(○はいくつでも)

1 市役所の福祉相談窓口	8 福祉施設や作業所の職員
2 相談支援センター	9 幼稚園・保育園・学校の先生や職場の仲間
3 病院、診療所	10 市社会福祉協議会の職員
4 児童相談所	11 障がい者団体
5 保健センター (保健師など)	12 友人・知人
6 民生委員・児童委員	13 その他 ()
7 生活保護の担当職員	14 誰にも相談していない

福祉サービスのことについてお聞きます。

問 22 あなたは、次のような障がい福祉サービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。(①～⑩のサービスごとに1つずつお答えください。)

	利用している・利用したことがある	サービスの内容は知らないが、利用したことはない	知らない・わからない
① 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	3
② 行動支援 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するときに必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	3
③ 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	3
④ 自立訓練 (機能訓練、生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑤ 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑥ 就労継続支援 (A型、B型) 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑦ 短期入所 (ショートステイ) 在宅の障がい者(児)を介護する方が病気の場合などに、障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	1	2	3
⑧ 共同生活援助 (グループホーム) 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	3
⑨ 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	1	2	3
⑩ 相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。	1	2	3

問 23 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 居宅介護 (ホームヘルプ)	7 短期入所 (ショートステイ)
2 行動支援	8 共同生活援助 (グループホーム)
3 生活介護	9 施設入所支援
4 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	10 相談支援
5 就労移行支援	
6 就労継続支援 (A型、B型)	11 この中に利用したいサービスはない

問 24 法律の改正により、障がい福祉サービス・障がい児通所支援の利用にあわせてサービス等利用計画の作成が必要になりました。すでにサービスを利用している方も、平成 27 年 3 月までに計画を作成していただくこととなります。この計画は、市が指定する特定相談支援事業者が作成し、利用者の負担はありません。

あなたは、「サービス等利用計画(障害児支援利用計画)」を作成していますか。(○は1つ)

1 利用計画が必要なサービスは利用していない
2すでに作成している、作成中である
3 サービスは利用しているが、まだ作成していない
4 わからない

問 25 計画を作成するにあたって、何か困ったことはありませんか。(○はいくつでも)

1 自分の希望を事業者がなかなか理解してくれなかった
2 自分の希望に沿わない計画を作成された
3 サービスの内容やどのようなサービスがあるかなどの説明が十分でなかった
4 希望するサービスが市内・近隣市になく(あるいは受入体制がなく)、計画に盛り込めなかった
5 その他 ()
6 特に困ることはなかった

問 26 今後の計画の作成について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1 事業者が計画の作成を依頼する	4 まだ、どのようにするか決めていない
2 自分ひとりで作成する (セルフプラン)	5 その他 ()
3 家族や支援者といっしょに作成する (セルフプラン)	

《 全員にお聞きます。》

問 27 サービス等利用計画の作成にあたっては、どのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

1 適切なサービスの組み合わせを提案してくれること
2 関係者どうしで情報を共有し、一体的な支援を考えてくれること
3 自分の生活の状況や将来の希望などを十分に踏まえてくれること
4 その他 ()
5 特になし

問 28 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

1 利用している	2 利用していない
----------	-----------

問 29 該当する要介護度はどれですか。(○は1つ)

1 要支援 1	3 要介護 1	5 要介護 3	7 要介護 5
2 要支援 2	4 要介護 2	6 要介護 4	

《 全員にお聞きます。》

問 30 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

1 現在、サービスは利用していない(必要がない)
2 十分、利用できていると思う
3 十分ではないが、ほぼ利用できていると思う
4 十分、利用できていないと思う
5 その他 ()
6 わからない

問 31 必要だと思うサービスを、十分、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 自己負担が大きき、利用できないから
2 支給要件に該当しないから
3 必要とするサービスがないから
4 どのようなサービスがあるかわからないから
5 利用の仕方がわからないから
6 その他 ()
7 わからない

問 32 必要とするのはどのようなサービスですか。(自由記入)

将来の希望などについてお聞きます。

問 33 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1 自宅のんびり過ごしたい
2 一般企業などで働きたい
3 一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい
4 施設や企業で作業や実習などを行い、職場探いや職場定着のための支援を受けたい
5 自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい
6 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話を受けながら過ごしたい
7 施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい
8 創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい
9 学校に通いたい
10 その他 ()
11 わからない

問 34 あなたは、近い将来(おおむね5～10年後)どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

1 自宅で(現在の)家族と暮らしたい
2 ひとりで自立して暮らしたい
3 結婚して家庭をつくって暮らしたい
4 世話人に日常生活上の援助などを受けながら、仲間と地域で暮らしたい
5 市内の施設で暮らしたい
6 市外の施設で暮らしたい
7 その他 ()
8 わからない

問 35 最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見、ご要望などがありましたら、自由にお書きください。(自由記入)

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、11月7日(金)までにご投函ください。

北本市障害者支援計画アンケート調査
報告書

発行日 平成27年3月
発行 北本市障がい者福祉課
電話 (直通) 048-594-5535
FAX 048-593-2862